十月廿七日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

勞農、滿洲國總領事のモスクワ駐在に同意
滿洲國家を事實上承認

【モスクワ廿六日發】ソウエート政府は過般ブラゴエチエンスクに滿洲國最初の領事館設置を承認したが、其後**對滿親善政策は益々積極的**となり今回**モスクワに滿洲國の總領事を駐剳せしめる件にも同意する**こととなり近く實現を見ることゝなつた右によりロシアは愈々事實上滿洲國承認の態度を明確にした譯で露、滿兩國の關係は加速度的に親密の度を加へてゐる

皇國の興廢は滿洲國成育如何に存す
在奉滿洲國邦人官吏に對する
武藤全權訓示

武藤全權は軍司令部、全權部の新京移轉に際し二十七日午前十時十五分より奉天ヤマトホテルに在奉天の滿洲國日本人官吏約三百名を集め大要左の訓示をなした

余はからずも大任を拜受したるに當り親しく諸卿に見えんと欲したるも、國事多端にして遂にその機を得ず、玆に二ケ月を閲したるも、幸ひ今日小閑を得親しく諸卿に相見えるを得たるは余の最も欣幸とするところである、特に軍司令部、全權部の新京移轉の期に當り一層その意義を深うするものあり、玆に一言所懷を述べんと欲す、そもそく昨秋事變の勃發するや遂に革の機くところ滿洲の獨立を見るに至りたるはこれ歷史的必然性にして又自然の勢で、わが皇國は東洋平和のためこの隣邦をして永遠の平和境たらしめんと總ゆる援助を與へ又他國に率先してその承認を實現したり、素より皇國はこの隣邦をして第二の朝鮮たらしむるが如き野心は毫も有するものに非ず、この滿洲國をして完全なる成育をなさしむるは、これわが國民の歷史的又民族的使命にして、わが皇國の興廢は一に滿洲國の成育如何に存するといはざる可からず不肖この大任を負ひ滿洲平和の永遠性を確保するに當りては、總ゆる努力と指導とを惜まざるものなり、それ諸卿はわが皇國の前衛として本官の指導精神を體し、宜しくその本分に邁進されんことを望む、いふまでもなく奉天市は張家二代の繁榮にまつまでもなく交通に、文化に、産業に名實ともに滿洲の中心地たるの名を恥しめざるものたり、その歷史的、地理的關係よりして當地の繁榮は今後とも大に期してまつべきものあり、諸卿は宜しくこの地にあつて一層奉天市の發展に貢獻されんことを望む

これに對し奉天省公署總務廳長金井章次氏一同を代表して答辭を述べ總勵以て全權の期待に副ふべきを誓つた【奉天電話】

滿洲國承認説 獨外務省否認

【ベルリン二十六日發】ワシントン方面でドイツが滿洲國承認を考慮しつゝありとの報道が達したがドイツ外務省は之を否認してゐる

全權に賜謁

【東京二十七日發】來月四日發ジユネーヴの一般軍縮會議に急行する海軍全權永野修身中將以下隨員は二十七日午前十時參內拜謁仰付られた

劉珍年放逐を條件に韓軍の撤退を要求
中央、戰禍擴大を虞れ

【天津二十七日發】四川の動向を探らんとして發した韓復榘の辭職通電に對し、一部では韓の獨立と看做して中央軍の動員説等傳へられたが、財政窮乏と、內爭廢止運動盛なる現狀に鑑み、更に戰禍を擴大する事は愈々山東のみならず北支に大動亂を引起す事となるので、中央政府は更に韓復榘に對し劉珍年を山東より退却せしむるから韓軍は一時劉軍の圍みを解き撤退して呉れと要求し來つた

四川の戰況 眞相判明せず

【上海二十七日發】四川の戰況は諸說紛々として眞相掴み難いが二十五日重慶に戒嚴令を布いた事、成都は劉文輝軍、田頌堯のため市街戰行はれ、劉文輝は二十五日夜旣に成都から逃げ出したとの說もある

買收私鐵候補 來月上旬決定

【東京二十六日發】國有鐵道工事進行に伴ふ私鐵買收案につき鐵道省では二十六日關係局課長會議を開き旣報の阿波鐵道外七私鐵買收に就き第一次審査を行つたが五、六百萬圓の豫算で四、五私鐵買收が精一杯の模樣で監督局は近く買收候補を決定の上來月早々にも省議を開き最後の審査を行ふ豫定で來月上旬正式決定を見る筈

滿洲國大觀察の武藤全權(廿六日)

軍部の新規要求は半額に削減の方針
政治的折衝注目さる

【東京二十七日發】滿洲事件費、兵備改善費を中心とする明年度陸海軍豫算は豫算編成中の最大難關として大藏省がこれを如何なる程度に査定するかは現內閣の當面せる重大問題であるが、旣に主計局において大體の査定を了した處によると、六億餘に及ぶ軍部の新規要求に對してその半額近くを削減せんとしてゐる模樣で、この主計局の査定に對して高橋藏相が如何なる政治的考慮を加へるかは今後軍部大臣と藏相との政治的折衝を待つ外はないがこの軍部の要求に關しては二十六日の荒木陸相、高橋藏相の會見にも見える如く、軍部としては出來る限り經費の切つめをなして要求したもので滿洲國を續る我國の複雜なる國際情勢に立脚して一歩たりとも讓歩せざる決心を示してをり之を大藏省が半額程度に査定する事は到底困難であらうと見られてゐる、從つて藏相としても財源を總て公債に仰ぐの已むなき現狀を說き極力軍部の要求緩和に努めてゐる模樣であるが、今後主計局の報告を聽取し軍部大臣と數次の會見を行つた後でなければ決定せず政府が希望する如く大演習前に豫算の決定を見るは困難の模樣に見られてゐる

米穀顧問會議 意見尚纏らず

【東京二十七日發】廿六日午前十時より農相官邸に開會された米穀顧問會議は、先づ米穀の臨時的生產統制の問題につき審議を始めたが、補給金の計算等に非常な困難があるので大體不可能といふ意見の一致を見た、次いで再び米穀專賣、米穀管理、米價公定の三案の總括的審議に入つたが、當日初出席の上山顧問は專賣案に對し絕對反對の意思表示をなし管理、公定の二案はなほ考慮して見たいと述べ、一方東顧問は專賣案を固持してゐるので意見の一致を見ず結局當日農林省が新に提示せる折衷案については審議に入るに至らずして二十七日午前十時より續開することゝし午後五時散會した

ファッシズムを伊首相謳歌
進軍記念日に

【ミラノ二十五日發】イタリー首相ムツソリーニ氏は二十五日當地におけるローマ進軍十周年記念日に當り左の如く獅子吼した

今後十ケ年內に歐洲は擧げてファッシズムに歸依するであらう、現代はファッシズムの世紀であり、イタリー繁榮の時代だ、而してイタリーは歷史上三度世界文明の指導的勢力となるだらう、我々はファッシズムの敵國並びに**國境外の敵がファッシズムの旣成事實に敬意を拂ふまで國防力を解消せしめない**、單なる國際會議の反復では世界の健康を回復し得るものでない、我々の眞に求める所はより少き國際會議、より多くの決定、より少い決議、より多くの創造的行動だ【寫眞はムツソリーニ氏】

恩給法改正で財源を捻出
四百七十萬圓程度

【東京二十七日發】財政難の政府は累年累增する恩給額の低減により財源を見出すべく恩給局長に恩給法改正立案を命じてゐたが、改正上密接な關係ある陸海軍の希望等を考慮して成案を得、目下大藏省に原案を廻しその同意あり次第來週中の次官會議に附議するに內定した、改正項目は三十二項目に亘り主要點は

一、退官の際の昇給は從來通りとしてその緩和を圖るため恩給の基礎を退職前三年間の平均級に標準を置く
一、勤勞所得五千圓以上(年額)を受ける者は實狀に應じ最高二分の一、最低四分の一の割合で恩給金を減額す
一、一般文官受給年限を二年延長し十七年とす
一、陸海軍における下士卒の受給資格年限を一年延長し十二年とす
一、警官受給資格年限延長し十二年とす

といふに在つて本改正に依ると昭和八年度に現行通りでは自然增となるべき國庫負擔金五百五十萬圓が僅か八十萬圓で濟みその間約四百七十萬圓の財源を捻出し得る計算である

旅順の逐鹿戰況

旅順市議戰最後の幕は開かれたが大勢決したもの、如く大した變化はもう見られなくなつた、隨つて防禦陣地を固めるのみで他候補者の地盤切崩し、奇襲猛擊のなひそめた形である、言論戰も二十八日夜昭和閣における高田透氏が大連からの應援辯士と共に最後の政見發表を試むる事によつて終了を告げる

作戰は影

田中候補(德三郎氏)

の論旨は過去四年間における議員としては何等の功績なく終始せるは慙愧に堪へない、今回の立候補を決意した以上は乾坤大飛躍政治經濟的見地より市の發展に邁進

て各候補者の旣定得票が多少動搖せるが如く放送されてゐるが事實は全然未知數である、なほ去る二十五日立會演說會における

大勢決し更に最後の追擊
大連市議逐鹿戰況

滿洲國の國是(上)
日本の援助を切望す
承認答禮專使 謝介石氏の演說

中央滿蒙協會主催の滿洲國承認答禮使謝介石氏一行招待會は二十三日午後五時半丸の內東京會館にて開催謝介石氏一行を主賓として荒木陸相、芳澤謙吉、南大將、本庄中將、田中都吉、山岡萬之助、床次竹次郎、水野錬太郎、元田肇、奈良侍從武官長、眞崎參謀次長、關屋宮內次官、有賀長文、林大將、松井中將、十河信二氏等二百五十餘名出席芳澤前外相の發議により滿洲國執政の御健康を、謝專使の發議にて聖壽の萬歲をことほぎ、デザートコースに入るや、發起人を代表して、芳澤前外相の挨拶あり、次いで謝專使は之に對し次の如き謝辭を述べた。更に荒木陸相、田中館博士の歡迎の辭ありて盛會裡に九時半散會した(東京支社發)

▽▲

私は今回執政の特命によりまして貴國御皇室に對し奉り、貴國のわが滿洲國承認の御禮を言上致しに參りました處、長き邊より盛實としての御待遇を蒙りたるのみならず、朝野各方面より絕大なる御歡迎を受くることゝなりましたのは謝介石一代の名譽たるのみならず、これは日本帝國全民衆の滿洲國に對する熱烈なる友愛友情の發現として滿洲國官民一同の感謝感激に堪へぬ處であると思ひます

中央政府及び各省官衙の青年官吏中より選拔されて參りました私の隨員も恐らくこの御厚情を深く肝に銘じ、歸滿後日本國民の滿洲國人に對する熱誠を廣く一般に傳へるものと信じます

抑も滿洲の土地は渤海の昔より日本國とは特殊緊密なる關係を持つて居るのでありまして、日露戰爭の際には我國の山河は、忠勇なる貴國將士の尊き血潮により守られました。當時貴國が國運を賭して戰はれた結果、遂に全滿洲が露國に併呑せらるゝことより免れたのでありまして、當時滿洲の老は地に伏し天を仰ざて貴國軍を御迎へしたのであります。從つて滿洲としては貴國に對し深き恩義あるに拘らず、若槻張學良は淺薄なる國民黨の排外主義に共鳴して、日本の權益を侵し在滿日本國人を迫害するの擧に出たことは當時心ある滿洲國人の私かに痛心した處であります。その學良軍閥は國內を土匪の跋扈に任して民衆を苦しむる一方、私慾に依り民衆の膏血を最後の

滿蒙の戰慄 (138)
直木三十五作
淺枝次朗畫

再生(四ノ七)

特殊警察隊の駐防地

出淵駐米大使大連に向ふ
午後四時大連着

【京城二十七日發】出淵大使は廿七日午後零時二十分飛行機にて汝矣島發大連へ向つた

二十七日午後零時半京城を出發した出淵大使は同午後四時周水子着の豫定

本社株主總會

二十六日午後開催の本社株主總會において東京支社長井上正明氏を本社取締役に選任することに決した

人事

社員健闘錄で事變一周年を記念
滿鐵社員會から發刊

滿鐵社員會ではかねて事變一周年記念として社員健闘錄一卷を出版することゝなり去る八月以來鋭意資料の蒐集に努めてゐたが、いよ〳〵大體の編輯も終り十一月中旬發刊されることゝなつた、而してこの健闘錄は四六版七百頁に亘る大部のもので最初に滿洲事變突發當時から聯盟調査團來滿までのトピツクを記述し次いで事變一箇年間を通じての滿洲各地における滿鐵社員の殉職社員および各地に華々しい健闘を示した社員の奮闘を詳記しその他この間「協和」に掲載された主要記事を再錄し聯盟調査團および聯盟總會にかつて社員會から發した聲明書等も採錄されることゝなつてゐる、なほ滿鐵會社としても社員會のこの企てに大賛意を表し發行部數八千部のうち三千部を買上げこれを内地各方面に滿鐵紹介として送附する一方、各圖書館、主要學校、在郷軍人團、青年團等に寄贈することゝなつた

☆　☆　☆

某大官、大將の暗殺を計畫
大演習を期して狙ふ

【東京二十七日發】大阪の極右團體南公會の封筒を利用し本月中旬頃全國數百の青年少壯將校に宛「特に少中尉の一讀を請ふ」と冒頭し五・一五事件を論じ更に宮中某大官や某陸軍將校の言動に對し激烈なる字句を連ねた廣告を將校團の名に依つてした怪文書事件については、その後陸軍省憲兵司令部始め警視廳特高部も時節柄重大視し極秘裡に内偵を進めた結果、最近に至り大演習出張の宮中某大官某陸軍大將の暗殺計畫が密かに企畫されつゝあるを探知し警視廳特高部では俄然緊張二十六日午後特高部高等課捜査第二課の主腦部は秘密裡に協議しその結果毛利特高課長は午後四時檢事局に林檢事總長を訪ひ密議を凝らしたが該計畫の核心を握ると同時に斷乎たる處置に出でんとするもの〻如く最も慎重に諸般の用意を進めつゝある模樣である

なほ右某大將は來年度豫算打合せのため數日中に上京する事となつて居るのでこの際の身邊警戒をも打合せを遂げた

客室卅五室の增築を決定
長春のヤマトホテル

長春ヤマトホテルの增築案は廿六日の重役會議でいよ〳〵基礎工事に着手することに決定した

最初旅館事務所から提出された原案は增加客室十二室、二百五十二人收容の大ホール一室建設經費十六萬圓であつたが重役會議においては新京の現狀から見て現在の長春ヤマトホテルの客室二十六室を三十六室さするだけでは到底需要を滿し得ずとの意見が有力さなり、しかも新京に更に新規模のホテルを新築するが如きはこゝ數年は實現の可能性も少ないため

結局客室三十五室と二百五十人收容の大ホールを增築せんとする擴張案に意見の一致を見たもの〻如く、從つて經費も三十萬と査定された

この重役會議の結果に依り鐵道部工務課では鈴木技師が主班となつて直ちに新設計に着手することゝなつたが何分客室だけで現在の約一倍半に增加する關係上煖房、料理兩室をはじめ各方面に大改築の必要があり現在の長春ヤマトホテルは面目を一新するものと見られてゐる

なほ基礎工事は本年中に完成し解氷期と共に建築に着手の筈で旅館事務所としては六月中に竣工せしめ七月から使用の意向であるが、これ等の增築完成と共に更にバンドの常置その他内容方面のサービスに就ても萬全を期すべく着々準備を進めてゐる

懸賞募集の作文に當選

【東京特電廿六日發】豫て時事新報社の主催で全國各府縣並びに各植民地の全小學兒童から募集中であつた「國旗」と題する小學生作文はその應募者十數萬に達しそれ〴〵審査入賞者の詮衡中であつたがこの程東京を除く全國各府縣及各植民地より應募の分の入賞者百十二名の決定を見た、右入賞者の中滿洲關係は左の三君である

大連嶺前小學校六年生檜關正（一三）▲同六年生助川良士（一三）▲大石橋紅旗街六ノ二大石橋小學校五年生籠田テル

滿展蓋明け
本社樓上・けふ招待日

二十七日は第二回滿展（滿日本社三階）の蓋明けの招待日であるが係員達が前夜深更まで繁忙を極めただけに設備といひ内容といひ滿洲始まつて以來の大がゝりの展覽會である、出品作品は大連公開後引續き奉天と新京とでも開催するといふので全滿各地に渡つて東洋畫八十九點、西洋畫三百十八點の中、二十五日伊藤、石田、甲斐、平島、山城諸氏の外、評議員數名參與の下に、嚴選に嚴選の結果、入選作品は東洋畫三十六點、西洋畫百五十五點である

昨年度に比較して總體に向上の跡を示し、特に滿洲國人が非凡の力作を示したことなど喜ばしいことである、傾向はアカデミツクのものゝ外、多分に新しい傾向を示し滿洲畫壇のため大いに氣焔をあげて居る、洋畫では谷山氏が百號のカンバスに白玉山を、東洋畫は石田茂氏が六尺四方のものに千山を畫いたものが一番大きく、いづれも力作で苦心のあとも著るしく、進歩向上が歴然たる點に於て滿洲畫壇のバーズアイとしてその將來を囑望するに足るものがあらう

二十八日から三十一日まで一般公開であるが、引續き十一月五日より三日間奉天ヤマトホテル、九日奉天省教育會、十九、二十日は新京西廣場小學校で同樣開催される（寫眞は招待日の滿展）

親戚を招き組閣披露
首相官邸で

【東京二十七日發】非常時内閣を背負ひ齋藤老首相が組閣して早五ケ月、のため蜜き去りにしてあつたゝめ、この間首相は政務が、この間首相は政務に追はれ、親戚の近しい人々とも語り合ふ機會もなかつたが、シーズンに入り豫算その他も片付かうとする折柄、漸く親戚一同を招き組閣披露となり二十七日午後二時總者四十數名集りお茶の會が開かれた、集る者は夫人の外に子爵、養嗣子夫人里方、養嗣子齊氏の里方男女の賑はしさ、折柄官邸の庭先にテーブルを持出し首相もお孫さん……

叛意を飜へさねば直ちに討伐を開始
戰備を固める蘇炳文に對し嚴重な警告文投下

【ハルビン特電二十六日發】蘇炳文は表面平和的解決によつて我居留民を救出するごとく見せかけ……

今夜の壯觀が期待される
建國祝賀の煙火大會

日本全國百二十萬人が署名した賀表を執政に捧呈した滿洲國建國祝賀會主催の煙火大會は二十七日午前八時より市内中央公園實業球場に於て舉行されたがポカ〳〵とした小春日和りに惠まれて朝早くよりスタンドには見物が押しかけ又小學校幼稚園等の兒童は遊覽道路に陣取つて次ぎ〳〵に打上げられる煙火に一齊に歡聲を上げてゐた晝間の煙火は打ち上げだけで約百五十發、滿洲國旗、青煙紫煙雙龍八重惑星社先輝等飯村式煙火の傑作は何れも觀衆の好評を博してゐた、夜間は打上げ二百種及び仕掛數種を行ふが仕掛にはナイヤガラ瀑布、富士の白雪等同じく飯村式の特作煙火で非常な壯觀を豫想され又滿洲に於ては珍しく大仕掛のものゝみであるので夜間の壯觀が期待されてゐる

ツロリーで列車妨害
南關嶺附近で

廿六日午後七時五十分ごろ下り貨物第八三列車が、南關嶺、大房身間二三キロ三四〇米附近を進行中線路上にモーターツロリーが妨害のため置き去りにしてあつたゝめツロリーと衝突ツロリー破損、機關車も多少破損列車は廿分間臨時停車の止むなきに至つた、なほツロリーは工場に針金で縛りつけて保管中のものを何者かゞ切斷して同所まで運んだものでこの奇怪な犯人につき關係筋では目下極力捜査中

死刑を宣告され通化監獄脱出
勇敢な佐々木部長　（上）

涙の再會まで

日の丸の旗

【藤井特派員發】十月十五日午前十時高波將軍が馬上颯爽と幕僚を隨へ通化に入城せる時城門に迎へた滿洲國民のうち薄汚い紙に急造の日の丸の旗を打ちふつて狂氣の如く萬歳を叫ぶ五邦人がゐた、彼等の眼眼からは滂沱として涙が溢れ落ちる、此時高波將軍の前に騎馬にて進んだ興津領事は彼等の姿を見てアツとばかりに驚愕の聲をあげた、見上げ見下す眼、涙、涙、五人の彼等は感極まつたのか、わけもわからぬことを叫び立て乍ら泣き出した、この五人は今春興津領事が九死に一生の通化引揚げに先立ち四月二十日桓仁において唐聚五等の手に捕はれた領事分館巡査部長長谷川鑑治、巡査李時八、居留民會長織田鑑一、居留民小林佐松、坂本茂一郎の五氏だつた、その後通化監獄に囚はれてゐたのを十五日早朝唐聚五逃亡後釋放されたものだつた、せめて

五人の遺骨

を探さうと軍と共に來た興津領事も以外にも無事な彼等を見て驚いたが監禁中蔵敵手の中にあつて奇蹟的にも無事助かつた五人も夢のやうだと不思議がるのも無理はなかつた、このうちの長谷川巡査部長の如き七月二日一度脱出して三日目に再び大刀會匪の手に捕はれるなどこの半歳の生活は數奇を極めたものであつた、以下記者の聞き知つた長谷川巡査部長等の幽閉記である

完全に人質

とされて了つた、時に監視を嚴にして知り得ることは叛軍益々猖獗し四圍の狀勢悪化することを聞くばかり、五人は明日にも斬り殺しにされる生きた心もなく日を送つて……

飛行機で高飛び
陸軍中將の息子と稱して藝妓を足抜きさす

籠球大會の組合せ
十チーム參加

戰傷兵救濟に職業補導教化

毛皮ショール
ハガキ一枚の投書で

仙臺貯金支局長が自殺未遂

京染手金詐欺

修理工場燒く

昭和亭三人殺しの控訴棄却

殺人未遂判決

仲町の小火

炊事場發火

井上博士講演

天氣豫報　二十八日
南の風晴後曇
滿潮　干潮
各地氣溫　廿七日午前十一時
大連　旅順　奉天　長春　營口

國難日本刀 (137)

高桑義生作　京極佳夕畫

浪士團と彼（七）

瓏吉が捕へたのは、案外乳くさい小娘だつた。

小娘は、その時大げさな悲鳴をあげたのだ。そして小鳥のやうに身をもがいて、

「あれ、嫌だよ、何をするんだよ」

「なんだ、何處へ行くのだ？」

瓏吉は妙な當惑を感じながら、いつた。

「おほきにお世話ぢやないか。お放しつたら、お放しよ」

氣強く反抗する。

よく見ると、眼のすゞしい、鼻のたかい、とゝのつた顔立で、氣性の強さうな、美しい娘だつた。年のわりに發達した肉體、新鮮な魚のやうに潑剌とした感じがあつた。

瓏吉は、解すべからざる氣おくれを感じた。が、

「いけねえ。むやみに入つて來ては――こゝはお詣りに來る人の入る處ぢやねえ。第一、今時分こんな處をうろつき歩くなんて――いつたいお前は何處の者だ？」

「をかしな人だよ。あたしは何もお詣りに來たんぢやないんだから。こゝへ用があつて來たのだよ。お前こそ何だい？

あれ、放しておくれよ。何をするのさ。氣味が惡いつたらありやしない」

高慢な口、生意氣な物言ひ、そして挑發的な身體。

瓏吉は負けた。苦笑ひをして、はなしたが、しかし、警戒の眼をはなたず、

「とにかく歸らう。何處へ行く」

「いやだねえ。間宮さんの處へさ」

早口に、口をまげて、ひどく色ッぽい仕草だつた。

瓏吉は苦虫をかんで、

「フム、だが、今はいけねえ。歸んな……」

その時、屋内から當の間宮一が出て來た。

「あッ、間宮さん……」

と小娘は飛び立つばかりだつた。

「お梅坊か」

「ほんたうに、いけ好かないつたら、ありやあしない」

小娘は、瓏吉を尻目にかけて、間宮の方に近づいた。勝誇つた態度だつた。瓏吉は、小憎らしいませた樣子だつた。

「困るな、こんな處へやつて來ては」

と間宮はいつた。

「だつて……」

お梅は體をくねらして、袂をかんだ。

「あれほど固くいつたぢやないか」

「でも、逢ひたくつて……」

「困るなあ」

「いいでせう」

お梅は寄り添つて、間宮の體に手をかけて、

「あたし、意地にも我慢にもじつとしてゐられなかつたんですもの。御免なさい。堪忍してね」

「……」

「怒つたの」

瓏吉はさつさと退場した。

間宮はお梅を抱きしめた。

瓏吉は興味もなささうに、ぶらぶら歩きながら、

（ちッ、いたづら娘、何てえませた小娘だ）

彼はふとお加代を思ひ合せた。

（昔はかうぢやなかつたな。娘も女の氣持も、時世時節で變つたものだ。何てあつかましい、いけ圖々しい、十六や七の小娘のする事か。この頃の娘は向うから押しかけて來る。多分不動前の茶屋の娘といふのが、あれだらう）

間宮とお梅は、抱き合ふやうにもつれながら、杉の木立の闇にかくれた。

瓏吉はわびしい氣持で、空の星を仰いでゐると、黒船清次が呼んでゐた。

バラバラ事件 忽ち三社競映

前代未聞の怪犯罪として世人の視聽を集めた寺島バラバラ事件の全貌は單に慘虐グロテスクのみならず美しい人間愛と、愛慾變轉の呪はしい關係等、立派に一篇の大衆小說的要素を有してゐるところから、忽ち日活、松竹、河合の三社で映畫化され同事件の豫審前後を機とし競映される事に決定した。卽ち

▲松竹　奇しき人間愛「殘されたお菊ちやん」（脚色、伊藤冴、野村浩將監督、澤蘭子、岩田祐吉、結城一郎、齋藤達雄、小林十九二、市村美津子、新井淳、二葉かほる共演）

▲日活　宿命哀話「涙の一擊」（熊谷久虎監督、沖悅二、高津愛子主演）

▲河合　人生悲劇「呪ひの鎖」（小澤得二監督、松村光夫、琴糸路、片桐敏朗、飯田英二主演）

噂話

「プレジャンの船唄」は洒落た面白いフランス映畫の味が果然ファンの興味をそゝり▲それに協和會館で上映されぬといふので俄然インテリ・ファンを吸集して華やかに賑はつてゐるが▲その賑々が忽ち明菓の喫茶店に現はれ、明菓が帝國館のお客のバロメーターになつてゐるのは面白い▲バラバラ事件が三社競映となつたトタンにけふ新興から涙の一擊「人を殺したが」のスチールが到着

『プレジャンの船唄』觀賞
本紙讀者優待映畫會
二十五日から帝國館で上映中
後援 滿洲日報社

「プレジャンの船唄」讀者優待割引券
・この券持參者に限り 階上五十錢階下四十錢
後援 滿洲日報社

「プレジャンの船唄」讀者優待割引券
・この券持參者に限り 階上五十錢階下四十錢
後援 滿洲日報社

撫順炭のハルビン卸値 金安で約一割値上げ
運賃高で矢張り赤字

撫順炭のハルビン販賣は銀高に伴ふ東支運賃の實質的値上げにより著るしく不利となつてゐたので、滿鐵商事部では賣價改正につき調査中であつたが、十月二十三日以來左のごとく卸値の値上げを行つた

	新單價	値上額
	圓	圓
塊炭	一四、〇〇	一、六〇
中塊	一四、〇〇	一、八〇
切込	一二、〇〇	〇、六〇

これに基いてハルビン市中賣りは塊炭十五圓三十錢、中塊同上、切込十三圓卅二錢と夫々値上げされたが、嚴冬の需要期を控へてゐるので市中より相當非難の聲が揚げられてゐる、しかしこれに對し滿鐵商事部當局は左のごとく說明してゐる

元來、撫順炭を北滿まで持つて行つて賣つては赤字を出すのだが、金圓下落の結果、東支運賃は從來の五圓から丁度倍の十圓となつた、故に今後の程度の値上げでは依然たる赤字である、今少し早く發表したいと思つてゐたが、爲替の安定したところを大體見當つければならぬので遲れたゞけで、決して獨占したからさて値上げしたわけではない

今年の需要十八萬噸

ハルビン當局における昨年度の石炭販賣高は

鶴立崗	一五萬噸
穆陵	一二萬噸
撫順	一一萬噸
計	三八萬噸

で撫順炭は最下位にあつたが今年は穆陵炭は東部線の匪害で殆ど入らず、鶴立崗炭はストック七・八萬噸があるのみで工場方面の需要減を見越すも、撫順炭は七年度中に十八萬噸を賣るものと豫想されてゐる、しかして四月より九月末に至る上半期において約五萬噸送つてゐるから下半期には十三萬噸入れる豫定を立てゝゐる、しかしハルビンは油房および製粉工場の不振の結果、主として家事用塊炭について需要してゐるが、滿鐵は南支向粉炭の不振のため粉炭のストックは多いが塊炭は品がすれの狀態で、目下ハルビンより販賣人の代表が來連して本社商事部と協議中だが、十分需要に應ずる能はず切込炭をもつて代用するものと見られてゐる

南滿各地は値上すまい

地賣の値上げは別項のごとく北滿獨特の原因より來たもので、從つて南滿各地においては目下のところ値上げの計畫はないものゝごとくであるが、撫順炭は事變前と異なり獨占的地位にあるので却て炭價決定に困難なる事情にあり、今需要期は結局現在の單價をそのまゝ据置くものと見られてゐる

報復禁止關税で特産の影響甚大
支那向輸出殆ど停止

南京政府が去る九月廿五日より滿洲國の海關を封鎖すると同時に、大連よりの輸入貨物には輸入税を賦課することになつた結果、滿洲貨物の大連經由支那向輸出共殆ど停止の姿に陷つてゐる、これを滿洲特産物についてみるに主要取引品たる大豆は全輸出額の二割三分、豆粕は二割七分、豆油に至りては七割の大量輸出をみてゐるのであるが、今回の報復的課税によつて大豆は輸入地に於ける從價の一割、豆粕七分五厘、豆油一割二分五厘と殆ど禁止的の高率關税を徵收さるる結果、當業者は殆ど手も足も出ぬ有樣である右關税改正後の十月二十四日現在の調査による十月の支那向大連輸出貨物の實情をみるに、豆粕は僅かに一瓲に過ぎず而も天津向である、次に最大の取引品として喜ばるべき豆油の如きも二百二十七瓲あり、大豆にあつては香港向約定品が千六百六十瓲あつたのみである、卽ち支那側の報復的禁止關税實施による支那向大連輸出に及ぼす影響は右の如きもので、輸入地從價税の賦課が愈々明瞭となるに從ひ、益々輸出の減退をみるに非ずやと豫期されてゐる、今前年十月の支那向大連輸出數量を各品別に示せば左の如し（單位瓲）

	本年十月	昨年十月
大豆	一、六六〇	一六、二〇四
豆粕	一	三、六八三
豆油	二二七	五、二七一

滿洲側豆粕の檢査方を依頼
遼陽特産組合から

滿洲側豆粕の斤量不足問題發生により當地の油房側並に輸出商側では大連粕の信用保持の上から今後遼陽粕の斤量檢査を嚴重ならしめ含有水分檢査の結果、不足を來す懸念あるものは之れを不合格品とすべし等の議が纏まりつゝあるが、遼陽特産物商組合は同地滿洲國側油坊の生産にかゝる豆粕が斤量不足のため大連に於て不合格品となるが如きことあつては取引の支障を來す故、遼陽縣長にこれが檢査を致すべきよう滿鐵遼陽驛長に依頼されたしと滿洲重要特産組合に照會してきた、就て同組合では全滿的に統一された組合ならばいざ知らず、遼陽特産物商組合とは何等關係がなく地元の事故直接交渉すべき筋合のものであるとしてその旨回答する模様である

和蘭で關税に三割の附加税
大豆輸出に影響せん

和蘭政府では歳入不足補塡のため一般關税に對し三割の附加税法案を議會に提出、九月二十九日に通過し同日以後の輸入品に對して三割の附加税徵收の旨、在蘭松永公使より拓務省に入電あり、關東廳ではこの旨廿二日附を以て各民政署、商工會議所宛移牒するところあつたが、滿洲大豆の對蘭輸出逐年增加の情勢にあり、滿洲大豆の對蘭輸出に多大の影響を及ぼすのではないかと見られてゐる

低資融通は多分實現しやう
西山財務部長離京談

【東京特電二十六日發】西山財務部長、田村前大連商議副會頭は二十六日夜九時二十五分發急行で西下歸任の途についたが左の如く語る

在滿中小商工業者に對する低利資金融通問題については上京以來大いに努力し、最近に至りようやく見込みがついたので取りあへず歸任することになつた、差し當り金融組合、輸入組合の五百萬圓については此の次の委員會にかけて決定することになり遲くも年內に定まることゝ考へて居る、又不動産の一千五百萬圓の方は融資保證に關する規定を造りその上で政府の豫算外國庫の負擔とする契約について議會の承認を經て資金の融通を實行する段取りとなることになつた、田村君は庵谷君の歸つた後、非常に熱心に大藏省や拓務省に意見を陳情し在滿同志のために活躍された、自分はこれから歸任の上來年度の豫算を纏めて武藤長官の決裁を仰ぎ再び上京することにならう

滿洲國の煙草專賣は未決定
松尾東亞煙草專務の離連談

さきに來滿營口、大連、天津等各地工場の視察中であつた東亞煙草專務取締役松尾晴見氏は二十七日午前十一時出帆大連丸にて上海を經て內地に向つた、出帆に際して語る

會社工場の定期視察も終へたので事變後の上海を見に行くが次の便船で內地へ歸へる、滿洲國の煙草專賣制も未だ確定した譯でもなく、何も今云ふ事もないが、若し專賣制となれば私の方の工場も依託を受けるか又は買收して貰ふか何さか好轉するかも知れぬ、然し取らぬ狸の皮算用で全くお話しにならぬ

南支向貿易激減 日本向輸出增加
廣東省政府の貿易統計

【廣東二十六日發】省政府統計に依れば過去八ケ月間の日本よりの南支向輸出總額は前年に比し七割三分減少、反對に支那貨物の日本向輸出は四割七分方增加した

間島への麥粉將來は有望
宮崎日清製粉支店長離連談

日清製粉神戸支店長宮崎興八氏は豫て來滿、間島琿潭及び局子街等を視察し滿洲市場の擴張に努力中であつたが、二十七日午前十一時出帆大連丸にて青島に向ひ出發した氏は語る

滿洲に年々輸入せられる麥粉は相當多いが、私の擔當區域である間島琿春方面は今年は四、五

七年度、南行增加東行は激減
東支線北滿貨物の動き

北滿貨物の東支線東南行數量を昭和六年（自一九三〇年十月至一九三一年九月）七年（自一九三一年十月至一九三二年九月）の兩年度について比較すれば左表の如くであるが、東行激減に比し南行貨物が七年度において相當に增加してゐるのは去る四月廿五日以降東部線が全然不通（五月廿六日に一時全通したが僅か四日間開通したのみで直に再不通となる）となり、その後打つゞく匪害と水害により未だに開通を見ない狀態に立至つたゝめであり、全體的に七年度の輸送數量が激減したことは總體的な匪害および水害に因ると見るべきである（單位瓲）

	東行	南行
六年度		
大豆	八〇三、五〇三	五六八、九六八
豆粕	四七一、四四八	一四〇、二三六
豆油	六、九七三	三五、六六三
其他	三四、三六八	二一一、〇七七
計	一、三一六、二九二	九六九、九八四
七年度		
大豆	五〇三、二〇四	九一八、九六八
豆粕	二三九、一二三	六六五、四三三
豆油	六、五一九	一九、七六三
其他	六〇、八五五	一三三、九四七
計	八〇九、七〇一	一、一三六、〇四〇

特産外商連が南部線に出動
東部線不通で困る

東支東部線は目下のところ容易に開通の見込み立たず、さきにエキスポートフレーブでは手持大豆を賣急ぐ狀態で、エ・フはじめワッサルド等の外商筋には特産出廻りを前にして相當の打擊を與へてゐるが、ワッサルドではいよいよ南部線に進出し、双城堡では十九日新豆四中東車（水分十五％）を布度一圓四錢（哈大洋）で買付け、廿三日三岔河にて十七中東車を買付けた、値段は双城堡程度にて石五三乃至五七吊、何れも水分十四乃至十五％以上である、兩驛共未發送であるが多分南行物と思はれる次いでエキスポート・フレーブでも廿三日三岔河に買付のため事務員を特派したが今後の活躍を注目されてゐる、なほ三岔河における目下の出廻數量は一日平均約十二社車で等級は何れも一等品であり乾燥程度は十三％以內のもの三割十三乃至十四％もの四割乃至五割十四乃至十六％のもの二割見當である

東支鐵道運賃の銀建を提議
東支貨率委員會滿洲國委員が

【ハルビン特電二十六日發】東支貨率委員會滿洲國委員は現在の財政難を打開し、營業の實績を確實ならしめるには金留を廢止すべきだとの理由で、次回の理事會に銀建に變更すべく提議するに決した

置籍船の巢 山下汽船

◇…大汽の跡へ二十四日から引越してきた山下汽船、裝ひも新に南の陽を受けて清々しく、滿洲大豆の歐洲向輸出に劃期的の飛躍を試みようとして居るニュースは不況の折柄だけに賑かさがある。

◇…だが表の看板はどうだ、山下汽船、龍王汽船、山本海運、黑姬汽船、成宮汽船、川崎汽船の名がづらりと行儀よく並んでゐる、合宿世帶かと言へば、然らず、山下汽船株式會社で是等の關東州置籍船事務を執つてゐるんだそうな、一言にして言へば置籍船の巢だといふことになる

關税權實施による影響調査

滿洲國關税權の行使が直に九月中の關東州輸入貿易に大影響を及ぼしたことは本紙既報の通りであるが、九月の貿易により明かに看取される通り、輸入上甚だ有利となつた日本物が如何なる趨勢を辿つて支那輸入品に取つて代るかを調査することは極めて有益且つ興味あることである、そこで滿鐵輸入係や大阪市役所大連駐在所では早速この困難なる調査に着手した

……萬袋位であつたが、大體事變後の事ではあり餘り期待出來なかつたものでこの匪賊の脅威がのぞかれ、漸次治安の回復せられるにつれて前途は次第によくなるものと期待してゐる、來滿を機會に最近發展しつゝある青島を視察し歸國の豫定である

日本燐寸、魚類米國で騷がる

【ワシントン二十五日發】二十五日外務省關税局は日本品の輸入激增に關する當業者の聽聞會でマッチ業者代表の陳情を聽取した、代表者は日本マッチ業界がスエーデンマッチ王クロイゲル氏の死と共に……

資本金五十萬圓で新會社設立
五品市場關係者の取引信託會社計畫

大連五品取引所市場では從來同市場取引助成機關としては株式信託と商品信託の二社があつたが、双方共に先年來その機能を失し整理の餘儀なきに至つたが、株式部は今春大連五品代行會社が創立せられ、株式商品兩市場の助成機關として、既に堅實なる地歩を堅めつゝある、然るに代行會社は有價證券市場の繁榮から業務の大部分を株式部關係の豫想外の要望に迎へられ、商品市場の助成機關として充分手に廻り兼れる狀態となつたそこで商品市場關係者は、更にその完璧を期する爲め、新に資本金五十萬圓第一回拂込四分の一の大連商品取引信託會社を創立し、商品部取引人に對する

一、金融業務

イ、商品部取引人及び現物組合員に對する資金の融通（新麻袋、古麻袋、綿糸綿布、麻糸砂糖を擔保とする金融）

ロ、前項物品の奧地向け荷付爲替手形の賣買

二、信託業務

イ、商品部上場物件の受渡代行業務

ロ、綿糸定期取引の向玉緊賣買

ハ、商品部上場物件の現物賣買

ニ、其他附帶せる信託業務

を經營せんとする準備中であつたが、既に發起人の顏觸れも決定したので、近く株式會社創立に關する諸準備が成立し次第、委員長井上輝夫氏等は關東廳を訪問し之れが設立認可に關する諒解を求むる筈なりと

黃塵

◇…五品取引所の商品市場關係者ではさきに設立された五品代行會社の好況振りに刺戟され新に五十萬圓の信託會社の設立計畫中とある。

◇…久しく荒れはてゝゐた五品もかぶも出來ればだいこも出來るで賑やかなことである。

◇…只往年株式、商品兩信託會社失敗の歷史もある、これが原因はその經營を誤りたる人の罪にある、今後は前車の轍を踏まざらんことを戒めて置く。

◇…同社認可に關して關東廳に色ありとも傳へられるが…

公設市場業績
九月中增加

九月中における五公設市場の賣上高は二十九萬一千四百九十一圓にして前月に比し一萬六千九百三十一圓を增加し、前月同期に比し一萬一千九百七圓を增加した、市場別による賣上高及前月比較左の如し（單位圓）

市場	賣上高	前月比較
信濃町	一〇八、二七〇	增五、九一九
山縣通	五五、五九五	同九、九七〇
沙河口	三三、〇〇一	減二二八
小崗子	二一、四七三	增七七五
千代田町	四一、一五〇	同三五五
合計	二九一、四九一	同一六、九三一

本期南滿各地石炭賣上高

	本期	前年同期
大連	一六六、九七七	一五九、一七一
鞍山	九、一四四	九、六八四
奉天	三七、三二六	三八、〇四八
安東	二一、四八〇	三三、三二八
新京	一〇、三六四	八、九三三
合計	二四五、四四四	二三八、七〇五

奉天等の躍進著るしく鞍山、安東に於て幾分減少せるも總體に於ては約七分方の增となつてゐる、卽ちその賣上高左の如し（單位千立方呎）

南滿瓦斯の上半期業績

南滿瓦斯會社では廿九日午後重役會を開催し、九月末を以て終る上半期營業報告を附議するが、今期は業績も極めて順調に進み、ガス賣上高に於ても新京、……

滿洲米値下げ
新穀出廻りで

奧地の匪賊討伐一段落と共に滿洲米新穀もどしどし出廻りつゝあり出廻り增と共に相場も一段と崩れ前回小反撥した相場も二十五日現在に於て一叺につき三十錢方下落した、卽ち大連米穀同業組合の二十五日現在に於ける標準小賣値段は左の如し

▲朝鮮米（檢査特等）
六〇瓩入　一叺金一一圓九〇錢
三〇瓩入　同　六圓〇〇錢
▲滿洲米（各四三瓩入）
檢查特等　一叺金　六圓六〇錢
特等　同　六圓四〇錢
檢查一等　同　六圓三〇錢
一等　同　五圓八〇錢

市況（廿七日）

特産

大豆昂騰　奧地高と買長で

今朝の定期大豆は奧地高を入れ昂騰し強調を示し……

豆

けさ大豆は奧地高を眺めたるも邦商及南支筋の買進みで銀高も利かず昂騰を呈し▲豆油も大豆高を移して堅調豆粕は添はず不甲斐なきは大豆高に高寄したがあと仕手關係で強弱區々を示した▲銀價の先高を見越して內地筋でも先物買が弗々出てきたらしい、卽ち爲替關係により取引が增えてきたのは最近の一傾向であらう▲但し實需がさつぱりないのだから市況も冴えるわけがない▲十月の中國向豆粕の輸出は僅かに一廰、物の衰れを感ずる

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	五一四〇	五一八〇
普通（袋物）大豆（裸物）	五〇一〇	五〇六〇

出來高 三十車

銀

今朝海外銀塊は一齊安であつた神戸日米十六分の三安を入れ▲鈔票は四十錢高に寄りアト買氣強く強調を辿り先物は二圓臺乘せとなつた▲上海標金は割合に落着きを示してゐるが當市は可なり買氣旺盛である▲一般に爲替の大先安見越しが一致して買氣の堀場をみた譯であるが總買人氣だけに危いところがないでもない▲どうせ十一月以後は波瀾性を增し興趣多き相場を迎へることにならうから餘り先走つて疲れぬやうに用心すべきであらう

錢鈔

鈔票續騰　日米爲替安で

海外情報は倫敦銀塊現物先物共四分の一安紐育銀塊八分の一安孟買八分の三安米英クロス三弗二十八仙十六分の九と一仙十五分の十五安米支十六分の一安米日二十二弗五〇と同事、滙申七十四兩七二五滙烟七十一兩八〇大洋九十五圓四十錢上海標金は七百五十五兩三と二兩八高、日米は十六分の三安を入れ地場鈔票は四十錢高に寄りアト强調を辿り二圓臺と昂騰した

◇定期前場（單位錢）

◇現物前場（單位錢）

株式

內地株强調 當市も續騰

北濱定期の前場寄は大株八十錢高大新六十錢高鐘紡九十錢高鐘新七十錢高と小戻り引は大株七十錢高大新十錢安鐘紡四十錢高鐘新三十錢高当市新は四、五圓臺と續騰を入れ當市五品は定期一圓四、五十錢高延一圓三、四十錢高滿興一圓一二十錢高と昂騰し新豆錢鈔と戻り東新は四、五圓高に引けた

株

今朝北濱市場は諸株共一圓揃み高と強調た廻り▲東新は寄四圓臺から……

商品

麻袋變らず 綿糸昂騰

麻袋●産地情報は鎌四分の一安日印爲替合を傳へ米日十二ポ鈔票引續き強調當市狀にて引際唱へは現……

綿糸●米棉十五高ポイント高印棉二留安大阪三品は爲替安限一圓三十錢高先限高と昂騰に寄付き跡當市は期近物には賣先物には依然買氣旺盛……

上海爲替情報

【上海二十七日發】……

奧地市況

爲替相場

手形交換高（二十七日）

市場電報

銀、及爲替 ／ 神戸日米 ／ 棉花 ／ 大阪株式 ／ 東京株式 ／ 大阪期米 ／ 神戸期米 ／ 東京期米 ／ 大阪綿糸 ／ 大阪棉花 ／ 橫濱生糸 ／ 印度麻袋

米日續落

【ニューヨーク】……

滿洲日報

自衛權に據る我行動 不戰條約に違反せず

米國務長官の日本非難演説を わが外務當局反駁

【東京二十七日發】滿洲問題につき久しく沈默のスチムソン長官は二十六日夜ピツツバーグ教區のメソジスト、エピスコパル教會で又も日本非難の演説をなしたが、我外務當局は大統領選擧對策として關心を拂つてゐないが、不戰條約に關し獨斷的解釋を下してゐる點を左の如く反駁してゐる

ス氏は不戰條約は世界の如何なる場所における戰爭も關心事であると説き、之が各國の承認した原則であると稱して居るが、これはイギリス政府の重大留保を無視せるものである、フランスも同樣である、日本は文書の形式では行はなかつたが**滿洲に對する我特殊地位に鑑み當然自衛權行使に關する留保を附せるもの**である、昨年來の**我行動は自衛權で不戰條約違反ではない**、滿洲の獨立と我自衛權とは直接の因果關係なき事實である、ス氏が彼此混同して獨斷をやるは不可解である

侵略による結果は 飽迄認めずと强調

認識不足の米長官

【ピツツバーグ（ペンシルバニア）二十六日發】スチムソン長官は廿六日ピツツバーグ教區メソヂスト・エピスコパル教會で……を重ねて强調して曰く

……事件に關連し示された平和のための國際協力は、世界……去數世紀間に亘り他より遲い諸原理に基いて努力した後國際協力の方針に基いて漸……しつゝある證左である滿……て條約違犯により獲得された侵略結果を他の諸國が承認する事を拒否した事は平和への道程における一里塚となるものだ、余はこゝに戰爭に對する世界の態度の新しき動向を見、極東の戰爭阻止のために動いた世界列國の不戰條約と聯盟規約に對する解釋中に如何なる箇所における戰爭も、到る處における關心事だとの基本的觀念の受諾された事を看取する、フーヴア氏は就任に先立ち南米諸國を巡歷し各國間に個人的な隔て無き外交的接觸を行はんと努力したが、米政府は更に國際條約で平和の促進を期し他方秩序整備の第一步はピストルを抑へる事で、軍縮事業の目的も其處にあるとて軍縮會議不戰條約を强調し

若し滿洲國に紛擾が勃發した場合假に我々が之に顏をそむけたら單に不戰條約のみならず、世界の偉大なる諸平和條約の外の一つ一つが償ひ難い損害を受けたに違ひない

然しながらスチムソン氏も平和の到來とかゝる人類機構の發展が極めて遲々たるものなるを認めてその結論としてゐる

四經濟團體の反駁書内容

【東京廿七日發】日本工業俱樂部日本經濟聯盟日本商工會議所日華實業協會四經濟團體のリツトン報告書に對する反駁意見起草委員會は廿六日丸の内工業俱樂部で開催したが、原案の決定を見るに至らず更に廿九日起草委員會を開くこととなつた、而して右反駁書はリツトン報告書の總括的批判を試みた後、特に支那のボイコツト並に門戸開放、機會均等主義に言及したものであると

クロニクルの暴論

【北平二十七日發】松岡代表の聲……部通過の際同國首腦部と重要協議せんとの消息並に東京における日露不可侵條約交渉進捗の報は痛く支那側の神經を刺戟し、本日の北平クロニクルの如き世界に挑戰する以外に共通性無き日露兩國の接近は奇怪千萬だが日本としては聯盟に對する威嚇示威、又滿洲の終局的占領のためロシアとの諒解を必要としロシアは五ケ年計畫の有終の美とオツタワ會議に對する報復手段の爲に日本の經濟的援助を要するのだと八つ當りにまくしたてゝゐる

アメリカも日本の特殊的立場を諒解

兩國間の空氣は惡化しない

きのふ來連の出淵大使語る

來連した出淵駐米大使（左、周水子着の大使×印、右滿鐵正副總裁訪問の大使）

駐米大使出淵勝次氏は歸任を控へて滿洲の現狀を視察すべく二十六日大阪發、二十七日午後三時四十分周水子飛行場に到着した、徐ら顏で福相の大使は出迎への八田滿鐵副總裁、大村關東軍交通監督部長らと久濶の握手を交し、竹中滿鐵理事その他の挨拶を受けた後、航空會社休憩室で記者團と會見左の如く語つた

私は來月十一日東京發、敦賀よりシベリアを經由しジユネーヴからフランス、イギリスを通つてクリスマスまでにアメリカに**歸任**する豫定でゐる、それでその前に一度各方面の狀況を見ておきたいと思ひ出かけて來たわけである、滿洲へ來るのはこれで三回目で全く久しぶりだが一定の使命があるわけでなく單に見聞するためである、アメリカの極東に對する態度が靜觀主義に轉じて來た？それは新聞が勝手に能動的にしたり靜觀させたりするのだらう、アメリカとしては日本の滿洲の特殊の立場は十二分に諒解して居り、日本を滿洲から追ひ出さうなどとは全然考へてゐない、この點は日本人も安心して可なりだ、たゞアメリカとしては不戰條約は自分が作つたといふ感じがあるので、成るべく平和的にやりたいといふ希望を持ち、その**理想**の下に日本に對して物をいふて來たことがある、しかし日本の立場もアメリカ人に段々わかつて來て居り、何か突發的な事件の起らぬ限り、兩國間の空氣は惡化することはない、不侵略條約を中心とする日蘇接近説がアメリカにどう響いてゐるといふのか？大體日本とソウエートとはそんなに接近してゐるのかね

など巧に質問の鋒先を避けながら、もう、この位でよからう、今日はさてもよい航空でれ、大孤山附近では馬賊に燒かれた村から煙が立つてるのがよく見えたよと語り八田副總裁と同乘滿鐵本社に向ひ林總裁と會見後星ケ浦ヤマトホテルに入つた

日本の新軍縮案に 米當局異常な關心

同情を以て講究言明

【ワシントン二十五日發】十一月三日再開の軍縮會議幹部會に日本政府が提出に決したと傳へられる新軍縮案に對し、米政府は異常なる關心をもち提案の詳細を待望してゐる、政府當局では日本の軍縮案には同情を以て講究する旨言明してゐる

佛の軍縮案

與黨外交委員會採擇

【パリ二十六日發】十一月三日再開の軍縮會議幹部會に提出すべきフランス軍縮案の大綱は二十六日政府與黨たる急進社會黨外交委員會で採擇された、骨子左の如し

一、ドイツは再武裝の意圖の一切放棄を闡明し歐洲の國際的機構内の正常的地位を占めしむべき事
一、若し會議で佛軍縮案が受諾されゝば佛の陸軍々事豫算中少くとも二割縮減すべし
一、提案内容
（イ）國際航空警察設置
（ロ）軍事豫算及び武器製造の國際的管理
（ハ）陸軍類似の警察力禁止
一、ドイツは軍備均等要求をなして居るが、すべて國家は軍備均等權利を有す、しかし各國の軍備は人口、領域、植民地、國境の性質、製造能力その他類似の戰爭可能々力を考慮決定せねばならぬ
一、國内的安全保障を期する場合にはこれに對し國際的保障確立を要す、この點に關しアメリカとの間に商議協定の可能性を豫想し、佛提案が軍備三分の一天引案に關するフーヴア案を包含更に一層思ひ切つたものとならう
一、侵略國の提議並にこれが判定手續きを一般的議定書又は合理的條約に包含せしむる
一、不可侵及び相互援助に關する議定書締結は從來の同盟に代らしむべき事
一、實戰鬪員決定に當つては恐らく正規軍と民團とを合算する必要とすべし

佛の新巡洋戰鬪艦

【パリ二十六日發】フランス海軍省は新巡洋戰鬪艦ダンケルク號の龍骨据つけを命令した、同艦は排水量二萬五百噸、十二吋砲八門を搭載しフランス海軍の一威力となるはずである

局長級異動

外務省の人事

【東京二十七日發】十一月中に行はるべき大公使異動に伴ひ本省局長級にも左の如く異動が行はれると見らる

ドイツ大使館參事官 東鄕茂德
任歐米局長
佛大使館參事官 栗山茂
任條約局長
紐育總領事 堀内謙介
任通商局長
通商局長 武富敏彦
任米國大使館參事官

尙米國大使館參事官齋藤博氏は出淵大使の歸任を待ち一旦歸朝し公使として歐洲に派遣される筈である

管内巡視に 武藤長官來連

盛んなる驛頭の出迎

駐滿全權部の新京移轉を控へて駐滿全權大使武藤信義大將は關東長官として關東廳管内巡視の爲め關東軍司令部附齋藤大佐副官萬城目少佐並に關東廳秘書課長鹽原時三郎氏を帶同二十七日午後七時五十分大連驛着列車で到着驛頭には安藤旅順要塞司令官以下在旅大軍部關係者を始め小川大連市長、滿鐵林總裁、八田副總裁其他各理事一般民衆多數の出迎へを受け直に大連ヤマトホテルに入つたが同列車で赴奉中であつた關東廳の日下内務局長佐保安課長淸水土木課長等も歸廳し事務上の檢閲を受ける筈であるが同全權を金州に出迎へて車中に訪へば折柄沿線の普蘭店巨民政署長及び金州大和田民政署長より管内の狀況報告を受けつゝあるため副官萬城目少佐代つて面接し「全權は別段お話しする事もない暫く關東廳管内を離れて居り又近く新京へ全權部の移轉をする事となつたので關東長官として關東州内の巡視のため來られたのである、滿洲國承認と共に日滿關係は益々緊密となり漸次治安も回復しつゝあるが例の三國不可侵條約問題その他については全權としては今何もいはれない」と語つた【寫眞は大連驛着の武藤長官中央】

國府、内亂將領に 即時停戰打電

聯盟總會を前にして

【南京二十七日發】國民政府は四川擾亂擴大に狼狽してゐるが、羅文幹は昨夜四川各將領及び山東に對峙する韓復榘、劉珍年に對し聯盟總會近づく、速に内亂を熄め外敵を防がざらんか、支那の國際的不利愈々大ならん、支那は統一せる國家なりや否やは一に貴官等の行動に懸るを以て直ちに内爭を熄めよと打電した

鄧軍成都占領

【上海二十八日發】支那側情報によると田頌堯軍は二十二日劉文輝軍根據地成都に迫り劉文輝軍と突戰更に鄧錫侯軍が田軍と協力したゝめ劉軍は遂に成都を棄て敗走し成都は叛軍に占領されたが、劉軍は逃げるに際し市街戰を演じた爲め城内に火災起り相當の死傷者を出した

重慶西方で 兩劉衝突

【上海廿七日發】重慶來電によれば……軍は重慶の西二十里江津、永川、田家舖の線で衝突し劉文輝軍の飛行機は重慶に飛行威嚇しつゝある、又劉湘軍の軍艦一隻は擊沈され昨日中に同軍の負傷者二百餘名が野戰病院に收容されたと

山東省境の 動搖憂慮

蔣の武力解決に

【南京二十七日發】蔣介石は山東内紛の武力解決を決意し河南の張鈁軍を歸德方面に出動せしめると共に熊斌を北上せしめ韓復榘の服從を迫らしめる事と成つた、河南山東省境に新なる動搖憂慮さる

日銀の第四次利下 來月中旬斷行か

觀測漸く有力となる

【東京二十七日發】日本銀行は近く第四次利下げ斷行するだらうとの觀測が漸次有力化されつゝあるが、その根據は次の如し

一、時局匡救豫算の實行に伴ひ一般金利の下向傾向は最近頗に濃厚になつて來たが、之は將に完全の低金利時代へ轉向の緒に就いたものと解釋される事
一、日銀貸出は昨今の貸出高を見るに特別融通を除ける普通貸出は月末と雖も一億二、三千萬圓に過ぎず、金融緩慢の深刻さが明かな事
一、今後の政府公債發行高は想像以上の巨額に上るべく之は當然公債市價を壓迫する事になるがこの壓迫と相殺するには金利低下の傾向に拍車をかける以外に途がない事
一、國債の低利借換問題は論議時代を脱したもの……如くであり政府日銀當局は當面する國難的財政難を切拔ける一助として國債の低利借換を斷行するも已むを得ざる事……日銀利下げによる金利の急速なる低下を誘導する要がある事

なほ利下げ時期は十一月中と觀らる

農林省から 折衷案提出

米穀統制に關し

【東京二十七日發】米穀部顧問會議審議の進行に伴れ米穀專賣案は財政上、管理案、公定案は缺陷多く統制有る米價を招來し難くしていづれも實行困難と判明したので農林省は管理又は公定案を基礎に專賣案を加味した折衷案を作るに至つた、卽ち管理案に據ると一地區と他地區との米價に差異を生じ地域におけるさや買を助長する不合理不公正を來すため公定案の趣旨によりこの缺陷の一部を除地し更に專賣案の趣旨により國家が配給統制を行はんとするものである

吉田大使

今夜東京出發

【東京二十七日發】聯盟總會臨時會議に出席の吉田大使は報告書に對する帝國政府の意見書を携帶二十八日夜九時二十五分東京發敦賀より浦鹽に赴きシベリア經由一路ジユネーヴへ向ふ事となつた

ウォール街の賭 ル候補が優勢

【ニューヨーク二十六日發】ウオール街の大統領選擧の賭でもルーズベルト氏優勢である

在鄕警察團設置

内務省乘氣で計畫

【東京二十七日發】最近の世相は極めて險惡で思想的にも又經濟的に徹しても容易ならざる狀態にある、從つて警察事務は日と共に繁激を加へ警察官は殆ど晝夜兼行事務に勉勵してゐるが、この非常時局に當り各地方ではこれ等警察事務を外部から補助し一朝有事の場合は卽座に動員する所謂在鄕警察團を組織すべしとの議が擡頭して來た、内務省も右意見に對しては現下の社會事情に徵し頗る乘氣で特別に支障なき限り是非共實現させたいといつてゐる、右につき内務省首腦部意向は

一、在鄕警察團の團員資格は嘗つて警察官たりし者は年齡滿五十歲以下、在鄕軍人は滿四十歲以下の者に限る
一、警察團本部を東京に置き各府縣に分團を設ける
一、團長は内務大臣として教育は警察情勢に特に堪能なりし者

これにより警保局調のみる所は全國約十四、五萬人の團員を得るだらう

奉天の特務機關

十月卅日より復活

軍司令部の長春移轉に伴ひ奉天には十月卅日から特務機關を復活することゝなつた、事務所は十月三十日から十一月五日まで瀋陽館内十一月十六日以降は江ノ島町舊特務機關内である【奉天電話】

預金部貸付金 利下げ期日

【東京二十七日發】預金部貸付金利下げは新規の分は十月一日より實施中であるが既往貸付に屬する約十三億圓は十二月一日より利下げと決定した

武藤長官巡視

武藤關東長官は旅大巡視のため鹽原高級副官、日下内務局長以下を從へ二十七日午後一時四十分發急行で赴連した【奉天電話】

出淵大使日程

二十七日來連した出淵駐米大使は同夜滿洲館における林總裁の招宴に臨んだが二十八日は旅順に赴き武藤全權と會談、同夜午後四時五十分發列車で赴奉する筈

米代表壽府へ

【ロンドン二十六日發】マツク首相サイモン外相と海軍々縮に關し協議中なりし米代表デヴイス氏は二十七日一先つ會談を打切り二十八日パリを經てジユネーヴに行くことゝなつた、今迄の會談は頗る滿足すべき進行を見せて居りデヴイス氏は十二月頃再びロンドンに行き再會するものと信ぜらる、なほ二十七日松平大使はデヴイス氏と會見の筈

明糖社長辭任

【東京二十七日發】明治製糖社長相馬半治氏は明糖事件の渦中にあつた責任觀念から二十七日同社總會後辭表を提出した、後任社長は新取締役原邦造氏が推され相馬氏は平取締役として就任することゝなつた、なほ專務有島健助氏も辭表を出したが重役會は社長辭任の故を以て慰留し專務として殘ることゝなつた、又事件の渦中にあつた佐々木川崎工場長市橋神戸工場長は既に辭任し同事件の責任は解決を見た

航空研究所長後任

【東京廿七日發】東京帝大附屬航空研究所長斯波忠三郎男は嚢に教授の停年六十歲に達し工科教授は辭したが、航空研究所長は特に惜まれて留任中のところ、愈々勇退に決し後任は廿七日左の如く發令された

補航空研究所長 東大教授 和田小六

社説

南京政府の意見書
リツトン報告書と相容れず

リツトン報告書に對する南京政府の意見書が發表された。前後八項に渉つて其主旨を陳べてゐるが、大體に於てリツトン報告書を否認するものであつて、頗る非協調的である。曩には、大體リツトン報告書を是認すると傳へられたが、愈々となれば矢張り體面上、硬論に傾くのであらう。意見書の中「獨立國家としての滿洲國を取消すべし」と主張してゐるのは、報告書と主旨を同じくするが、事實上殆んど獨立國同樣な自治領と爲すには反對してゐる。即ち支那が名義上のみの宗主權を採るに滿足せずして、實質上の主權を維持せんとするのである。故に「東三省の自治制は許す」も、それは「中央政府の管轄下におく」又この制度によりて組織さるゝ政府は「中央政府の自主的設立に係るべし」となすのは、現在の滿洲國政府を全然認めない意味である。而して「現在の他の地方政府と同格と爲す」といふのであるから、丁度從前の舊東北政權を復活せしめて、而してそれよりも自治の範圍を狹くなさんとするのである。舊東北政權の自治の範圍は頗る廣大であつた。故に或場合には獨立國の如くであつた。

◇

支那の此意見書にては、東三省に自治を許すといひながらも他の地方と同樣な地方政府を作るのだといふから、當時の張學良政府よりも、もつと權限の狹いものとなすのであつて、それでは現在の山東省や山西省と同樣である。現在の滿洲を解消して斯くの如き狀態に爲すことが出來るか否か解らずとは、認識の不足に驚かざるを得ず、萬々一それが出來るとしても、對日對蘇の外交關係は從前の如く、日蘇の滿洲に於ける權利も從前通りであるから、斯の如き地方政權が、この事情の上に立たんとすれば、舊東北政權の立場よりももつと困難な立場になる。而して中央政府は、以前よりも東北政權との關係が密接なるだけに東北の對日對蘇の關係から累を受くることも、前よりは大ならざるを得ない。

◇

畢竟、南京政府の意見なるものは、滿洲の事情に適應しない事においてリツトン報告書以上である。故に斯くの如き意見は實際には決して行はれず、若し誤まつて實行さるゝならば、東洋諸民族の平和を毒する原因となることは、リツトン報告書の指示する解決方法よりも更に甚しい、と見なければならぬ。本國人が、外國人よりも認識の不足を示すといふのは、如何にも不思議ではあるが、元來南京方面には、滿洲の實情を少しも知らざる點において、歐米人と兄たり難く弟たり難き支那人が多いことは、嘗て吾人の指摘した所である、又事情は解つてゐても、表面的に愛國心を示す爲めに各要人の本心とは異なる決議が出來上り、それを文章に現はすのだから、自然に斯くの如き不徹底なものになるのだ。

◇

意見書中、以上がその根本的なるもので、この點に於てリツトン報告書と兩立しないものである以上、枝葉の點は問題でない。而してその枝葉の點に於ても、滿洲地方官廳に外人の顧問を雇傭するのはよいが「報告書に示すやうな廣汎な權限を與へない」といつてゐるが、外人に警察、財政、金融の全權を與ふる事が報告書の眼目であるから此點に於ても兩者相容れない。又「日本の滿洲に於ける商租權鐵道敷設權に關する日支協定は日支條約協定計畫を根據と爲しそれ以上の範圍は承認せず」といふのは日本の滿洲に於ける權益を認むるに、甚だ吝ならんとするもので、リツトン報告書程の、日本の權益に對する理解もない。況んや日本の必要と爲す「權益」とは天淵の差を示すものである。

要するにこの意見書は、リツトン報告書が東洋事件に干渉し歐米人が永久に東洋の支配權を握らんとするのを拒斥せんとするの意あるを看取し得るが、歐米人をして斯くの如き態度を採るに至らしめた原因が南京政府にあるから、爲めに南京政府は甚だ困惑してゐる事が歷々として窺知される。而して一方は歐米に對し、他方は日本に對して自主權の保持を主張せねばならぬ立場から割り出したのが此意見書で、實地の事は少しも顧念せず、只筆先で、其立場を糊塗し得るやうに作りあげたものである。故に此點から見れば、最も空論的なものであつて、日本の意見書が最も實際に適し、リツトン報告書は其中間にある。而して此意見書はリツトン報告書と全然抵觸するものであり、日本の意見書とは背反するものであり、結局支那は餘り多くを聯盟に期待してゐないことも察し得る。

一層の緊張を加へ ゴール近づく
各候補の神算鬼籌

逐鹿戰も漸く峠を越していま最後の決戰に備ふべく各候補者は何れも兵馬を休め秘策奇謀の眞最中であるが大體に於て來る三十日の日曜日が龍虎相打つ白兵戰となるべく苦戰組もこの一戰で當落を決する運命日とされてゐる、現在の處最も激戰地といはれた聖德街方面は餘燼なほ危險を孕むと雖も大勢は大方決して票の分野も自ら定まり沙河口方面また鈴木、上原、田中(守)田中(正)栗崎各候補のほか相川、桑野兩候補が果然不意打に出て深更の街衢さながら百鬼夜行の感あるが森川、石川兩候補の牙城などれだけ脅かしてゐるか疑問であり、この地また向背や、決したかの感を呈してゐる、譚家屯伏見臺、連鎖街方面また同樣激戰後の後始末に颱風一過の靜けさを見せ老虎灘街道筋及び露西亞町方面も戰ひの勝敗すでに決し來るべき決戰の無氣味さを思はせてゐる、只西公園町以東から埠頭方面にかけてまだ混戰狀態にあるがソレとても大勢は決し得票には片つ端から鐵條網を張られつゝあり、苦戰團の突擊がどれだけ奏功するかそれのみ興味の中心となつてゐる

って居る、何時訪れても森川候補は事務所に居たためしがなく運動員と取巻連のみが文書戰の封筒を書いたり茶を吞んだりして雜談に耽つてゐるが聞けば同候補は勤務の關係上夕方の四時か五時ごろヒヨツコリ顏を出すのみだと云ふ大連機械製作所と沙河口を地盤とし沙河口工場にも相當喰ひ入つてゐるがまた一樹會(謠曲關係)や進和商會の關係で長驅大連にも逆襲を試みてゐる、世間の評判では最高點を爭ふだらうと云はれてゐるが運動員達は

そんな馬鹿な話がありますか、然う云ふ事を傳へられるので八方から切り崩されて困つてゐます

と極力打消してゐた、なほ同候補は立候補の挨拶に

日露戰爭の際渡連し爾來二十有八年實に我が半生を安住して來た大連市のため其の發達と市民幸福を目標とし是を是とし非を非とし私心を挾まず誠心誠意市政に盡力する覺悟である

と述べてゐる

ゼット旗の下の『此一戰』候補
「少しも騒がぬ」謠曲候補

龜澤福禎氏

「出る釘は打たれると申しますから出しやばりたくない……これが私の本領であるが今回圖らずも先輩や知己のお勸めもあり表面へ立つ氣になつた」

これが新人龜澤福禎候補が洩らした冒頭語である龜澤候補は但馬町に選擧事務所を置き北條爲英氏が選擧事務長となり八面六臂の獻策に縱横の活躍をつゞけてゐるが戰況は一進一退悲喜交々の苦戰と傳へられてゐる、色街方面に相當の潛勢力を有する人とて「御當選を祈る」の花環が事務所を埋め鬪志滿々の雰圍氣に一脈の明朗さを添へてゐるが一方壁間にはまた「ゼツト旗」を掲げて寸毫の油斷なき緊張振りを見せてゐる、同候補は水上署、埠頭事務所に根を下ろし美濃町方面、但馬町、法院、正隆、鹿兒島縣人會にも相當信望を蒐めてゐるが目下の處當落の戰線を彷徨しつゝあり、最後の一戰に若し作戰を過たれば當選圏内に入るであらうと今一段の奮起を期待されてゐる、同候補は語る

私は思ふ、大連市政は大連市民のみの生活であつてはならない母國や滿洲國乃至世界の大連市であり同時に大連市の日本や滿洲國乃至世界であると云ふ見地より正しく視、克く聽き深く稽へて勇往邁進し大大連市の完成を促進すべきではなからうか、併し私は顧みて自己に適格あるを知らない從て地盤や支援者も勘ないのである、只先輩や知己が悲壯な決心を以て乏しい私を應援して下さるといふ一言に感激し市政に參與すべく決心したのである云々

森川莊吉氏

森川莊吉候補は沙河口大正通りに選擧事務所を置き森脇太郎氏が選擧事務長となつて萬事の采配を振

中川邦四郎氏

中川邦四郎候補は若狹町に事務所を置き有田仲藏氏を選擧事務長として若狹町二葉町、八幡町、播磨町一帶に金鐵の頑張りを見せてゐる、同方面は元鈴木候補の傘下であり唯一無二の地盤であつたが漸次これを驅逐して品田議員の地盤であつた春日町、西公園町方面にも勢力を扶殖しまた和歌山縣人會にもモーションをかけてゐる、この候補もまた事務所に居た事なく白髮の爺さんが何時も勿體ぶつて廻轉椅子に腰をかけ記者の訪問を五月蠅いものゝ如く頗る愛嬌がない

「中川さんの形勢は?」

「ソンなこと知らない」
「でも戰線の動きは?」
「あなたの方が好く知つてるでせう」
「何か挨拶狀か宣言書はありませんか」
「ソンなものありません」
「有權者へは配つたでせう」
「配つたつて新聞社あたりへ出しません」

てな調子だ、記者もたまらなくなつて逃げ出した

政談演説會

今村貫一候補 二十八日午後六時より松林小學校において政見發表演説會を催すが應援辯士左の通りである

▲市と云ふもの實性確成▲至誠一貫脇屋次郎▲市會議員を語る加茂方外▲所感辻慶太郎▲第一歩より光畑三郎▲在連朝鮮人の一員として權泰山▲更始一新手島勳▲市の健康を期す宮武隆

千種峰藏候補 同日午後七時から南沙河口滿鐵倶樂部に於て政見發表演説會を催すが應援辯士左の如し

▲下津地方部庶務課長▲小須田商工課長▲遠藤博士▲兒玉衛研所長▲柴藤博士▲石村誠一氏

低資誘致は有望
田村前副會頭の來電

八月以來滿洲商議聯合會の議決事項たる低利資金二千萬圓の滿洲誘致につき拓務、外務、大藏各省要路に運動を續けつゝあつた田村前商議副會頭は低資問題につき二十六日夜大連商議宛

西山部長、門田代議士、小生三名に對し昨日(二十五日)大藏省富田預金部長より滿洲中小工業者産業資金融通の件は最近預金部運用委員會にかけ審議すべき旨話された、また本日(二十六日)堤拓務政務次官より不動産融資の件は次の本議會に朝鮮の例に倣ひ政府保證に關する議案提出には極力盡力すべき旨言明された、之れにて一先づ運動を打切り西山氏と共に今夜(廿六日)此處を立ち明日(廿七日)うすりい丸に乘り歸連する

旨の入電あり低資問題も最初の希望通り果して二千萬圓の誘致可能なりや否やは預金部の現狀より見て豫斷し得ないが、政府の滿洲に對する理解もこれにより一段と深められた譯で低資の滿洲誘致は殆ど確定的と見られる

臺山屯に綿虫發生
徹底的に驅除

金州農事試驗場では大連市外臺山屯に全世界の果樹園業者に最も恐れられる林檎の綿虫らしいものの發生してゐることを聞込み二十六日大連民政署と打合の上井上技手出張審査の結果林檎綿虫(エリオソマランゲル)に相違なきこと判明、二十七日關東廳に報告する一方その豫防について萬全の策を施してゐるが今のところ被害樹數は極めて少いから徹底的の驅除を行へば蔓延の虞ないと試驗場では語つてゐる【金州電話】

暴利取締
新京一圓に局限

暴利取締令の實施につき軍部と打合せのため件高等課長が來奉したが關東廳としては新京の一地方にとゞめ奉天その他は從來の施行せるものにより特にこの際暴利取締令を施行せざる方針である、なほ暴利取締令は廳令とせず告示をもつて即時高等課長の歸任をまつて直に施行の手續きをとることに決定した【奉天電話】

株式市場

熱狂的 氣分横溢す
インフレ人氣と滿洲建國の樂觀

【東京二十七日發】一時下火となつてゐたインフレーションの人氣は最近低利金利の實現と共に再燃し事業界は各所を通じ樂觀人氣旺盛で製紙事業の合同を機とし事業整理期待され更に政府の匡救事業に依り或は滿洲國建設事業によつて物資の需要喚起豫想され又一方國際關係現在のところ未知數乍ら一部に好轉傳へられ之に拍車をかけて政府のインフレーション政策ととみられ株式市場新株を先驅に日銀利下げ説とを入れて主力の熱狂氣分を馴致し二十七日後場短期新東は百七十九圓二十錢の新高値を示現し今や積極政策の前月の高値を上拔き本年一月以降時代再來の第一歩を踏み出せるものとみらる

奉天省内阿片 收買可能量

奉天省は近くいよく阿片收買法を實施することになつたので阿片産出の本場熱河省に隣接せる各縣に調査員を派遣し詳細調査せしめたが、その報告によれば各縣の收買可能數量は

黑山縣	四萬兩(一兩はわが十匁强)
彰武縣	二千五百兩
錦縣	五、六千兩
義縣	四萬兩
綏中	不詳

で總額十萬兩前後の收買は困難でないと觀られてゐる、その成分は一兩純煙十分の七を最高とし十分の五前後を最低とし時價は上物一兩大洋二元、下級品一兩一元五角位である、なほ從來右の各縣が熱河から輸入してゐた阿片は頗る多額に上り多くは鐵道從業員に依つて秘密に媒介されてゐたのであるが、阿片專賣實施の曉は優良阿片を公然購買出來るものであるから阿片癮者に取つては大きな福音である【奉天電話】

大村監督部長

關東軍交通監督部々長大村卓一氏

昭和六年の人口動態

【東京二十六日發】内閣統計局發表昭和六年中の人口動態左の如し

▲出生	二、一〇二、七八四
平均一日の出生	五、七六一
前年に比し實數においては増加人口	一七、六八三
▲死亡	一、二四〇、八九一
平均一日の死亡數	三、四〇〇
前年に比し増加	七〇、〇二四
▲死産	一一六、五〇九
前年より實數において減少	一、二二一
▲婚姻件數	四、九六五、五七四
前年に比し實數において減少	一〇、一〇〇
▲離婚件數	五〇、六〇九
前年に比し實數において減少	六五〇
▲自然增加	八六一、八九三
平均一日	二、三六一
前年に比し減少	五二、三四一

この自然增加減少は前記の如く出生死亡共頓に增加したが、死亡增加が出生增加より一層多かつた事に基くのだ以上朝鮮、臺灣、樺太南洋群島、關東州、外國等における内地人を加へた帝國人口動態と統計總數左の如し

出生	二、二五一、五〇〇
死亡	一、二六三、三七〇
死産	一一七、〇八二
婚姻	五〇二、二四九
離婚	五一、一六二

商議書記長問題

大連商工會議所書記長問題は高田會頭の上京等により延々の形となつてゐたが二十七日午後高田會頭桑島瓜谷兩副會頭初顏合せの理事會に於ても諸種の事情により何等具體的決定に至らなかつた

は二十七日正午滿鐵々道部を訪問し、村上部長と約十分間打合せを遂げ、村上部長と同車して滿洲館での滿鐵招待午餐會に臨み午後一時半再び鐵道部長室を訪問、村上部長、羽田次長、伊藤聯運課長、石原參事等と約一時間半鐵道問題について協議、同三時出濟大使出迎へのため周水子に赴いた

樺山鹿兒島市長

鹿兒島二十七日發鹿兒島市長少將樺山可也氏は豫て病臥中の處二十七日午前二時尿毒症にて死去した享年五十七歲

第三師團參謀長

【東京二十七日發】大塚第三師團參謀長逝去に伴ふ後任は步兵第十二聯隊長佐藤正三郎大佐に決定した

陸軍辭令

【東京廿七日發】

旅順工大服務 步兵大佐 田中清

補第三十二聯隊長 陸軍省整備局課員 步兵少佐 西大條

補關東軍參謀

人事

▲武藤信義閣下(駐滿全權大使)二十七日午後七時五十分着來連

▲岩瀬徳一氏(陸軍中佐)二十七日午後七時五十分着連雲水にて投宿

▲渡部本彦氏(陸軍少佐)同上

▲齋藤彌平太氏(關東軍司令部附)同上

▲萬城目武雄氏(武藤全權副官)同上

▲藤原時三郎氏(關東廳秘書課)同上

▲徳田順一氏(關東軍司令部附)同上

▲長岡哲成氏(營口工程局技師長)同上

▲龜岡精一氏(四洮鐵路滿鐵代表)同上

▲角佐七氏(海軍燃料廠平壤部長機關大佐)同上

▲松永三郎氏(同上機關少佐)同上

▲日下辰太氏(關東廳内務局長)同上

▲清水本之助氏(關東廳土木課)同上

▲小倉氏(農事會社重役)同上

▲大和田彌一氏(金州民政署長)同上

▲松尾晴見氏(東亞煙草重役)十七日午前十一時出帆大連丸にて離連

▲宮崎與八氏(日清製粉神戸支店長)同上

谷萩少佐赴津

石井陸軍參與官と同行せる陸軍新聞班陸軍步兵少佐谷萩那華雄氏は陸軍省の命を受けて參與官一行に別れ二十七日午前八時來連一時遼東ホテルに休息の上、同日午後一時出帆濟通丸にて天津に向つたが、同少佐は天津並に北平の最近の狀況を視察の上歸國の豫定である

八相 滿洲國への歸化
五十行以内 中傷はさらず 投書歡迎

長春在住者

◇日本人にして新國滿洲國に歸化出來るでせうか。

◇若し出來るならばその手續き方法を敎へて下さい

お答へ 日本國臣民の滿洲國歸化は滿洲國建國の精神及其聲明に徵するも何等差支ある筈はありません。

◇但し其目的が土地租用その他事業關係からならば特に歸化せずとも滿洲國人同樣の權利が附與されてゐますから其必要はない譯です。

◇然し是非歸化せねばならぬと言ふ特殊の事情があれば滿洲國には未だ國籍法の制定なき爲め其手續方法等は定つて居りません。

◇右に就き念のため關東廳經由滿洲國司法部へ照會しましたがヤハリ同樣の意味の回答に接しました【係記者】

不正行商と取締
大連署保安主任

◇廿五日附本欄の「不正行爲品」の投書に對し大連署保安主任は左の如く語つた

◇不正行商人の許可に關しては當局で之が身許調査を嚴にし尙取締上注意して居りますから斯かる不正行商人のある筈はないと思ひます。

◇從つて無許可でやつて居るのではないかと思ひます、左樣な者が有りました時は成可く警察に御知らせを願ひたい。

◇だが納豆については臭くない納豆が有るとは思はれません、納豆を始めての御方で其の臭みと粘りで腐つたと間違へて居るのではないでせうか。

『滿洲はいらぬ』といふ『藍衣社』の正體解剖
(3) 上海特派員 日森虎雄

中國のフアツシヨの藍衣社が、民主主義の外貌を脱ぎ捨て、獨裁主義の新形式を以てすることはいふまでもないが、その目的を遂行する爲めに藍衣社は「三健主義」なるスローガンを掲げてゐる、三健主義とは、健軍、健黨、健財の三主義であるがその內容はかうだ

健軍主義 藍衣社の黃埔同學全國の各軍隊中に散入せしめ、漸次その指揮權を奪取するこの方法は

(1)該軍中の將領の行動を監視する

(2)兵士のフアツシヨ組織を實行する

(3)フアツシヨ組織を以て隊內の中堅となす

(4)機に乘じ兵變を起し實權を奪ふ

なほ中央軍官學校の軍官研究班軍事委員會訓練處の政治研究班等は均しく健軍運動の組織である

健黨主義 このスローガンは已に公然と國民黨內に提出されてゐるがその計畫は

(1)國民黨の黨務整理に名を藉り各級黨部を藍衣社員にて奪ふ

(2)國民黨の總理制を恢復して黨の獨裁を實現する

北外尙秘密班はあるやうだが未だ外部には絕對に洩されてゐない

健在運動 之は某國軍閥と一樣に軍隊により尨大なる土地を占領するに在りその方策は

(1)平均地權に名を藉り尨大なる土地を占領し藍衣社の所有となす

(2)國營工業の發展に名を藉つて對外大借款を起し藍衣社永久の經濟的基礎を建立する

之は宋子文によつて立案計畫されてゐるが、之を要するに三健主義は黨權、軍權、財政權を蔣介石一身に集中し以てその獨裁を永久的に打ち立てるに在る、元來中國民衆の心理中には獨裁とか專制とかいふのは極めて嫌ひ印象を與ふるやうだが、それにしても三健主義とは隨分考へた名稱らしい

× × ×

藍衣社最高幹部の役割は宣傳が程天枚、邵元冲、及陳布雷、銀行界への折衝は宋子文が一人で引受け、外交方面は陳果夫、朱家驊等が受持つてゐるが、就中現在では宣傳方面に最も力瘤を入れ「蔣介石は政治的方面に覺めて來た」として民衆の蔣氏に對する信仰を取戻さうと一生懸命である、蔣介石の大きな長所ともいはんか、故意に小さな缺點を指摘……なかなか用意周到である、宣傳機關も大いに整備され、みにても「中國日報」「平民日報」「人民周報」「文化日報」「民衆評論」「人民晚報」「我們の路」「進化週刊」あり、各その宣傳舞臺を定める所など宣傳上手の汪兆銘である

× × ×

然らば藍衣社の對外政策……之は汪兆銘一派の排外自救策と……

市況

株式 當市强調 內地株小戾り

特産 大豆弱含 仕手一巡に

錢鈔 日米引軟弱 當市續騰

商品 麻袋變らず 綿糸踉り

奥地市況

市場電報 東京株式(長期) 横濱生糸 大阪綿糸

歡興稅とは

◆…今回東京の市會に歡興稅といふものが提案されることになりました、この歡興稅とは如何なるものであるか說明して見ませう。單に東京市內のみならず、全日本を通じて、また現在の大連においても殊さらにエロとかグロとかの猛烈なカフエー、バー、ダンスホール等いはゆる歡樂場が夥だしくその數を增して來ました。

◆…これ等歡樂場のもたらす結果としては、金錢によつて購ひ得たサービスなるものによつて、一部の人々は感情の滿足と、美酒の醉ひ心地とを樂しむことが出來るのです、唯それだけの樂しみの場所なのですが、反對に失はれるものは非常に多いのです、人々は惰弱に流れ易くなり浮華文弱と共に思想穩固は如何にも危ぶまれて更に家庭の不和を醸し、やゝもすれば風紀紊亂、社會風敎上の害毒となるのであります。

◆…たまたま國家多端の秋に當つて、自力更生の聲は國民の覺醒を促し、協力一致が力強く叫ばれつゝある時、かゝる機關の發展跋扈は實に嘆かはしい現象である……との意見が、終に東京市會においてこれ等歡樂場に歡興稅を課稅すべく提案される原因となつたのであります、目下內地の各婦人團體は廓淸運動の盛んな今日、この課稅は妥當であると大いに力を入れて應援してゐます。

晩秋を探る　金州にて

オーバー　今年のモード

健やかな肩と力強い胸と男性に望ましい腰線美を充分發揮　明治初年のモボ出現か

夜寒の街頭に滿洲風景の栗賣の呼聲も慕はしくいよいよ冬に入らうとしてゐます、殿方になくてはならないオーバーの今年の流行を一覽いたしませう

【先】づスタイルから見て、何よりもまづ今冬のモードは胴のしまつたことです。胴をしめたといふより絞ろくつたといひたいほどきゆつとしてゐます、反對に肩巾は充分ゆつたりと、胸はふくらみを見せて張出すやうに……近代女性の憧れの的である健かな肩と力強い胸と、そして男性にも亦望ましい腰線美（?）を充分發揮しやうといふのです、裾丈が短くなつた結果胸の空きも少くなつてゐますがこれは背を高く見せる上に効果的でせう、袖は袖口に近づくに從つて細く、丈は膝下二三寸が標準で全體として非常にすつきりしたおとなしい感じです。土地柄ダブルが斷然優勢で、餘程背の高い方でもない限り前釦二段、袖四つが無難です、バンドが殆ど姿を消したことも好もしい流行です。

【し】かし全體を眺めて見ますと今年のスタイルは昨年より一層復古的で、襟巾の廣い點を除けば十九世紀中葉あたりの英國のスタイルに酷似してゐるのも面白いのです、この分で行つたら來年あたり、明治初年頃のモダンボーイが[illegible]を着て歩いたオト[illegible]昭和八年のシークボーイが大連の放射道路をこれ見よがしに着て歩き廻るやうな面白い風景を或は見られないものでもありません。

【色】合は黑に近い濃鼠が中心で、最近擡頭したのが濃からず淡からずといつた程度の茶色その他松綾模樣の出てゐるラクダ地など流行の最もシークなものでせう地質は高級品としてはラクダとパイルでメルトンがこれに次ぎます國產品も近年ぼつぼつ出てゐますが、質に於て未だ未だ舶來品と比肩するまでに至らず、無稅港である關係上大連では矢張り舶來品に壓されてゐます、値段はオーバーでラクダ地、パイル地は八十圓から百三十圓、メルトンは五十圓から八十圓、國產メルトンで三十圓から五十圓前後です。（勝又洋服店調べ）

大事な花卉盆栽　早く霜害や寒害を防げ

▼…朝毎に霜の白さが目立つて來ます大事な花卉盆栽を未だ屋外に出しつぱなしにてゐる方は早く適當な鉢に植換へて屋內にとり入れ霜害や寒害を防いでやらればなりません既に鉢に植はつてゐるものもなるべくなら家の中へ入れる時に他の鉢に植え替へてやつたがよいのです、冬は大ていの植物にとつて休眠の時季ですからあまり肥料を多く使はないで砂又は土に適宜堆肥か極少量の油粕を混ぜた用土に植込みます、あまり強い肥料を多く使ひすぎますと醱酵して草木をいためます

▼…植替の際には萬年青や蘭など除く外はなるだけ根の周圍の土を落さぬやうにして他の鉢にうつし充分灌水してやります、植かへて一週間位は根が安定しませんから日光の直射を避けてその後日當りに出して時々土の乾き具合を見て灌水します、蘭や萬年青は必ず春秋二回植替へねばなりませんが砂に植えてありますからよく砂を叩き落し腐つた根を切去つてよい根だけ殘して清水ですつかり綺麗に洗ひます

▼…別に川砂（石河邊のが良い）を用意しこれもよく洗つて鉢の隅三ケ所か四ケ所に腐熟した油粕を丸めたものを埋めて植え込みます、上から如露で充分水氣を與へこれも十日間位日陰に置いた後窓際へ出し毎日一回か二回灌水してやります（滿洲農事協會益尾氏談）

滿洲婦人歌壇

戰地見學　森箏野

美しき布貼られたる壁の面に逃げし學良の額書きてあり

○

庭園の廻りに張れる鐵條網陽にかがやきて新らしく見ゆ

○

老松の木蔭つめたく學良のほらせけむ濠も乾きて久し

○

逃げながらうたれて死にけむ支那兵の血潮のこみは塀に殘れり

○

殿に燒けし兵營のあさごころ大木片こげて黑く光れり

家庭顧問

五ケ月經つた嬰兒の頭に骨が出て來ました

【問】生後五ケ月の男兒ですが生れた當時頭の右上部に雞卵大のぶくぶくがありました。產婆の話では二ケ月も經てば治るだらうといふことでしたので放つて置きましたところ、一向なほらないばかりか今日では固くなつて骨が出て來たやうです、外科的手術か何かでとつて頂いて頭に障るやうなことはないでせうか（心配女）

產瘤でせう、時日が經れば徐々に吸收される　唐澤準吉

【答】御文面によつて見ますと產瘤（骨膜下溢血）ではないかと思ひます、それなれば一旦出た血液が凝固するために硬いかたまりになるのです。しかしこれは時日の經過と共に徐々に吸收されますから心配要りません。もう大抵吸收される時期だと思ひますが念のため一應專門醫に診てお貰ひになつたがよいでせう

お野菜の少い　冬の食物

寒い風が遠慮なく訪れて來れば私どもの世界から青いものは自然に姿を消して行きます、殊に滿洲の冬は青いお野菜が不足し勝です、お野菜類が高くなれば自然肉類よりもお野菜の方が高くなります、それに子供は菜食より肉食を好むところから冬期は肉食過剩となり、そのためにヴイタミンや鹽分の缺乏となります、冬分かうして片寄つた食事をとり、春になつて急に元の身體に取り戾そうとする時に身體に無理をしそのために故障を起す人が可成り多いのです。

◇

野菜に不足する冬も努めて野菜類をとることに努力する事は必要ですが、次のやうなものはお野菜の乏しい冬の食物としては好適でせう

◇

蛋白質と脂肪それにヴイタミンを含有し滋養多い大豆から拵へたお豆腐は冬の食品として最もよいのです、次にゴジルといつて大豆を一晩水に浸して翌朝擂鉢で擂り、そのまゝ味噌汁に用ゐます、これに揚豆腐を使用したらお豆腐よりもつと滋養價高いものとなります、モヤシも同種で冬の食物としてすゝめたいのです、熱の放散が大きい冬は自然カロリーを拵へなければならないので油物がよく、その意味で油揚などはよいのです、勿論お野菜は高くなつても人參、馬鈴薯、葱、白菜といつたものは市場から姿を消すことはありませんから出來るだけこのやうなお野菜をとられることをおすゝめします。

キヨシ画　(28)

新刊紹介

富士（十一月號）「曉を呼ぶ旗」「文七元結」「妖艶飛鳥劍」「熱帶巨獸地獄」「秘書官大學生」「三平君の結婚」「興安嶺下の女頭目」など面白い、連載物では「薔薇色の道」「死の誓約」「地に爪跡を殘すもの」「東京哀歌」「伊達事變」何れも超特作

現代（十一月號）滿洲國承認記念特輯號として本庄前關東軍司令官に滿洲を訊くの一章、並に滿洲國創建の先覺者川島浪速氏苦闘の跡、及び「滿洲建國」の戲曲一篇がある、又「日本に新領土を與へよ」「本當の景氣が來るか」「地震が來るか?」「最近私が取扱つた事件」といふ實話集で筆者は辯護士、警視廳等の連中だ、

雄辯（十一月號）の特輯「世界展望大講演會」「軍縮に惱む佛蘭西」「ナチスの勢力と今後の獨逸」「ソヴエート露國の現狀」「ムツソリーニは何故政黨政治を排したか」「支那全土に張る共產軍の勢力」「米國はどう動く」「平沼騏一郎傳」「卓上演說模範例」

婦人俱樂部（十一月號）◇二冊の雜誌附錄の中の一つ「和服洋服編物手藝十供もの一切の作り方」四六判二百餘頁の、これだけでも雜誌一冊分でその內容は赤ちやんもの一切の仕立方作り方に廿一種、子供もの和服一切が六種、子供もの下着類一切が六種、流行型子供服が十二種、エプロン帽子その他一切が七種がある◇今一冊は「髮から化粧着附まで新美容法大集」讀物では「衞生特輯」で、婦人衞生に就て專門八醫博が答へてゐる◇「青年ばかりの座談會」「四博士から胸の病を持つ人へ」――◇「お安い材料で出來る鍋もの汁もの二十五種」「誰にも美味しく出來る和洋揚げ物のあげ方」――◇「新流行のジヤージー子供婦人服」それに流行毛皮ショール五百本贈呈といふ大懸賞がある

婦人公論（十一月號）卷頭を飾る「三土鐵相にわれらの生活不安を陳情する會」歌人伯爵吉井勇氏の「妻に與ふる書」「父は何故自殺したか?」の本居長世氏の文「親友伊達君との戀愛關係」「天刑病者の妻の手記」駐滿全權武藤大將の令孃まさ子さんの「結婚中止と父の愛」を語る」實用記事としては「家庭ですぐ出來るトンカツ料理の秘法」「七十圓までの家計公開」

少女俱樂部（十一月號）「僞れる未亡人」の續篇、その他當選小說の「彼方への道」がある新鮮な讀物實益豐かな實用記事がその他澤山ある（中央公論社發行、定價五十錢）

少年俱樂部（十一月號）特別附錄の「壁掛け」馬上のジヤンダルク、グラフの明治神宮畫報、少女舞踊、面白グラフ天々好い出來だ、オリンピツク少女選手の座談會、「絕たづれて」「ほめられ太一」「譽れの少年騎手」「牧場の歌」「賢い機關」「引込の釘」「愛のライオン」など新掲載物が多い

「帝國陸軍號」と銘打ち特別附錄に「飛行機がある」「我が陸軍の大威力」「兵營訪問記」「戰場物語」「萬年二等兵」「日本軍の尊いわけ」「大東鐵人」「エミリアンの旅」「わんぱく時代」「吼える密林」「萬歲栗毛」「地底の都」其他連載物が面白い

新型機富士號全自動完全無煙燃燒機に就て

今回都市煤煙防止令の發布と同時に工業獎勵館に開かれた燃燒機の中で完全無煙と經濟的方面より無二の折紙を斯界の權威より認められるや大方の眷顧を蒙り事業の擴大を迫られ東京福岡に營業所を增設すると共に當營業所も大阪の機械街立賣堀ビルヂングに移轉し國際的飛躍の前提として日本機作所と改稱し新型機富士號を世に贈る事を得ました

該機は所長遠藤市太郎氏在滿十年研究の結晶に成り撫順粉粉炭の無煙完全燃燒機として近くは陸軍各工場滿鐵撫順炭礦、元奉天兵工廠室蘭製鋼所より多大の聲援賞辭と御納入の榮譽を受け日尚は淺くして大阪諸會社よりも御愛用を受けるに至りました

幣機は無煙燃燒機の革命兒として生れ小は家庭用煖房ペチカ專用型から大は病院、學校、旅館、ビルヂング暖房、工場、工業用爐等あらゆるものに適用され空前の成績を得てゐます

近く十月中旬遠藤所主は滿洲國方面に要務を帶びて渡滿の豫定です

我軍の討伐奏効し 匪賊續々歸順

東邊道掃匪も一段落 遼西の大頭目三勝も歸順

【奉天】日滿兩軍の守備討伐軍により東邊道一帶の掃匪は大體において一段落を告げ、續々歸順を申出て來るが、誠意をもつて滿洲國に降服するものはそれ〴〵餞銭を與へて歸農せしめつゝあり、商工會の保證あるものはいづれも成績良好であるから軍としては地方有力團體の保證を條件として地方の平定に匪賊の歸順を認めてゐる、滿洲軍を越す桓仁、新濱、通化に部隊を集結し皇軍との連絡を保ち山中に逃げた掃匪の降伏を勸告し冬季を越年する覺悟である

【鞍山】鞍山西方劉二堡、騰鰲堡、唐馬寨等遼西一帶に亘り蟠居して居た匪賊の大頭目三勝事吳寶豐は謹て歸順運動中であつたが二十六日午前十一時奉天省より要人數名來鞍し農商聯合會の自動車にて劉二堡に於て三勝と會見し再び農商聯合會の自動車にて三勝と共に來鞍し休憩の後奉天に向つたが數日間奉天に滯在の上劉二堡に歸り正式に歸順式を擧げる豫定であると

【撫順】元撫順縣下東社臨時公安隊より匪賊に豹變し同地方に蟠居してゐた頭目王沼山以下百九名の歸順式は二十五日午前九時から塔連公安分局に於て川上撫順守備隊長、小川憲兵隊長以下佟縣警務局長其他臨席の下に嚴肅に執行された、歸順部隊が整列すると閱兵が行はれ劉塔連商務分會長の謝辭に次いで王頭目が誓約と宣誓をなし川上、小川兩隊長の諭告及訓示ありかくて日滿兩國並に撫順縣の萬歲を三唱閉式したが憲兵隊では即日公安隊にこの歸順隊を加へて午後四時瀋海線撫順驛發列車で上下營黨哈達附近に蟠居せる匪首趙樂洲の討伐に向つた

莊河縣下の 歸順匪賊の狀況

既に三千餘る上る

【大石橋】莊河縣某方面よりの確報に依れば左記匪首は何れも歸順方申出でたるものなりと謂ふ

邱良忱以下四百名
同縣第三區を根據とし救國軍と稱し元第一旅補充營に改編されたるものなるが再び匪賊化し拳銃二〇長銃三〇〇馬匹三〇頭を有したるもの

鄧鐵梅以下六百名
鳳城縣西部を根據とし東北自衞軍と稱し大孤山東北に出沒したるものにして拳銃一〇〇長銃六〇〇機關銃三迫擊砲二馬匹四〇〇頭を有するもの

護國以下一千名
護國軍と稱し岫巖及び蓋平縣境に出沒したるものにして拳銃二〇長銃九〇〇馬匹五〇頭を有するもの

劉震清以下千四百名
第四、五區を根據とし本年四月頃歸順し李時山軍に依り第一旅補充營に改編せられ目下第四、五區に駐屯したるも部隊の統制を缺き不良分子多きものにして武器其他不明
典長江第三區を根據とし本年四月歸順し自衞團を組織したるもの不良分子多く武器不明

老北風を警戒

【鞍山】匪賊頭目老北風は數日前部下と共に遼中縣より東方に移動し目下遼河西方に滯在中であるが歸順運動中の匪首三勝及海寬等が合議の上老北風を討伐すると決議した事を耳にした老北風は憤慨し反對に三勝海寬を討滅すべく種々畫策して居ると言ふので海寬は彼れの副頭目となつた匪首綠林好に命じ濫園子西方新臺子方面一帶に嚴重なる警戒網を張つて居ると

通化縣長 就任式

【奉天】匪首の根據地として永らく苦しめられて來た通化では今回の討匪で暗雲一掃され全く平和となり廿五日縣長の就任式を盛大に擧行し廿六日は市民の祝賀大會を開催したと

汽船射擊さる

【安東】二十二日午前六時安東出發、鴨綠江を下航し大孤山に向つた安東怡隆洋行所有汽船は二十四日午後五時大孤山大陽河口を航行中黃土坎附近に於て匪賊の射擊を受け急遽安東に引歸したが、今や同方面一帶は匪賊の世界と化し船舶の航行は危險且つ困難となつた

新移殖民に 滿蒙風土研究所

稻葉醫大總長は語る

【奉天】滿洲への新移殖民の爲めに今度奉天に滿蒙風土研究所開設の議が起つてゐるが右につき稻葉醫大總長は右の如く語つた

そんな話も出てゐるがまだ具體的に進んでゐる譯けではない、重要なことは金の問題だが今のところさつぱり見當がつかないしかし滿洲もかやうに狀勢がすつかり變つて今後日本內地からもどし〴〵移植民がやつて來ることゝ思ふが、こうした人達の爲めに是非風土研究の機關は必要だと思ふ、內地と滿洲では氣候に風俗に非常に異つたところが多いから、克くこちらの狀態を調査して、移植民に最も合理的な生活方法を考究することは植民政策からいつても大功なことだ、內地からの移民が現在兎角失敗に終るのは一つはこの風土の變つたところへポカリとやつて來て在來の內地の生活をその儘踏襲してゐるからだ、だからどうしたら此方で最も經濟的にまた苦痛なしに安易に生活出來るかといふことについて衣食住の全般に涉つて研究することは大いに必要だと思ふ

輸出入申告書 輸入三、輸出四枚

【安東】安東海關への輸出入の申告書は從來輸入二枚、輸出三枚を提出して貨物通關に備へてゐたが關東廳では過般安東海關宛これが一部の送付方を要求し來つた爲め海關當局では貨物代辨係へ右の旨通牒し實施方を求めるところあり代辨としても右要求を容れるべく目下考慮中であるが結局一枚宛增加して輸入三枚、輸出四枚の申告書提出になる模樣である

鞍山防火宣傳

【鞍山】鞍山警察署並消防隊では二十六日午前八時警鐘亂打を相圖に檢閱並に一大防火宣傳を開始した、定刻泉警視は上田大隊長の臨場を乞ひ消防隊の人員並に服裝の點檢を實施し桑原副監督の案內にて機械器具の點檢、蒸式ポンプの操法及び小隊教練の查閱を行ひ上田大隊長の祝辭あり新調の自動車に上田大隊長、泉警視、小野寺所長、林議長、加藤協會長等と消防隊員全部が分乘して防火宣傳の要項を大書した幟や火の用心の長旗を林の如く押し立て賑やかに北二條から南部、臺町、北三條、柳町鐵西等市內一圓を遊行し午前十一時歸隊豚汁にて參會者の慰勞宴を催した

日滿婦人交驩會 奉天で開く

二十五日盛大に擧行

【奉天】去る廿四、五の兩日大阪で日滿婦人聯合大會が盛大に開催されたがその大會を最も意義あらしめるため當日を期して奉天でも日滿婦人提携協和の交驩會を奉天聯合婦人會主催の下に開催し滿洲國側婦人を招待し廿五日午後二時から商埠地協和會中央事務局に於て盛大に開催されたが、日滿婦人百餘名出席し協和會中央事務局の會議室には立錐の餘地もない盛況を呈し定刻三谷婦人の開會の辭あり鮑督察長夫人謝辭を述べ終つて協和會中央事務局小澤氏の協和會の使命についての講演あり日滿各少女の餘興が行はれ續いて內地風景漫畫世界の風俗その他の映畫に十二分の歡を盡し大いに日滿婦人提攜の實を擧げ午後三時半散會した

奉天驛員が進んで 日滿融和の企だて

滿洲の習慣言葉研究

【奉天】滿洲及び滿洲人の風俗習慣を研究し滿洲語の習熟に努力し進んで日滿融和を圖り一方旅客待遇の向上に資する目的で今回滿洲風習研究會が奉天驛員により組織された、これは日常多くの滿洲人に接し旅客取扱ひの第一線に立つてゐる驛員が進んで滿洲人の風俗、習慣を研究し所謂生きた滿洲語の習得によつて眞に滿洲人を理解し以て旅客サービスの向上に心掛けやうと云ふのである、右會の事業としては研究事項を各自々由に選擇し研究の成果又は家庭につき座談會又は會誌に發表し相互の研究資料とし又滿洲語習得については會員相互に協力し先學者は後進者を指導し滿洲風俗習慣その他滿洲語修得上の參考講演會などを催すと

碓井氏全快

【鞍山】過般鞍山西方劉二堡附近黃家屯の戰鬪に於て鞍山守備隊の裝甲自動車運轉手として出征し苦戰中にあつて良く其任を完ふし勇敢に軍隊の行動を援助した、鞍山製鐵所運轉手碓井政光氏は鞍山滿鐵醫院から遼陽衞戍病院に送られ後湯崗子溫泉陸軍療養所に於て加療再び遼陽衞戍病院に歸り療養中であつたが愈々全快したので二十六日退院し午前九時廿二分着列車にて歸鞍した、上田大隊長もまた其全快を衷心より喜び改めて其功を表彰したが數日間靜養の上再び製鐵所勤務に就くと

金州の部落民が 擧て警備費獻金

貴重にして麗しい行爲

【金州】滿洲には暴惡なる匪賊の出沒頻々たり州內には拳銃強盜、暴虐なるギャング團の橫行甚だしくして世相愈々安靜を許さず今や警備力の充實を圖るの聲は隨所に叫ばるゝに至つた、我が金州にもこれを痛感するの餘り獻金を申し出づるもの續出し中にも平素我が警察官の恩惠を心から感謝してゐる部落在住の滿洲人は擧つて我先にと獻金を申し出て、數日ならずして一萬圓の巨額に達する獻金を見た、曩に渤海に面する西海岸一帶の警備に備へる爲め快速巡邏ボートと二階建派出所の寄附方申し出あり今また麗しい警察機の獻金續出は共に貴重なる在住者の美擧として絕大の讚辭を呈するものである

懸賞チヌ釣り 旅順の催し

【旅順】名物「チヌ」釣りも本秋は相當收穫が多いことゝ豫想されてゐたが氣候の關係上大分遲れ昨今漸く遊群の徵が現はれたので八島町井上商店では恒例に依り左の規定に依り懸賞チヌ釣會を開催することゝなつた

▲船一隻で(船頭を合せて三人迄)五十匹以上は船賃免除の事
▲百匹以上の際は船賃、船頭賃免除
▲二百匹以上の場合は船賃、船頭賃、エサ代免除

右は二十五日より十一月五日迄の內で三百枚以上は右の外に特に表彰する筈であると

傳染病の豫防に 安東必死の對策

取敢へず豫防注射

【安東】氣候の變化と共に又復傳染病が流行し出した爲め安東署では二十四日から滿鐵と協力腸チブス、猩紅熱防止の爲め豫防注射を施行中であるが、殊に猩紅熱の如き十月に入つて既に十名の患者を出し本年頭初からの累計百三十二名の多數に上り安東始まつて以來のレコードを作り、尚今後も相當發生するものと見られてゐる、本病患者は昭和五年に百二十八名を出して市民に脅威を與へたのに鑑み當局の措置と市民の自衞に依り翌昭和六年には僅か十六名の患者を出したに過ぎず稍愁眉を開いたものであるが、今年に入り斯くの如き增加を示したことは市民の油斷から生じた衞生思想の不徹底であつたため防疫に努めてゐた當局の失望もさることながら市民衞生思想の低下を物語るバロメーターであるとして豫防注射接受[illegible]今や聲を大にして叫ばれてゐる有樣である

圖書館週間 撫順の催し

【撫順】全國の圖書館は日本圖書館協會及び文部省後援の下に毎年秋の讀書シーズンを期して十一月一日より七日間を圖書館週間と定め、種々公開の催しをなし市民と圖書館との接觸を計り一般の讀書獎勵をするが、撫順圖書館では左の通り同週間登館者には記念栞を進呈したり書庫を公開したりする外三十日午後一時より公會堂に於て童話、音樂と映畫の會を催すと

一、十一月一日より五日迄(但し三日の祭日を除く)期間內午前九時より午後四時迄の登館者には記念栞を進呈し、書庫を公開するとともに讀者會員には三冊迄の一時館外帶出をなし帶出期間も二週間に延期す

二、童話、音樂、映畫會(入場無料)
十月三十日午後一時より新公會堂に於て

プログラム
△開會の辭司會者△童話龜川先生△ハーモニカ二重奏雲雀田靜枝、竹田眞妙子△舞踊成澤久枝△童話西出先生△舞踊加賀谷君子△ハーモニカ五重奏撫順ハーモニカ、クワルテット△童話吉野正(休憩)獨唱成澤久枝△童話沼田先生△舞踊佐野榮△映畫ザンバ其他

各地片々

◇遼陽 遼陽輸入組合加盟店有志は廿五、廿六の兩日公會堂に於て廉賣市を開催したが十錢、十五錢均一品で顧客を呼び季節物も相當の賣揚げあつたと

◇撫順 撫順署では二十六日自動車運轉手試驗を行つたが受驗者十名にて午前中學科、午後實地技術試驗を施行した

◇金州 憂慮されたコレラの終熄を告げた此の頃邦人にヂフテリヤ二名、猩紅熱一名、腦チフス二名の傳染病患者が出たので金州署では目下これが豫防に努めてゐる

◇金州 金州局では城內大德豐前の郵便函を南街滿洲銀行支店向側の道側に移轉した尚將來は城內北街と新市街滿電バス待合所前にも增設する豫定であると

◇金州 關東廳金州苗圃では二十四日より三週間の豫定を以て金州城北方の平山に滿洲黑松赤松アカシヤ等二十二萬本の造林を開始した

高等法院便り

【旅順】旅順高等法院上告部では二十六日強盜深川乘利事深川金利(前判決懲役二年)無線電信法違犯大原豐保同伊藤斐雄(前者は懲役七月、後者は懲役六月共に執行猶豫三年間)強盜殺人宋德魁、劉金三(兩名共死刑)強盜王延令(懲役八年)はいづれも上告棄却となり同覆審部では窃盜村松武寬、窃盜張文德事劉寅令(懲七)外三名に對しては結審言渡しは十一月二日

梅本氏夫人

【撫順】撫順炭礦勞務係主任梅本正倫氏令閨シズ子夫人は豫て病臥自宅療養中の處藥石甲斐なく遂に二十六日午前四時三十分永眠した、葬儀は二十八日午後四時より西本願寺に於て執行の筈

警察機獻納

【金州】金州に於ける二十六日迄の警察機獻金者は左の通りである
△六〇〇圓黃坦子廟會姚商會外七八五名△六五〇圓大魏家屯會王錫五外二三〇名△八六六圓馬家屯會楊有雲、外六一五名△七一五圓大孤山官鎭文財外六〇〇名△一、二〇〇圓董家溝會劉瑚外一四六名△本日迄の合計金九千八百五十五圓

慰問袋發送

【金州】曩に金州市民會が募集中であつた在滿將士並に警察官に贈るべき慰問袋は其の數五百七十個に上つたので此の程發送した

旅順放送

▲來る十一月三日午前十一時三十分昭和園に於て擧行される明治節祝賀式當日の式次は着席、開會の辭、君ケ代、祝辭、萬歲、閉宴
▲旅順初等教育會では來る十一月六日午前中は兒童の爲め午後は一般父兄の爲め舞踊劇合唱會を開催する由
▲工事中なる旅順警察派出所は此程美事竣工したので來る十一月二、三日頃開所式を擧行する豫定
▲乃木町旅順衞戍病院上等看護兵栗田新一(二三)は二十五日死亡
▲旅順第二小學校では來る二十九日(土曜)午後一時から教育デー記念學藝會を開催する

會と催し

●瓦房店署長の慰勞宴【瓦房店】大內警察署長は着任當時恰も高粱繁茂期で匪賊の跳梁と惡疫流行の折柄全署員を擧げて必死の警戒防疫に寢食を忘れ披露の機會を失うたが匪賊の巢たる高粱刈り取り後管內平穩になつたので十月廿五日午後七時より官民有志三十五名を筑紫館に招待披露の宴を張つたレザートコウスにいろや大內署長挨拶を述べ筑紫館の美妓酒間を斡旋し一人一藝堂々廻りの隱し藝で盛會裡に午後十時退散した

●遼陽金組役員會【遼陽】遼陽金融組合では二十六日午後三時から事務所で役員會開催した

●安東關稅研究委員會【安東】安東商議內に組織せられてゐる關稅問題研究委員會では二十六日午後二時より安東商議に於て委員會を開催、各種關稅につき各自意見を開陳し鋭意研究した

沿線往來

▲田中關東廳農林課長 產業視察の爲岩間關東廳畜產技師と共に廿五日來金、大和田民政署長等と相携へて種馬所、農事試驗場苗圃及種馬所放牧場を視察即日歸金

新美容法虎の卷

●婦人倶樂部十一月號別冊大附錄『新美容法大集』は、新時代の化粧着附、結髮等一切の祕訣を公開した美容虎の卷、これ一冊あれば誰でも美人になれるので大評判!

この苦心、この美擧

馬占山討伐隊員手記(十一)

本稿は北滿の曠野で降雨と洪水と泥濘と敵軍と戰ひながら文字通り惡戰苦鬪、馬占山討伐に當つた部隊將兵たちの手記である

愛馬の嘶き

時は昭和七年七月二十七日、我田中大隊が劉家店附近に於て馬占山軍の主力部隊を我が陣地內に誘ひ込んで之に猛射を加へ尚之を包圍攻擊し續いて猛烈なる追擊を敢行した時の事であつた

大隊が安古鎭附近の大森林の山地帶を敵に近く追擊前進中、尖兵中隊(第六中隊)の方向に方つて猛烈なる小銃、輕機關銃の音が起つた、其距離は約二、三百米、機關銃中隊(一小隊缺)は「スワ」とばかりに急進する、中隊長は小隊長を從へて陣地偵察の爲め先行した、敵は山間の大濕地內に撥り込んだので之が掩護の爲め後衞部隊が陵線を占領して頑强に抵抗して居る、尖兵中隊は陵線の敵を攻擊して居るが敵は密林內に遮蔽して頑張つて居る、彼我の銃彈はビユン〳〵と交錯して飛んで居る、大濕地に撥り込んだ敵の大縱隊は大損狽して居る

中隊長が下馬せんとしたその刹那、愛馬栃倉が少し狂奔するので中隊長は出征以來幾度となく戰陣を往來して實彈の洗禮を受けたが今迄にこの樣な狂奔した事が無かつたので不思議と思ひ乍ら馬取扱兵田村に渡し愛撫を加へその低い林の中に馬を入れて置けと言ひ放ちつゝ火線に出て行つた、やがて機關銃の猛烈な火蓋が切られ山は唸りを生じ實に物凄い

田村一等兵は馬を牽かんとした時、中々進まない、平常と調子が違つて居る、よく見ると之ればしたり右腰部に盲貫銃創を受けて居るではないか、一等兵は氣も狂つたかの樣に溜息をし乍ら大擊に銃隊長殿、栃倉がやられましたと叫びつゝ布片を以てしたゝる血潮を拭き取つてやる、彼の目には涙がうるんで居た

栃倉は耳を引立て、嘶き乍ら中隊長の行方を見守つて居て動かうともしない、前方には我軍の突喊の聲が聞え敵の輕機の音も少くなる、機關銃も前進する駄馬前進の命令も來た、田村一等兵は馬を進め樣とするが動かない、傷口は次第々々に腫れて來る、附近には誰一人居なくなる、田村一等兵は泣き出さんばかりである

そこへ竹中一等兵が驅つけて來た、協力して馬を脅し或はすかして前進したが遂に濕地の中に倒れて仕舞つた、健康馬でさへ困難な濕地であるから堪らう筈がない、漸くにして丘に引上げたが傷と疲勞の爲め遂に死にさうになつて仕舞つた、呼吸は切迫して來る、起き上らうとする藻掻くけれ共立てず遂には足を伸ばして仕舞ふ、遙かに距てゝ銃聲は聞えて來る

田村一等兵は水筒を栃倉の口に當てゝ水を與へる、そして人に物云ふ樣に言つた「お前も出征以來克く働いて呉れたなー、俺もお前の爲めに一生懸命飼付手入をしてやつたが今日お前に戰死されては戰友を失つた樣だ、中隊長も之を聞かれたら定めし落膽されるだらうなー、栃倉殘念だな……」と言ひ乍ら馬の頸にすがり付き頰ずりし乍ら泣いてゐる、栃倉は涙にうるむ目をパチクリ〳〵しつゝ鼻音をフン〳〵とさせて居る、傍に居つた竹中一等兵も共に泣かずには居られなかつた、栃倉は何を云つて居たらうか……

馬は遂に目を閉して仕舞つた、斯くする中に傳令が來て栃倉が戰死したつて仕方がないから急進せよとの命令だ、そこで止むなく中隊に追及することに意を決し馬體に禮拜して頸に木の枝を掛け別れて惜みつゝ出發した、約二十米ばかり行きて後を振り返ると馬はパチクリ目を開き少し頸をもたげて微な泣き聲でヒ、ーンと嘶く、一等兵は後髮引かれる思ひして五十米行きては後を振り返り百米行きては後を振り返りつゝ別れ難きの山路を足跡を辿りつゝ本隊へ追及した(この項つゞく)

滿洲國日本人官吏が自發的に減俸申出

國家非常時の匡救に努力の意向　關東軍少壯將校も聲援

【新京】門戶開放機會均等を目標に世界の平和郷を目差して一意邁進、三千萬民衆の待望を擔つて東洋の一角に新獨立國家滿洲國が成立するや、世界各國の目は一齊に新國家滿洲の上にそゝがれ、是々非々輿論は囂々囂々として喧しく評壇子は競つて滿洲問題を提げ、眠りかけんとした世界に一大センセイションをまき起すに至つた、爾來二百三十有餘日、滿洲國に於ては執政溥儀氏を始め鄭國務總理駒井總務長官其の他官民等の必死的、献身的努力に依り歩一歩其の基礎を確立し、東北三千萬民衆の後援の下に郵政及關税の接收、航空路の開設と其の業績見るべきもののあり、警隣日本の

獨立承認 を得て、今や滿洲國は世界各國に堂々と肩を伍して步を共にし、人類平和の爲に一意樂土郷の建設にいそしむに至つた、昨秋九月十八日奉天柳條溝の鐵道爆破に端を發し、急遽自衞權の發動となり、暴逆舊軍閥を滿蒙の天地より驅逐し、東北行政委員會を經て、遂に新國家成立に至るまで友邦として多大の援助をなしまなかつた我日本は、新國家獨立後も門戶開放機會均等の見地より生ぶ聲をあげた新興國に幾多の優良官吏を送り、又財政的に莫大なる援助をなし善隣としての美を發揮する所あり、世界各國の囂々たる非難と又一方實業の中に日滿官民の完全なる提携の下に滿洲國は遂に今日の隆盛を見るに至つたのである現在日本人にして滿洲國官吏となつてゐるものは中央地方を合して相當の數に上り、その明確なる數字を期し得ないが

日本人官吏 の大部分は建國當初より滿洲國の爲に献身的奉仕的努力に依り、その大多數は高額なる俸給を支給され、加ふるに最近の銀高の影響を受けて喜々として其の業にいそしむを得る狀態になつてをり、民衆の生活は舊政權時代とは比較にならぬ程の裕福さを示してゐるが、一歩目を國外に轉ずれば十二月十四日ジュネーヴに於て決議され、リットン卿を始め五ケ國代表に依つて組織された聯盟調査委員の最終報告は遂に十月早々世界の檜舞臺に發表され、其の認識不足を遺憾なく暴露したとは云へ、中華民國を始めとして誤れる同情をよせた小國側の策動は樂觀すべからざる狀態を示し、世界各國は再び日滿兩國の行動を極度に制限し、今回の聯盟會議の決議の如何に依つては日滿兩國の前途に

幾多の艱難 なきを想像さるゝに難くない形勢にあり、擧國一致この國難に當らざるべからざる時期に到達するに至つた、我が日本に於ては擧國一致齋藤內閣に對する國民の支援はその當初に於ては極度に達し全國民を揚げてこの難局に當らんとした意氣も、長日月の間にはやゝともすれば龍頭蛇尾に終らんとする氣配が見えるに至つた爲め、關東軍將校有志の中には率先して支給さるゝ俸給の一部を割いて國庫收入の一部ともなし、國防費として献金せんとする議も起きて居るが、滿洲國日本人官吏として第一線に立つて健鬪しつゝある愛國少壯官吏の中にも之と同樣なる叫びが持上るに至つた、卽ち「現在では徒らに高額なる俸給を支給されて安閑としてゐる季節にあらず、よろしく內地に於ける官吏同樣額まで俸給の切り下げを敢行し、國家の

負擔を輕減 し以て難局にあたるべきである、殊に滿洲國家が行政的財政的に共にその基礎を確立しつゝあるとは云へ地方には未だ匪賊橫行し良民を殺害する等の野蠻なる行爲を敢てなしたるので、之が徹底的討伐にも又滿洲國諸施設にも莫大なる資金を必要としてゐる事は勿論である、然るに我々の俸給制定當時金銀の相場を七十圓臺見當とし俸給額を決定されたもので其の後日本の金輸出再禁止等の材料に依り金は下落につぐ下落を以てし、最近は九十五圓臺を上下するに至つたのであるが、反對に銀を以て俸給を支給せられてゐる者は一躍百圓につき二十餘圓の昇給をなしたも同然である、然るに世界的にまで擴大された不景氣は所きらはずその勢ひをのばし來り內地に於ても

中小資本家 は完全に之が波紋の中にまきこまれ悲鳴を揚げるに至つたが、彼等以上にドン底にまでもおしやられ生活苦に喘いでゐる勤勞階級の數は物凄い數に上り、內閣に於ては打開策としてあらゆる方法を講じてゐるが何等その曙光を見るに至らず、頑强なる不景氣の嵐は何時消ゆるべくも計り知れず日本は經濟的に破綻するに非ずやとの危惧の念を抱かしむるに至つた、又一方滿洲國政府日本人官吏の俸給高額なる爲め一般民の中には羨望の餘り政府當局者の人事行政に非難をあびせかけ、或は官吏無能の叫びをあげる等之等は單に減俸實施によつて幾分かんわされるわけで、我等は到底現狀にあまんじて便々としてゐるにしのびず、俸給制定當時の換算金額を支給すれば現在の如き多數官吏からの

減俸に依て 得られる餘財だけでも相當の額に上り、幾分なりとも財政的に餘裕を生じ諸事業經費の一部ともなり得べく小の虫を殺して大の虫を生かすの擧に出でざるべからず、と唱へるものが生ずるに至り、相當の反響を捲き起し漸次一般日本人官吏にも波及せんとする形勢を示して居り、一般からは好感をもたれてゐるが、はたして政府當局が如何なる處置に出るかゞ非常に注目されるに至つた

遼陽競馬　廿八日から

【遼陽】遼陽競馬大會は天候に災されて開催日を延期して居たが愈々秋晴れの好天氣となり準備も進んだので二十八日から向ふ六日間忠魂碑南飛行場東側に於て每日午前十時から開催のことに決定し馬四十頭も鞍山奉天市中からと出場決定せる爲めファンは本年掉尾の競馬會と云ふ事で少からず期待して居ると

金州保險勸誘

【金州】金州郵便局では本月九日より局長以下總動員を以て簡易保險加入の勸誘に大童となつてゐたが其の結果成人百十五件一ケ月保險料八十五圓六十錢保險契約高一萬七千四百八十六圓三十圓小人四十五件一ケ月保險料三十四圓保險契約高七千三十九圓と言ふ素晴らしい好成績を收めた

新京警察署一大改增築　來春解氷期を待つて

【新京】新京警察署では事變前も既に廳舍の狹隘を感じ執務上少からぬ不便を見てゐたが、全權府及軍司令部の新京移駐に伴つて警察も當然擴張の急務に迫られることゝなり、益々警察機能の發揮に支障を生ずるわけだから、來春解氷期を待つて一大改增築を行ふことゝなつた、新廳舍は首都新京にふさはしい堂々たるものを設計される模樣である、尙關東廳新京出張所長日下內務局長も改增築に關する下檢分をなすところがあつた

幽靈郵便物　奉天一日五百餘通

【奉天】奉天郵便局にては八、九月の二ケ月中に取扱つた配達又は送付不能の幽靈郵便が五百三十二通の多數に上りその取扱ひには非常に手古摺らされてゐる、右は何れも差出人の不注意による住所氏名の記載不完全からでこれがため折角差出した郵便物は先方に屆かず送り返さうには返されずこの取扱ひには郵便局でも非常な迷惑を蒙つてゐる、又料金未納の郵便物も一日平均二百六十三通、一ケ月約八千通の多きに達し局側に尠からぬ手數を掛けてゐる、これは重量の超過による不足と關東州外相互間及び滿洲、支那內地宛の書狀四錢に對し普通內地料金の三錢を貼付するからである、又低料郵便物例へば無封書狀及び第四種の如き開封郵便物の通信文を加筆し料金不足となり或は新聞、雜誌等に外の印刷物を合送し料金の超過を受けたり無效切手貼付又は全然切手の貼付のないものもあると

本溪協和會目覺ましい活躍　到る處に宣傳の效果

【本溪湖】常に協和運動のトップに立つて活躍を續けて來た本溪協和會は、今回の東邊道大討伐を機として縣下の工作を行ふべく神、小原、桐田、張、傅の五宣撫員を遠く城廠、寬甸、賽馬集方面の奥地へ特派したが、旬日に亘る難行にもめげず一行は大元氣でこのほど歸溪した

右の宣撫班は終始小島本溪縣參事一行と行を共にして縣政府側と協力し、到る處に宣撫の效果を十分に收めて住民を安堵せしめ、就中草河城、双岑子、賽馬集、城廠の五箇所には分會を設ける等、第一線に立つ平和の使者としての使命を遺憾なく發揮した

一方本溪湖に留まつた野原宣撫員は連日の如く溪城鐵路沿線及び牛心臺炭坑奥地方面へ出張して工作に從事し、守備隊の好意による施療班を組織しては農民の施療に盡し、遂に十月廿五日正午より牛心臺驛頭に於て盛大なる分會發會式を擧げるに至つたが、當日は在溪日滿各方面からの參列者多數で實に有意義な會合であつた

更に廿五日早朝本溪湖を出發して小市方面に進擊せる日滿聯合討匪軍にも從軍して今日まで匪賊の巢窟たりし同方面の工作に從事すべく五名の工作員が勇躍して出發したが、いづれ多大の改穫を得て歸來するものと期待されてゐる

斯くて皇軍の活躍によつて匪賊の影が薄くなるにつれて、協和會の運動も一段と目覺ましくなり、縣下到る處に新國家謳歌の聲の漲る日の來るのも近いことであらう

各皇族よりの御下賜品　將兵一同感激

【吉林】畏れ多くも我が聖上陛下には今回の滿洲事變に對し各方面に亘る有難き御思召より幾度となく御下賜金及び御下賜品を賜り、一般臣民は此の陛下の御仁慈に感泣しつゝ有る事は一般周知の如くであるが今回皇族各殿下には在滿將士の勞苦を御察し遊ばされ關東軍宛御下賜品の御沙汰があり二十四日當地駐在軍及び憲兵隊一同にも各々分配され上下一同齊しく感激してゐる

列車顚覆事件連累者を逮捕　吉林徘徊中の滿洲人三名

【吉林】九月下旬吉長線哈達灣附近に於て列車襲擊顚覆をなせし犯人一味は過日我が吉林憲兵分隊の手に檢擧、取調べも終了し一部記事解禁掲載したが吉林領事館警察署の一署員は最近右犯人の連累者潛伏あるを探知し、去る二十二日午前十時頃吉林棋盤街附近を徘徊中擧動不審の滿洲國人を認め直に誰何本署に連行取調べの結果、右は李世英、滿福、郭鑑臣と名乘る三名にて右事件に關係あるものゝ如く二十四日參考書類と共に身柄は三名共憲兵隊に引渡し目下嚴重取調中である

寒と飢とで田霖一味の窮迫　犬を殺し、小豚を狩る慘狀

【吉林】吉敦沿線に其の暴威を逞しうしつゝある田霖一味の匪賊は過般歸順條件の不服より今だ以前に變らず、過日我が皇軍松平部隊の急激なる討伐を受けて潰滅せるものゝ如くであるが、各所に四散する匪賊の群は追迫る嚴寒と降雪になやまされて食糧の缺乏、武器の不足、衣服の皆無に未だ夏衣服のまゝ降雪の期に入る今日冬服もなく喰ふに食なく寢るに家なく附近の農家を占領して一枚のせんべいぶとんに五、六名づゝ雜魚寢して、犬を殺し豚の肉をあさりて漸く露命をつなぎ、甚だしい時は二尺位の小豚を捕へて餌にするが如き慘憺を示し、さしもの匪賊達も寒と飢とに意氣悄沈し狼狽の模樣であるが、各所に歸順匪賊の續出せる今日彼等も遠からず降伏か潰滅の外ないものと觀られてゐる

四平街に朝强盜　現金を奪つて逃走後一味五名逮捕さる

【四平街】秋寒の朝まだき靜かな帷を破つて强盜騷ぎがあつた――二十五日午前六時三十分頃當地鐵道東東雲街三丁目三番地糧棧並に宿屋營業天興棧事劉品三方に三人連れで滿洲人客を裝ふて入り來り折柄店頭に居合せた店員劉拜東、萬助の兩名が應待すると其の內の一名は矢庭にポケットから小型な拳銃を取り出して兩名の面前に擬し蹲坐臥地を命ずると共に素早く電話線を切斷し他の二名が入口土間に於て外部見張の位置に就くや拳銃所持の怪漢は劉に對し金庫の鍵の提出を求め劉が恐る〳〵机上に之を渡すとせゝら笑つて金庫を開扉し現大洋票二〇〇元、奉天票百圓札百枚、十圓札二百枚、大洋票一圓札六十枚、十錢札百枚合計金五百十圓也を强奪し悠々東雲街より滿鐵街を東方に向け逃走した

屆出に接した警察署では直ちに滿洲國官憲に手配して完全なる非常線を構成し外部への逃走を防ぐと共に吉田司法主任以下六名の刑事團並に共榮大街派出所員が急遽被害場所に出動し犯人の人相等を訊問し逃走せる方向を追跡捜查したが同日午前十時頃南市場附近に五人連れで潛伏してゐるのを發見、格鬪の末一網打盡に逮捕し目下本署に於て取調中であるが

此奴等は山東省廣樂縣杜家疃生れ高見山(三三)河北省武邑縣駱泊店生れ駱海峰(二二)山東省印墨縣本街生れ都從發(二九)河北省靜津縣大寶家生れ袁志三(二七)河北省昌黎縣莊頭生れ劉慶祿(二七)にて高見山が頭目として萬事采配を振り駱海峰、都從發、袁志三の三名が劉慶祿の手引で兇行を演じたものであると

不幸な女の法要を執行

【奉天】國際結婚なるが故の世間の不人情に泣く外人の人妻として當時紙上に報道された市內八幡町五番地ポーランド人ベッケルの妻鈴木愛子は夫君の死後一週間を經ずして夫の後を追ふたが、殘された三歲になるメリーは、ハルビンの某外人の手によつて育てられることになつたところ今回元聖公會長老根岸卯太郎氏はベッケル夫婦及び子供三人の遺骨を奉天鐵西共同墓地に埋葬し記念碑を建立したので來る十一月一日午後三時から法要を營む由

筑前琵琶　潰滅　關東軍參謀　臼田少佐作

歌詞（つゞき）

斯くとも敵はしらま弓
引く力さへ衰へて
八百餘りおろかにも
吾が陣地の眞正面に
近づき來る笑止さよ
七百、五百はや二百
時こそ來れと打ち放つ
富澤大尉の機關銃
アット驚く暇もなく
敵馬は地にのた打ちて
阿鼻叫喚の其狀は
手にとる如く見えにけり
殘餘の敵は周章て
馬首を後に立て直し
己れ先にと逃げ急ぐ

敵の縱隊の橫合ひより
ドット叫んで射ち出す
江澤大尉の伏兵に
敵勢全く潰亂し、
たゞ蜘蛛の子を散らすごと
右往左往に逃げ惑ふ
やらじと放つ步兵砲
狙擊機關銃の疾風射
逃路は玆に谷まりて
銃火の中に泥に染み
敵なく潰えし醜草の
枯れ行く樣ぞ果敢なけれ
あゝ此の賊の踐ひに
吾は一兵も傷かず
敵兵死するもの三百人
馬を鹵獲する二百餘騎
我が將兵の士氣愈々揚ひ

息つくひまもあらばこそ
再びうつる追擊戰
安古鎭の大濕地
抵抗ふ敵を蹴散らして
追ひ擊て地の極みまで
河を渡れば又濕地
濕地越ゆれば又や河
馬仆るれば抱き上げ
人疲るれば馬勇み
轍の跡にたまりたる
水を含みて追跡す
三日二夜を食もなく
雨降り叩く練兒
進めば晴き密林や
群がり襲ふ蚋よ蚊よ
巨木は路に橫はり
兵馬幾度躓きて
木下の闇は死靈の
呪ひの鬼火消え果て
夜更けに迷ふ路もなし
三更、四更、夜沈々
白く耿きて焚く篝火

將士の面を照せども
たのむ煙草も濡れ果てゝ
飢え迫る夜の寒さかな
隊長心に思ふ樣
日夜を惡ぎし追擊に
兵馬は既に病み疲れ
飢寒交々迫れども
勝利の決は此處にあり
吾飢ゆる時敵も飢ゆ
此の機に迫り擊たずむば
長蛇を逸する悔ひあらむ
暫し心を鬼にして
命の限り追擊せむ
「鍛太刀いよいよ研くへし古ゆ
清けく負ひて來にし其名そ」
疑せる哉や連日の
疲れと雨に日軍も
よもやと想ふ油斷こそ
敵の運命の極みなれ
匪賊の夢の圓かなる
此處山中の一軒家
東の空の白む時

猛火はそゝぐ敵の陣
驚き狂ふひまもなく
伏屍累々鮮血は
草生を染めて腥さし
家屋に據りし敵兵は
尙も頑强に抵抗し
味方の兵の傷付くを
見るより富岡上等兵
何を小癪と叫ぶ間も
運しと手にとる手榴彈
敵の前面に躍り出て
まづ一彈を擲てば
爆音高くこだまして
機關銃も敵兵も
木ッ端微塵と碎け飛ぶ
續いて一彈又一彈
三彈忽ち擲けうちて
一彈敵を斃せども
鐵石ならぬ現し身は
脚に胸部に又腕に
四彈は數を算さて
點數無數の當傷も

已に最後と見えけるが
死すとも死せぬ魂は
いまはの際に日の本の
益荒猛夫は流石にも
無意識の裡第四彈
投げむとしつゝ息絶えぬ
實にや肉彈の一勇士
君萬歲の聲高く
死して響を興安の
嶺永へに留めけり
嗚呼きのふ迄は
北滿の野に出沒し
吾皇軍を惱ませし
彼れ草澤の兵匪を
山の峽間に草傳ふ
朝の露と消えにけり
一死君國に報いんと
吾丈夫の行くところ
黑龍の水、興安の峰
千草萬木鳴りふるひ
靡かぬものこそ無かりけり
靡かぬものこそ無かりけり

祝大滿洲國承認

榮え行く大同の御世
執政と晴の面會
舊清朝の毓家を再興

淪落した舊清朝皇族が滿洲國獨立のために幸福なる昔に還つた話――清朝時代の皇族として一日四百五十兩、一年加俸一千兩、米三百二十石その他一年四百萬兩といふその莫大なる收入を得て北京においても飛ぶ鳥を落す勢ひにあつた現滿洲國執政溥儀氏の尊父の令兄に當る毓公府毓詳氏も一朝にして淪落し行く大勢を如何とも出來ず所有地は殆ど沒收せられ僅に殘つた家財を賣つて露命をつないでゐたが民國十五年遂に北京において妻子を殘し毓詳氏は淋しく他界したとり殘された未亡人孟武氏は愈々生活に窮した揚句奉天に出て松島町十六番地に居を構へ、その後不圖したことより御用商人となつてゐる十間房百廿番地中谷セイ子の世話を受けるやうになり細々と生活をしてゐたが、計らずも清朝發祥の地として懷しい滿洲國の獨立となり然も義理の令甥に當る溥儀氏が執政に就任したのを見て夢かとばかり打喜び晴れの面會の日を待ちあぐんでゐたが去る十八日新京に現はれ事情を語つて執政に面會を願ひ出でた、新京市長金璧東氏、鄭國務總理秘書官、陸軍中佐祝毓瀛氏等は偶然にも新京において二十年振りに舊知の三名に面會出來たことを喜び清朝淪落後消息不明になつてゐた毓公府一家族が再び榮え行く大同の世に再會せることの出來たのは全く神の知せとばかり喜んだが三名は二十四日になり執政溥儀氏と晴の面會をすることが出來た、双方久方振りの會見に並居る人も顏をそむけて全くの劇的シーンを演じた、その結果執政は孟武氏の生活に窮してゐることを知り從兄弟に當る毓公府の子恒義、恒良の兩氏は今後執政が面倒を見られることを言明し兩氏共中學校を卒業した許りなので高等學府にも入學せしめ將來は滿洲國の官吏として採用することを約束し孟武氏には昔の私領中河北省熱河省及び滿洲内に在る四十萬天地一年收益四萬兩の地を與へ既に調査も濟み來年早々下賜されることになつた、また北平に居る長子恒福氏は滿洲に呼びよせ滿洲國軍人として採用することゝなり執政府は時ならぬ喜びに春の樣なのどかさである、なほ孟武氏の舊私領は清朝淪落後張家に沒收せられて他人に貸し付けてゐること判明しこれを取り上げ現在使用してゐるものには謝罪文を書かせてけりがついたが當の孟武氏は大變な喜びで之も偏に日本の好意からであるとし舊私領の中三十萬天地を日本のために無償提供することを申し出でた、又永い間孟武氏の面倒を見て呉れた奉天の中谷せい子には執政府より應分の謝禮をすることになつて總ての不幸と窮乏とが一時に幸福な世界と化し木枯の吹く寒い滿洲の冬もめつきり暖かく舊清朝皇族一門の幸福を祝福してゐる樣である【新京電話】

食糧不足を告げて
防寒用意なし
憂慮さる滿洲里邦人

【東京二十七日發】軍部側の情報によれば二十七日まで滿洲里の邦人婦女子並に蘇炳文の同意した男子の釋放は實現せず監禁邦人の食糧は不足を告げて來たのでソウエート領事から現金を借受け支那兵から買受けて用を辨じてゐるといふことだが最も懸念されるのは極寒に向つて防寒の用意なく關係當局は之が手配につき焦慮してゐる監禁邦人全部の釋放に就いては關東軍もあらゆる手段を講じてゐるが蘇炳文にして態度を改めず荏苒解決を延引するにあつては愈々最後の重大手段に出づべしとし之が對策が考慮されてゐる

通化在留邦人
全部を救出
興津領事の歸奉談

東邊道一帶における關東軍の匪賊討伐が開始せらるゝや高波○部隊と共に去る十五日通化に入城した興津領事は二十六日午後三時半飛行機にて來奉し左の如く語つた

軍の徹底的討匪により避難鮮農も安心して續々現地に歸還しつゝある、奥地における農作物は本年は豐作で昨年に比し二割方增收の見込みである、先般來避難せる鮮農は殆んど瀋海沿線の者のみで奥地在住者は居殘つて耕作に從事してゐたのである、又本年四月以來生死不明と傳へられてゐた長谷川巡査部長以下四名のものは唐聚五のため四月二十日より七月上旬まで桓仁で監禁せられ七月上旬唐が通化に移轉すると同時に右五名の者も通化にうつされて投獄され四人扱ひにされてゐたが唐は十四日夜五名を投獄のまゝ滑田一家六名を人質として拉致したので長谷川部長一行は十五日軍の入城と共に脱出することを得たのである、尚人質として拉致された滑田一家六名は途中より脱出し十八日無事通化に歸來したので通化在留邦人はこれで全部救出されたわけである

なほ同氏は通化領事分館を再開するや否やの問題につき本省と打合せ決定の後歸任すると【奉天電話】

安東の近郊に
匪賊團出沒
五龍背附近では人質
鳳凰城方面にも遁入

鴨綠江上流地方の匪賊は日滿軍討伐により殆ど潰走したが敗殘兵匪は安奉線を橫斷して鄧鐵梅、李子榮等の東邊道西部地方の匪賊團と合流せんとし續々安東、鳳凰城方面に遁入し來り二十六日の如き安東六道溝桃源の滿洲人部落(ゴルフリンクの附近)へ二十名の匪賊團が發砲しつゝ襲擊し來り安東警察隊に擊退された、又安東七道溝にも二十六日に强盜事件あり、五龍背附近の部落では匪賊のため十六名人質となりたる等安東、鳳凰城附近の物情騷然たるものあり、安東附近二、三里位のところに匪賊團各所に出沒し附近部落で掠奪しつゝあり、日滿軍警は嚴戒中【安東電話】

逃げ足の早い
兵匪を騎兵で掃討
到る處壯烈な白兵戰

【原井特派員發】今回の東邊道討伐は匪賊が皇軍來ると聞くや直に風の如く山中に逃げ去るのでわが步兵の足では逃足早い彼等に追つ付かず、今次の各戰鬪は殆ど騎兵の獨り舞臺であつた

◇……

十三日午前十時わが服部部隊の尖兵が敵々

＝新濱＝

に入らんとした時であつた、先頭が縣城內に迫つた時突如右手約三百米の山腹より潜伏せる敵の猛烈なる一齊射擊を浴せられた、わが部隊の附近には掩護物もない危險！直に傳騎は後方本部に飛ばされた、間もなく高橋隊長の率ゐる騎兵隊は砂塵を蹴立て、疾驅、敵を追ふて山中に入り野砲の掩護射擊の下に新濱東方山中關家堡子に敵約六百の大刀會匪紅槍會匪を追詰め蹴散らし追ひ散らして軍刀を振り翳して斬りまくつた、遂に夕暗にまぎれ敗兵は四散、山中に逃亡したが附近は累々たる敵屍三十、青龍刀

＝紅房＝

のついた槍が散亂してゐた、この敵匪は九時半まで新濱にゐた遼寧民衆自衛軍第六路司令李春潤が指揮してゐたものであつた、この戰鬪においてわが騎兵大畑軍曹、高橋上等兵は戰死、大桃中尉は左腕貫通、島田一等兵は兩腕、腹部その他に七彈を受け負傷した

◇……

十五日服部部隊が頭道溝を出發行軍を續け午前十一時密林の山路に差掛つた時であつた、右方密林中に敵ありと傳騎の連絡により直に騎兵部隊

＝突擊＝

山中樺子溝といふ小地點に松村少尉の率ゐる十三騎は敵正規兵三十刀匪三十を發見した、良き敵ござんなれと、十三勇士は乘馬追擊、逃げる敵を斬りまくつた、松村少尉は敵三人を斬り豪勇を示せば從ふ部下もこれに負けず遂に軍刀にて斬り殺したゞけでも八人を數へた、この時逃げる敵は刀を抱へてたゞ夢中に首を伸ばして後も見ず一目散に走つてゐるので實に斬り良かつたとは松村部隊十三勇士の思ひ出談だ、山中に馬を走らして斬り結ぶなど匪賊相手の戰鬪は相當時代がかつてゐる

◇……

○○を出發し海龍より通化に向つた高波騎兵部隊は十五日通化に

＝入城＝

したが、この部隊が十日朝十時海龍南方八里の地點にて架橋工事中突然現場に敵匪四十餘名が襲つて來た、餘り間近に現はれたので我軍は作業の役に立たず現場に應戰してゐた…長以下軍刀で渡り合つての白兵戰だ、司令部も間近で高波將軍の身邊にも敵彈雨霰の如く飛來する、山田參謀は拳銃を以て應戰するといふ有樣、間もなく敵は潰滅し味方は損傷を受けなかつたが今回の東邊道討伐は從來の平野戰と異なり山中の戰鬪だけに到る處白兵戰が現出した(寫眞は掃匪中の騎兵隊廿一日通化にて)

ドンと打つて
ドロンと消えた
豆腐屋殺し捕まらず

二十六日午前三時旅順市乃木町三丁目豆腐製造業植松夫妻を射殺し倚二女定子に重傷を負はせた犯人海軍三等兵曹須堯廣志に對しては警察官は勿論海軍部隊に於ても十數組の捜査隊を編成市中の空屋を始め近郊一帶のあらゆる山野に亙つて發見に努めつゝあるも未だ何等の情報に接しないそこで二十七日午前九時からは警察、憲兵、海軍側は警察署講堂に集合協議を遂げる處があり又午後一時からは更に捜査計畫を變更し終日引つゞき捜査發見に努力してゐる(寫眞は犯人須堯廣志)

匪賊を挾擊
齊克線の沿線

【ハルビン特電二十七日發】齊克線泰安鎭西方十キロの地點で宍戸枝隊は二十四日以來、匪賊千名を追擊中だが賊は泰安鎭に向け逃走したので同地守備隊は宍戸枝隊と共に挾擊中である

寧古塔襲來の
匪賊を擊破
わが警備隊の奮戰

【ハルビン特電二十七日發】二十七日午前二時四十分劉滿海の部隊千二百名はまたく寧古塔を襲擊し來つたが我が警備隊はこれと應戰十時敵に多大の損害を與へて擊退した我軍戰死三名、負傷十名

奉天の强盜
遂に取逃がす

二十七日午後一時半ごろ城內附屬地に强盜二名潜入したとの報に接した奉天署では直に非常線を張り捜査中、通行中の一滿洲人の擧動不審なるため警官が誰何するや發砲して抵抗したのでこれを追跡、交戰の結果、遂に賊はいづれにか姿を晦まし目下捜査中【奉天電話】

新京鄕軍の激勵電
壽府へ發する

帝國在鄕軍人會においては全國的に國防思想普及振作のため二十九日東京において市民大會を開催するが全滿に於てもこれと相呼應して氣勢を上げることゝなり新京では十一月三日午前十時三十分長春神社境內において同樣市民大會を開催しジュネーヴにおける國際聯盟の日本全權に對し激勵電を又內地關係各要路にも同樣打電することになつた、なほ二十九日は新京時局後援會の名をもつて東京市民大會に激勵電報を發することになつた【新京電話】

空中華
賑へる煙火大會

實業グランドにおける滿洲國建國慶賀會主催の花火大會は夜の部は二十七日午後六時より始まつたがスタンドは滿員の盛況を呈し、遊覽道路にも散歩かたぐの見物人が多く非常な賑ひを呈した、呼物の仕掛花火は七時に「富士の白雪」八時に「ナイヤガラ瀑布」を揚げその間に二百餘本の打上げ花火をあげ、八時過ぎ成功裡に閉會した(寫眞は當夜の盛觀下の方の灯は連鎖街)

妙法を說きに
小野僧正の來連
滿鮮地方巡敎の途次

勅額拜戴一周年記念として聖旨奉答大傳道のため朝鮮を巡教し次で來滿せる日蓮宗管長代理宗教總監小野日齊僧正一行は大蓮寺松村住職を始め在滿日蓮宗信者多數に護られて二十七日午後七時五十分大連驛着列車にて花々しく來連市內春日町大蓮寺に入つたが同僧正を車中に訪へば語る

管長代理として朝鮮を巡教し滿洲では武藤全權始め溥儀執政にお目にかゝつたが滿洲國の王道立國に對し日蓮宗の王佛妙法にちなみ安國論を捧呈した、佛教は支那より教へられたが支那に亡び今は吾々がこれを善導し宗教の力を以つて日滿親善を圖らんとしてゐる、執政が宗教家に會はれたのは私を以つて初めてゞあると聞き非常に光榮と存じてゐる

なほ同僧正は二十八日午前中在連官衙訪問午後二時より大蓮寺に於いて親教、同夜は記念傳道講演を行ひ二十九日旅順に赴き戰蹟弔問の筈である【寫眞は大連驛にて、前列僧衣姿が僧正】

人妻殺し公判延期

大連市兒玉町人妻殺し西崗子公學堂生徒石本桃(一九)にかゝる殺人强盜事件の第一回公判は二十七日開廷の豫定であつたが都合により十一月十日に延期となつた

紙幣僞造事件
檢察官の求刑

巨額の滿業銀行券を日本內地で僞造し事變のどさくさに當て込んで滿洲を中心に行使せんとした柴田義助外四名にかゝる外國紙幣僞造事件の公判は二十七日午後一時から大連地方法院長島裁判長係開廷事實審理の結果井關檢察官は柴田義助懲役二年六月▲大穗滿懲役二年二月▲竹村丑太郎懲役二年▲戶澤東太懲役一年▲登守二郎懲役二年四月の求刑あり齋藤、有川兩辯護人より無罪論があつた判決言渡しは十一月十日

雀か自動車か
空氣銃で打たる

二十六日午後九時ごろ滿鐵所有自動車十六號――運轉手中向太一(二三)――が若狹町百五番地先を進行中突如小暗がりから何者か空氣銃樣のもので自動車を狙擊し窓硝子一枚を破壞した幸ひに乘客なく被害はなかつたが大連署では時節柄神經を尖らせ犯人嚴探中

安樂椅子

滿鐵本社の建物はロシヤ時代の遺物に次ぎつぎに建增したゞけあつて不便な上に採光が惡くこの頃のやうな晚秋のスチームの入らぬ時は、北向きの室は一日中電燈をつけて寒帶のやうな寒さ。

◇……

わけて經理部、商事部兩部長室は日一日、陽の目を見ぬ上に兩方とも部長は居らず市川、谷川兩次長が伽藍堂のやうな室の片隅に居る樣は、むしろ鬼氣人に迫るといつた形である。

◇……

「去年までは商事部庶務課長が居つたのだが、外套を着て執務してもまだ風邪を引くといふので秘書がこつちへ移つたのですしかし成る程寒くて寒帶の女事務員の人には氣の毒です」……とは谷川さんの述懷。

◇……

市川さんに至つては滿鐵の金庫を擁つてゐるだけにガツチリしたもので「暖いには暖いが今からスチームを入れたら暖かい日でも火を落すわけには行かず不經濟だからネ」

橫濱刑務所燒く

【橫濱二十七日發】橫濱刑務所は二十七日午後四時半ごろ工事場中央より發火し現在收容中の人員百八十名は直に安全個所に避難せしめたが午後五時三十五分一棟を全燒して鎭火した原因目下取調中

失火と判明

【橫濱二十七日發】橫濱刑務所の發火は未決留置場內ボイラー室の失火によるもので間口四十間奧行五間木造二階建拘置場を全燒し五時四十分鎭火した

市電調停委員會

【東京二十七日發】東京市電爭議强制調停委員會の從業員側調停委員は廿六日井口清之、加納平治、山下卯三郎三名に決定した、廿七日第三者たる委員の選定終了を俟つて直に調停委員會の開催となる豫定である

慶應勝つ

【東京二十七日發】慶明第二回戰は本日後二時慶應先攻にて開始されたが明治振はず遂に得點なく二對零で慶應勝つ閉戰午後四時

薄氏結婚

大連市役所吏員薄千代三氏は井上きみ子孃と婚約整ひ小川市長の媒妁で來る三十日大連神社に於て華燭の典を擧げ同日午後六時より遼東ホテルに於て披露宴を催すと

大連神社神札頒布

大連神社では例年の通り十一月二日より十二月末日迄の間に同社神札を氏子一般に漏れなく頒布する豫定であるが右神札は大連市民氏子として宗教の如何を問はず伊勢神宮大麻と共に必ず拜受各戶ともこれを奉齋せられたいと、また神札には「大連神社御玉串」と記してある由

海と空と（10）

高杉晋一郎作
橋本清史畫

歸郷（十）

背後から呼ばれたので暢が顔を振向けると、少し高くなつた砂丘の上に駿山が立つてゐた。

「あゝ光彌さん……一人で？」

「もち」

その「もち」を皮肉に云つて、駿山はにやにや笑ひながら降りて來た。「お揃ひの所をお邪魔します」ぐらゐの露骨な揶揄を云ひ兼ねない光彌なので、暢はどぎまぎしてゐた。

駿山は無遠慮に瑞枝の方をじろじろ見ながら

「いい景色だね」

と云つた。此の位で濟んだのを暢はほつと思つた。

「美ちやんは？」

新客を無邪氣に喜んだ百合が横から訊れた。

「美坊は家で寢てるよ、風邪をひいて」

さう云つて駿山は、指で一寸大きな眼鏡の位置を直してから「どう、いい？ン」と、百合のお河童をらくしやくと小突廻した。

「うん、相變らずさ」

百合が瓢輕に肩を怒らせて、見得を切つたので、瑞枝が眞先にぷつと笑つた、その笑ひの中で、瑞枝と駿山は顔を合して、一寸目禮した。初對面だつた。

暢はそれに氣附いて紹介した。

「これ從兄の駿山です……こちらは杉田君の妹さん、杉田君知つてたでせう、家で二三度逢つた……」

「あゝ」

それが癖の、光彌は右手の兩指で一寸眼鏡を持上げて、又位置を直しながら肯いた。茶の背廣に派手な縞のネクタイ、額の廣い、色の極めて白い、面長な、誰が見ても好男子だつた。

「暫く御無沙汰。伯母さん相變らずですか？」

「あ、有難う。ところで襄君はもう歸つたのだらう？挨拶にも來ないつて親父些か不機嫌だよ」

「あ、彼れ、家でも敬遠してるんですよ」

瑞枝はじつと二人の話を聞いてゐたが、不意に立上つて百合の手を取つた。

「彼方へ行つて蟹を漁りませう」

「まあいいぢやないですか、僕が來たつて遠慮しなくともいいんですよ」

と光彌は瑞枝に聲をかけた。

「いえ、さうぢやないんですの、百合さんが退屈さうだから」

「さう、それぢや僕も一緒に遊ばう」

さう云つて、光彌は立上ると、のうのうと右手の岩陰へ行つて了つた。

暢は獨り取殘されて、無意味に砂をまさぐつた。光彌は暢の母方の親戚の總領だが、學生のころから放蕩を續けて家に歸らず、伯父が内地を引拂つて、四五年前大連へ移住して來た時、やつと逃げ廻つてゐた先から連れ戻して、學校も休學同樣になつてゐたのを止めさせ、暢の父の世話で當市の或商事會社に現在勤めてゐるのだつた。年は暢より二つ上の二十九だつたが、まだ妻も定まつてゐなかつた。

暢は、三人の行つた岩陰の方を見た。

百合が何か甲高い叫びをあげたと思ふと、岩の陰から光彌の上半身が起上つてその手に大きな蟹が高く持ち上げられてゐた。瑞枝は晴れやかに笑つてゐた。

百合は大聲で暢を呼んで、光彌の持つてゐる蟹の方を指さして見せた。暢は默つて肯いてやつた。すると三人は再び腰を屈めて、岩の陰で見えなくなつて了つた。

時々、百合の大聲にまじつて、瑞枝と光彌の笑聲が聞えて來た。

暢は、立上つて洋服の汚れをはたくと、焦々して洋杖でゴルフの眞似をして、小石を一つ一つ海へ打ち込み始めた。

「いゝ景色だわね」

柳壇

『力』 高橋月南選

拗れた子に力負けする弱い母　同　長谷川壽々子
子供等の綱引へ來て親力み　山海關　佐野　天楢
力瘤見せて當時を物語り　同　吉田　甲子
トツカピンやり場に困る五十坂
病上り風呂で擦つてる力瘤　大連　三谷　一伸
後押しをさせて我子の力を見　大連　藤富　淀月
丸帶へ女意外な力あり
應援の力優勝して泣かれ
歌留多會指頭に目覺しい力　旅順　生野　扇風
腕相撲二人の力顔に見せ　大連　松川　金枝
廊下だけ歩く力の恢復期　大連　津山貴美子
母親も力をいれる應援歌　大連　大野　正二
銀高は支那ルンペンは力づけ
柔道の猛者も妻には力なし　大連　越智　嵐舟
喧嘩だけいつも勝つてる馬鹿力
力餅先づ男の子に喰べさせる　大連　渡邊　雨明
人力車情けが欲しい汗を出し
日曜の雨を寄宿舎腕相撲
引越して力自慢が居て毀し
未亡人力になるを聞き倦きる
後押へ女房の力ありつたけ　大連　森田　峰男
腕相撲おかしい顔が勝になり　大連　稻岡　雨數
金力は善人ばかり押へつけ
金力も腕力もあるたのもしさ
學力がなまさか阻むパンの道
腕角力青筋へ浮く脂汗　小倉　中村土太郎
横綱は力あまつて前へのめ
親善に學童使節の魅力なり　大連　桐生　孔二
兄さんの力に帶の締り過ぎ
女房の力で釘は横に立ち
學力も用をなさない就職難　大連　高橋　竹雪
腕力が時に邪魔する喧嘩なり
瀬戸際になつて全力かけつける

第十回 滿日特選碁戰

互先 先番 初段 宮下秀洋
初段 坂口常治郎

—【14】—

●二六一ホ五　○二六二チ四
●二六三ト七　○二六四チ六
●二六五ル十二　○二六六チ十九
●二六七ヘ十九　○二六八ツ十一
●二六九ホ十九
（黑二目勝）

けふの放送

大連 JQAK 十月二十八日

▲午前六時　ラヂオ體操
▲午後七時　ニュース
▲講話「立正勅額拜戴に就て」日蓮宗管長特派布教師僧正柴田顯秀
▲筑前琵琶「濡衣塚」法位山服部旭飽
▲清元「青海波」淨瑠璃松本市造 三味線清元榮造、上調子淡月幸松
▲俗謠　數曲大槻お葉
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

東京 JOAK

十月廿八日午後六時卅分
▲講演「兵役義務者と經濟的負擔」海軍中將男爵坂本俊篤
▲新内（七時）（名古屋より）「金村屋おさん」疊屋伊八二重帶名古屋結金村屋の段」富士松春太夫
▲ラヂオ風景（七時三十分）「音に聞く美術の秋」無名氏作、演出土岐善麿、演出指揮者眞垣柳水二郎、俳優A村田みれ子、同B西條靜子、同C伊志井寛、放送局員大町山田巳之助、美術批評家坂本村田正雄、美術消息通三田菊波正之助、音樂指揮者福井宮島啓夫、外に小唄、琴、尺八俚謠鳴物等、音樂指揮福田宗吉

(明治四十五年十二月二十八日第三種郵便物認可)

滿洲日報
十月廿七日發行
大連市東公園町一番地　滿洲日報社

勞農、滿洲國總領事のモスクワ駐在に同意
滿洲國家を事實上承認

【モスクワ廿六日發】ソウエート政府は過般ブラゴエチエンスクに滿洲國最初の領事館設置を承認したが、其後**對滿親善政策は益々積極的**となり今回**モスクワに滿洲國の總領事を駐剳せしめる件にも同意**することゝなり近く實現を見ることゝなつた右によりロシアは愈々事實上滿洲國承認の態度を明確にした譯で露、滿兩國の關係は加速度的に親密の度を加へてゐる

皇國の興廢は
滿洲國成育如何に存す
在奉滿洲國邦人官吏に對する
武藤全權訓示

武藤全權は軍司令部、全權部の新京移轉に際し二十七日午前十時十五分より奉天ヤマトホテルに在奉天の滿洲國日本人官吏約三百名を集め大要左の訓示をなした

余はからずも大任を拜受したるに當り親しく諸卿に見えんと欲したるも、國事多端にして遂にその機を得ず、玆に二ケ月を閲したるも、幸ひ今日小閑を得親しく諸卿に相見えるを得たるは余の最も欣幸とするところである、特に軍司令部、全權部の新京移轉の期に當り一層その意義を深うするものあり、玆に一言所懷を述べんと欲す、そもく昨秋事變の勃發するや遂に今日の如くこゝろ滿洲の獨立を見るに至りたるはこれ歴史的必然性にして又自然の勢で、わが皇國は東洋平和のためこの隣邦をして永遠の平和境たらしめんと總ゆる援助を與へ又他國に率先してその承認を實現したり、素より皇國はこの隣邦をして第二の朝鮮たらしむるが如き野心は毫も有するものに非ず、この滿洲國をして完全なる成育をなさしむるは、これわが國民の歴史的又民族的使命にして、わが皇國の興廢は一に滿洲國の成育如何に存するといはざる可からず不肖この大任を負ひ滿洲平和の永續性を確保するに當りては、總ゆる努力と指導とを惜まざるものなり、それ諸卿はわが皇國の前衛として本官の指導精神を體し、宜しくその本分に邁進されんことを望む、いふまでもなく奉天市は張家二代の繁榮にまつまでもなく交通に、文化に、産業に名實ともに滿洲の中心地たるの名を恥しめざるものたり、その歴史的、地理的關係よりして當地の繁榮は今後とも大に期してまつべきものあり、諸卿は宜しくこの地にあつて一層奉天市の發展に貢獻されんことを望む

これに對し奉天省公署總務廳長金井章次氏一同を代表して答辭を述べ粉骨以て全權の期待に副ふべきを誓つた【奉天電話】

滿洲國承認説
獨外務省否認

【ベルリン二十六日發】ワシントン方面でドイツが滿洲國承認を考慮しつゝありとの報道が達したがドイツ外務省は之を否認してゐる

全權に賜謁

【東京二十七日發】來月四日發ジユネーヴの一般軍縮會議に急行する海軍全權永野修身中將以下隨員は二十七日午前十時參内拜謁仰付られた

武藤全權（廿六日）

劉珍年放逐を條件に
韓軍の撤退を要求
中央、戰禍擴大を虞れ

【天津二十七日發】四圍の動向を探らんとして發した韓復榘の辭職通電に對し、一部では韓の獨立と看做して中央軍の動員説等傳へられたが、財政窮乏と、内爭廢止運動盛なる現状に鑑み、更に戰禍を擴大する事は愈々山東のみならず北支に大動亂を引起す事となるので、中央政府は更に韓復榘に對し劉珍年を山東より退却せしむるから韓軍は一時劉軍の圍みを解いて撤退して呉れと要求し來つた

四川の戰況
眞相判明せず

【上海二十七日發】四川の戰爭は諸説紛々として眞相摑み難い、二十五日重慶に戒嚴令を布いた事、成都は劉文輝軍、田頌堯のため市街戰行はれ、劉文輝は二十五日夜既に成都から逃げ出したとの説もある

買收私鐵候補
來月上旬決定

【東京二十六日發】國有鐵道工事進行に伴ふ私鐵買收案につき鐵道省では二十六日關係局課長會議を開き既報の阿波鐵道外七私鐵買收に就き第一次審査を行つたが五、六百萬圓の豫算で四、五私鐵買收が精一杯の模樣で監督局は近く買收候補を決定の上來月早々にも省議を開き最後の審査を行ふ豫定で來月上旬正式決定を見る筈

ファッシズムを
伊首相謳歌
進軍記念日に

【ミラノ二十五日發】イタリー首相ムツソリーニ氏は二十五日當地におけるローマ進軍十周年記念日に當り左の如く獅子吼した

今後十ケ年内に歐洲は擧げてファッシズムに歸依するであらう、現代はファッシズムの世紀であり、イタリー繁榮の時代だ、而してイタリーは歴史上三度世界文明の指導的勢力となるだらう、我々はファッシズムの敵國並びに國境外の敵がファッシズムの既成事實に敬意を拂ふまで國防力を解消せしめない、單なる國際會議の反復では世界の健康を同復し得るものでない、我々の眞に求める所はより少き國際會議、より多くの決定、より少い決議、より多くの創造的行動だ【寫眞はムツソリーニ氏】

恩給法改正で
財源を捻出
四百七十萬圓程度

【東京二十七日發】財政難の政府は逐年累増する恩給額の低減により財源を見出すべく恩給局長に恩給法改正立案を命じてゐたが、改正上密接な關係ある陸海軍の希望等を考慮して成案を得、目下大藏省に原案を廻しその同意あり次第來週中の次官會議に附議するに内定した、改正項目は三十二項目に亘り主要點は

一、退官の際の昇給は從來通りとしてその緩和を圖るため恩給の基礎を退職前三年間の平均額に標準を置く

一、勤勞所得五千圓以上（年額）を受ける者は實状に應じ最高二分の一、最低四分の一の割合で恩給金を減額す

一、一般文官受給年限を二年延長し十七年とす

一、陸海軍における下士卒の受給資格年限を一年延長し十二年とす

一、警官受給資格年限延長し十二年とす

といふに在つて本改正に依ると昭和八年度に現行通りでは自然増となるべき國庫負擔金五百五十萬圓が僅か八十萬圓で濟みその間約四百七十萬圓の財源を捻出し得る譯である

滿洲國の國是（上）
日本の援助を切望す
承認答禮專使　謝介石氏の演説

中央滿蒙協會主催の滿洲國承認答禮使謝介石氏一行招待會は二十三日午後五時半丸の内東京會館にて開催謝介石氏一行を主賓として荒木陸相、芳澤謙吉、南大將、本庄中將、田中都吉、山岡萬之助、床次竹次郎、水野錬太郎、元田肇、奈良侍從武官長、眞崎參謀次長、關屋宮内次官、有賀長文、林大將、松井中將、十河信二氏等二百五十餘名出席芳澤前外相の發議により滿洲國執政の御健康を、謝專使の發議にて聖壽の萬歳をことほぎ、デザートコースに入るや、發起人を代表して、芳澤前外相の挨拶あり、次いで謝專使は之に對し次の如き謝辭を述べた、更に荒木陸相、田中舘博士の歡迎の辭ありて盛會裡に九時半散會した（東京支社發）

▽▲

私は今回執政の特命によりまして貴國御皇室に對し奉り、貴國のわが滿洲國承認の御禮を言上致しに參りました處、到る處より實に歡迎を受くることゝなりましたのであり、これは謝介石一代の名譽たるのみならず、これは日本帝國全民衆の滿洲國に對する熱烈なる友愛友情の發現として滿洲國官民一同の感謝感激に堪へぬ處であると思ひます

中央政府及び各省官衙の青年官吏中より選拔されて參りました私の職員も恐らくこの御厚情を深く肝に銘じ、歸滿後日本國民の滿洲國人に對する熱誠を廣く一般に傳へるものと信じます

抑も滿洲の土地は渤海の昔より日本國とは特殊緊密なる關係を持つて居るのでありまして、日露戰爭の際には我國の山河は、忠勇なる貴國將士の尊き血潮によりて彩られました。當時貴國が國運を賭して戰はれた結果、遂に全滿洲は強露に併呑せらるゝことより免れたのでありまして、當時滿洲の父老は地に伏し天を仰ぎて貴國軍隊を御迎へしたのであります。從つて滿洲としては貴國に對し深き恩義あるに拘らず、若輩張學良一派は淺薄なる國民黨の排外主義に共鳴して、日本の權益を侵し在滿貴國人を迫害するの擧に出たことは當時心ある滿洲國人の私かに顰蹙した處であります。その上學良軍閥は國内を土匪の跋扈に放任して民衆を苦しむる一方、苛斂誅求に依り民衆の膏血を最後の一滴迄搾取し、以て酒池肉林の歡樂に耽り、又は私兵を關内に容れて區々たる征服慾を充たさんとし、それがために滿洲國人民の受けた痛苦は所謂、水深火熱も只ならず、この苦難より免れるべく煩悶して居りました折柄、遂に昨年九月十八日柳條溝の天誅が下りまして暴逆無比の張家の一族は、秋の枯葉の如く壞滅したのであります

▽▲

斯くして惡軍閥の冷酷なる鐵鎖より解放されたわが民衆は奮然として起ち、日本官民の多大なる御同情を得まして新理想國の建設に向つて邁進したのであります。吾國の理想と致しまする處は王道政治であります。匪賊の心を以て心とする覇道政治に對する、王道政治であります。王道政治は爲政者が自己一身を犧牲にして民衆のために盡す政治でありますから、舊軍閥時代の搾取政策は絶對に禁物であります

王道政治は自然の政治でありまず、人間の本然性を尊び、古來の良風美俗を重んじ、猥に新奇を逐ふことを好みませぬ。從つて忠孝、仁義、禮讓の徳を重んじ、道落ちたるを拾はざる、堯、舜の時代の再現を目標と致します

法制は成るべく簡單明瞭とし、徒らに、泰西諸國の煩瑣なる人爲法の模倣を避けたいと思ひます。

王道政治は亦四海同胞主義であります、滿洲國においては一切の人種的偏見及國民的反感を許しませぬ。人種、國籍の如何を問はず能に依つて各々その處を得る渾然たる融和の世界を目ざして居ります

▽▲

天意は民意を反映し百官有司天意に依つて自己犧牲的政治を民國におけるが如き、朋黨の存在を必要と致しませぬ

吾々は實に東洋古來の道徳及思想を滿洲國において、未曾有の程度に發現し、物質文明の際涯ために、炎々として喘いで居りする泰西諸國に模範をたれ進んで亞細亞全體を救ひたいといふ大なる理想を持つて居るのでありますが、前途は尚遼遠であります。遼遠なれどもこのやうの理想に向つて進み得ることは私共の實に本とする處であります。而して此理想を達成するためには人的に物的に貴國官民の非常なる御助力を希望せざるを得ないのであります

軍部の新規要求は
半額に削減の方針
政治的折衝注目さる

【東京二十七日發】滿洲事件費、兵備改善費を中心とする明年度陸海軍豫算は豫算編成中の最大難關として大藏省がこれを如何なる程度に査定するかは現内閣の當面せる重大問題であるが、既に主計局において大體の査定を了した處によると、六億餘に及ぶ軍部の新規要求に對してその半額近くを削減せんとしてゐる模樣で、この主計局の査定に對して高橋藏相が如何なる政治的考慮を加へるかは今後軍部大臣と藏相との政治的折衝を待つ外はないがこの軍部の要求に關しては二十六日の荒木陸相、高橋藏相の會見にも見える如く、軍部としては出來る限り經費の切つめをなして要求したもので滿洲國を繞る我國の複雜なる國際情勢に立脚して一歩たりとも讓歩せざる決心を示してをり之を大藏省が半額程度に査定する事は到底困難であらうと見られてゐる、從つて藏相としても財源を總て公債に仰ぐの已むなき現状を説き極力軍部の要求緩和に努めてゐる模樣であるが、今後主計局の報告を聽取し軍部大臣と數次の會見を行つた後でなければ決定せず政府が希望する如く大演習前に豫算の決定を見るは困難の模樣に見られてゐる

米穀顧問會議
意見尚纏らず

【東京二十七日發】廿六日午前十時より農相官邸に開會された米穀顧問會議は、先づ米穀の臨時的生産制限の問題につき審議を始めたが、補給金の計算等に非常な困難があるので大體不可能といふ意見の一致を見た、次いで再び米穀專賣、米穀管理、米價公定の三案の總括的審議に入つたが、當日初出席の上山顧問は專賣案に對し絶對反對の意思表示をなし管理、公定の二案はなほ考慮して見たいと述べ、一方東顧問は專賣案を固持してゐるので意見の一致を見ず結局當日農林省が新に提示せる折衷案については審議に入るに至らずして二十七日午前十時より續開することゝし午後五時散會した

旅順の逐鹿戰況

旅順市議戰最後の幕は開かれたが大勢決したもの如く大した變化はもう見られなくなつた、隨つて防禦陣地を固めるのみで他候補者の地盤切崩し、奇襲猛撃の作戰は影をひそめた形である、言論戰も二十八日夜昭和園における高田透氏が大連からの應援辯士と共に最後の政見發表を試むる事によつて終了を告げる、市中では去る二十五日夜昭和園において開催された立會演説會について各候補者の既定得票が多少動搖せるが如く放送されてゐるが事實は全然未知數である、なほ去る二十五日立會演説會における

田中候補（德三郎氏）の論旨は過去四年間における議員としては何等の功績なく終始せるは慙愧に堪へない、今回の立候補を決意した以上は乾坤大飛躍政治經濟的見地より市の發展に邁進努力する第一に市民の負擔輕減を目標とする

といふのであつた

大勢決し更に
最後の追擊
大連市議逐鹿戰況

政戰二週日、各候補は最後の五分間まで鬪ふべく猪突猛進をつゞけてゐる、しかも大勢は殆ど決したかの感あり、目下の處田中（正）、栗崎、是恒、鈴木各候補最も苦戰を傳へられ石本、立石、高塚、矢野、佐多、有馬、田尻、龜澤、林田各候補も一進一退を噂され、笠原、大内、三田、熊谷、桑野、恩田、中川、石川各候補も油斷のならぬ形勢にあり

興味

の中心となつてゐるのは吉野町、常盤町、飛驒町、松林町方面で、同地は元來今村候補の金城湯池としてゐた地盤であるが、現業員の關係上熊谷候補が破竹の勢ひを以て突入した爲め今村候補の陣容に動搖を來し、今村候補自ら陣頭に馬を進め決死の勇を揮つてこれを擊退しつゝあるが、熊谷候補は更に再度の逆襲を試むべく、目下作戰中である、矢野候補は鮮銀の占據地に防備を固め更に取引所、豆信等に兵を進め高橋、小野兩候補と正面衝突を演じてゐるが、大體において向背決し滿鐵關係では現場八割、本社關係四割とゞまれば大丈夫當選圏内に入るものと

目算

をつけてゐるが、市中側候補者の切崩し猛烈を極め殊に奉山鐵道問題で不在中の山口候補最も苦戰を傳へられ、千種候補なども樂觀を許さぬものといはれてゐる、千種候補は本社地方部および大連醫院を地盤としてゐるが本社地方部は慶應系で固め、大連醫院は京大系で固めてゐる關係上大連醫院の票は頗る疑問とされ、それに醫師會より推された矢野候補が虚に乘じて征馬を進めてゐるので當然二等分は免れないであらう、志村候補なども又悲喜交々の狀勢にあると放送されてゐる

政見發表會

今村貫一氏政見發表演説會廿八日午後六時より松林小學校にて開催なほ應援辯士は寳性確成、駒屋次郎、加茂貞次郎、辻慶太郎、橋泰山の諸氏▲林田候補は廿七日午後六時より大廣場小學校講堂において諸氏後援演説會を開催出演辯士は大連實業團監督宮崎恩一氏、オリムピック日本水泳代表鶴田美行氏、滿鐵陸上部幹事小鯰賀源一郎氏、滿洲日報社營業局長佐賀秀雄氏、大連實業團元主將安藤忍氏、滿洲倶樂部監督中澤不二雄氏、滿鐵庭球部幹事渡邊通業氏、滿鐵柔道部主將淺見淺一氏、滿鐵陸上部監督高橋俊夫氏▲上原進候補は廿七日午後七時より聖德街幼稚園午後七時半より松林小學校において政見發表演説會を開催する▲千種候補は廿七日午後七時から日の出町滿鐵クラブで演説會を開くが目下病臥中の千種候補も病を押して演壇に立つ筈で應援辯士は下津地方部庶務課長、小須田商工課長、遠藤博士、兒玉衞研所長、柴藤博士、石村誠一氏

出淵駐米大使
大連に向ふ
午後四時大連着

【京城二十七日發】出淵大使は廿七日午後零時二十分飛行機にて汝矣島發大連へ向つた

二十七日午後零時半京城を出發した出淵大使は同午後四時周水子着の豫定

特殊警察隊の
駐防地

滿洲國政府は特別重要な地區に特殊警察隊を配置してそれぐその機能を發揮せしむることゝなつたが特殊警察隊の名稱及び駐防地は次の如くである

滿洲里國境警察隊、滿洲里綏芬河國境警察隊、愛河（寧安縣）山海關國境警察隊、前所（綏中縣）安東國境警察隊、安東縣瓦房店國境警察隊、瓦房店（復縣）海港警察隊、營口滿動警察隊、新京【奉天電話】

ほんこん丸

二十八日午前七時二十分大連港外着豫定

本社株主總會

二十六日午後開催の本社株主總會において東京支社長井上正明氏を本社取締役に選任することに決した

人事

▲村岡啓四郎氏（大倉組奉天支店長）二十七日午前八時着連遼東ホテルに投宿
▲谷萩那華雄氏（陸軍省新聞班歩兵少佐）同上
▲鹽見憲氏（關東長官秘書）同上ヤマトホテル投宿
▲栗原正氏（同上）同上

蛇角

◇ リツトン報告に對する南京政府の意見書、驅引き意見書のお手際と鉦を打つて置く。

◇ 第一、聯盟にそんな權能ありと思つてるのが御愛嬌。

◇ 獨立國家としての滿洲を取消しの一項、たわけのたわごとの所をつかず、とはこれ。

◇ 北平クロニクルが眼の色變へての御託宣「赤血日本が赤露と結んで世界に挑戰する」と。

◇ 多分筆者は赤色眼鏡でもかけて居るンだらう。

◇ 序にドイツも加へて見よ、どんな色合になる?

◇ 色といへばファッショ眼に映じたムツソリーニの世界觀が陽氣な桃色の世界、とは不思議。

◇ 暴利の彈壓令、王道精神が横着者を取締るため。

滿蒙の戰慄（138）
直木三十五作　淺枝次朗畫

再生（四ノ七）

「誰だい」
鋭く春井が聞いた。
「留守の方」
と、ビルデングの入口に——そこには、そのビルデングに事務所をもつ人々の看板が、一杯にかゝつてゐた。その前に、黒い人影が現はれた。
「麗君」

「卑怯者つ」
春井が、叫んだ時、ビルデングの中から、一人の男が
「春井」
と、叫んで
「おとなしくしろ」
春井が
「何?」
その男が
「手向ひするかつ」
と、叫んだ。通行の人が、立ちどまつた。
「やつたな」
春井が叫ぶと、くるりと、二人に背を向けて、走り出さうとした瞬間、
「馬鹿つ」
中手の脚が、春井へからんだか

「野郎」
春井は、うなつて
「刑事なぞ呼びやがつて、覺えてゐろ、畜生つ」
中手は、頸の方へ、刑事は、足の方へ——そして、捕縄が、手にかけられてゐた。
「起きろ、見つともない」
刑事が、叫んだ。
「起してやらう」
中手が、近づいた。春井が、背で、半分餘り、中手の方へ廻つた時
「くそつ」
捕縄が、春井の脚にからんだ。

社員健闘錄で事變一周年を記念・滿鐵社員會から發刊

滿鐵社員會ではかねて事變一周年記念として社員健闘錄一巻を出版することゝなり去る八月以來鋭意資料の蒐集に努めてゐたが、いよく大體の編輯も終り十一月中旬發刊されることゝなつた、而してこの健闘錄は四六版七百頁に亘る大部のもので最初に滿洲事變突發當時から聯盟調査團來滿までのトピックを記述し次いで事變一箇年間を通じての滿洲各地における滿鐵社員の健闘状態を總括的に述べ更に殉職社員および各地に華々しい健闘を示した社員の奮闘も詳記しその他この間「協和」に掲載された主要記事を再錄し聯盟調査團および聯盟總會にかつて社員會から發した聲明書等も採錄されることゝなつてゐる、なほ滿鐵會社としても社員會のこの企てに大賛意を表し發行部數八千部のうち三千部を買上げこれを内地各方面に滿鐵紹介として送附する一方、各圖書館、主要學校、在郷軍人團、青年團等に寄贈することゝなつた

☆ ☆ ☆ ☆

某大官、大將の暗殺を計畫

大演習を期して狙ふ

【東京二十七日發】大阪の極右團體南公會の封筒を利用し本月中旬頃全國數百の青年少壯將校に宛「特に少中尉の一讀を請ふ」と冒頭し五・一五事件を論じ更に宮中某大官や某陸軍將校の言動に對し激越なる字句を連ねた廣告を將校團の名に依つてした怪文書事件については其の後陸軍省憲兵司令部始め警視廳特高部も時節柄重大視し極秘裡に内偵を進めた結果、最近に至り大演習出張の宮中某大官某陸軍大將の暗殺計畫が密かに企畫されつゝあるを探知し警視廳特高部では俄然緊張二十六日午後特高部高等課捜査第二課の主腦部は秘密裡に協議しその結果毛利特高課長は午後四時檢事局に林檢事總長を訪ひ密議を凝らしたが該計畫の核心を握ると同時に斷乎たる處置に出でんとするもの〻如く最も愼重に諸般の用意を進めつゝある模樣である

なほ右某大將は來年度豫算打合せのため數日中に上京する事となつて居るのでこの際の身邊警戒をも打合せを遂げた

客室卅五室の増築を決定

長春のヤマトホテル

長春ヤマトホテルの増築案は廿六日の重役會議でいよく基礎工事に着手することに決定した

最初旅館事務所から提出された原案は増加客室十二室、二百五十二人收容の大ホール一室建設經費十六萬圓であつたが重役會議においては新京の現状から見て現在の長春ヤマトホテルの客室二十六室を三十六室とするだけでは到底需要を滿し得ずとの意見が有力となり、しかも新京に更に新規模のホテルを新築するが如きはこゝ數年は實現の可能性も少ないため結局客室三十五室と二百五十人收容の大ホールを増築せんとする擴張案に意見の一致を見たもの〻如く、從つて經費も三十萬と査定された

この重役會議の結果に依り鐵道部工務課では鈴木技師が主班となつて直ちに新設計に着手することゝなつたが何分客室だけで現在の約一倍半に増加する關係上煖房、料理兩室をはじめ各方面に大改築の必要があり現在の長春ヤマトホテルは面目を一新するものと見られてゐる

なほ基礎工事は本年中に完成し解氷期と共に建築に着手の筈で旅館事務所としては六月半に竣工せしめ七月から使用の意向であるが、これ等の増築完成と共に更にバンドの常備その他内容方面のサービスに就ても萬全を期すべく着々準備を進めてゐる

滿洲國航空會社の新旅客機

懸賞募集の作文に當選

【東京特電廿六日發】豫て時事新報社の主催で全國各府縣並びに各植民地の全小學兒童から募集中であつた「國旗」と題する小學生作文はその應募者十數萬に達しそれぐ審査入賞者の詮衡中であつたがこの程東京を除く全國各府縣及各植民地より應募の分の入賞者百十二名の決定を見た、右入賞者の中滿洲關係は左の三君である

▲大連嶺前小學校六年生横關正（一三）▲同六年生助川良士（一三）▲大石橋紅旗街六ノ二大石橋小學校五年生薫田テル

滿展蓋明け

本社樓上・けふ招待日

二十七日は第二回滿展（滿日本社主催）の蓋明けの招待日であるが係員達が前夜深更まで繁忙を極めただけに設備といひ内容といひ滿洲始まつて以來の大がゝりの展覽會である、出品作品は大連公開後引續き奉天と新京とでも開催するといふので全滿各地に渡つて東洋畫八十九點、西洋畫三百十八點の中、二十五日伊藤、石田、甲斐、平島、山城諸氏の外、評議員數名參與の下に、嚴選に嚴選の結果、入選作品は東洋畫三十六點、西洋畫百五十五點である

昨年度に比較して總體に向上の跡を示し、特に滿洲國人が非凡の力作を示したことなど喜ばしいことである、傾向はアカデミックのもの〻外、多分に新しい傾向を示し滿洲畫壇のため大いに氣焔をあげて居る、洋畫では谷山氏が百號のカンバスに白玉山を、東洋畫は石田茂氏が六尺四方のものに千山を描いたものが一番大きく、いづれも力作で苦心のあとも著るしく、進歩向上が歴然たる點に於て滿洲畫壇のバーズアイとしてその將來を囑望するに足るものがあらう

二十八日から三十一日まで一般公開であるが、引續き十一月五日より三日間奉天ヤマトホテル、九日奉天省教育會、十九、二十日は新京西廣場小學校で同樣開催される（寫眞は招待日の滿展）

今夜の壯觀が期待される

建國祝賀の煙火大會

日本全國百二十萬人が署名した賀表を執政に捧呈した滿洲國祝賀會主催の煙火大會は二十七日午前八時より市内中央公園實業球場に於て擧行されたがポカぐとした小春日和に惠まれて朝早くよりスタンドには見物が押しかけ又小學校幼稚園等の兒童は遊覽道路に陣取つて次ぎくに打上げられる煙火に一齊に歡聲を上げてゐた晝間の煙火は打ち上げだけで約百五十發、滿洲國旗、青煙紫煙双龍八重芯紅牡丹先鋒等飯村式煙火の傑作は何れも觀衆の好評を博してゐた、夜間は打上げ二百種及び仕掛數種を行ふが仕掛にはナイヤガラ瀑布、富士の白雪等同じく飯村式の特作煙火で非常な壯觀を豫想され又滿洲に於ては珍しく大仕掛のもの〻みであるので夜間の壯觀が期待されてゐる

死刑を宣告され通化監獄脱出（上）

勇敢な佐々木部長

涙の再會まで

日の丸の旗

【藤井特派員發】十月十五日午前十時高波將軍が馬上颯爽と幕僚を隨へ通化に入城せる時城門に迎へた滿洲國民のうち薄汚い紙に急造の日の丸の旗を打ちふつて狂氣の如く萬歳を叫ぶ五邦人がゐた、彼等の兩眼からは滂沱として涙が溢れ落ちる、此時高波將軍の前に驅馬にて進んだ興津領事は彼等の姿を見てアッと驚愕の聲をあげた、見上げ見下す眼、涙、涙、涙、五人の彼等は感極まつたのか、わけもわからぬことを叫び立て乍ら泣き出した、この五人は今春興津領事が九死に一生の通化引揚げに先立ち四月二十日桓仁において唐聚五等の手に捕はれた領事分館巡査部長長谷川健治、巡査李時八、居留民會長織田鶴一、居留民小林屋佐松、坂本茂一郎の五氏だつた、その後通化監獄に囚はれてゐたのを十五日早朝唐聚五一派逃亡後釋放されたものだつた、せめて

五人の遺骨

を探さうと軍と共に來た興津領事も以外にも無事な彼等を見て驚いたが監禁半歳敵手の中にあつて奇蹟的にも無事助かつた五人も夢のやうだと不思議がるのも無理はなかつた、このうちの長谷川巡査部長の如き七月二日一度脱出して三日目に再び大刀會匪の手に捕はれるなどこの半歳の生活は驚奇を極めたものであつた、以下記者の聞き知つた長谷川巡査部長等の斷片記である

◇

唐一派首腦者が桓仁に集り彼等叛將の氣勢愈々揚つた四月二十日晝長谷川巡査部長等は桓仁公安局に拘引された、二十三日に縣公署に移されたが五人は一室に監禁され嚴重な監視兵をつけられて外部のことは全くわからず

完全に人質

とされて了つた、時に監視兵を買收して知り得ることは叛軍の勢ひ益々猖獗し四圍の狀勢惡化してゐることを聞くばかり、五人は今日明日にも斬り殺しにされるものと生きた心もなく日を送つてゐた、斯くして七月に入つた一日日本軍桓仁を去る九十支里（十三里）の沙尖子に迫るとの報が桓仁の民衆自衛軍本部に至り俄に騒ぎ立つたこの時桓仁にあつた叛軍總司令部の通化引揚げを主張するものもあり、進んで沙尖子に皇軍を邀撃せんとする強硬派もあり、喧々囂々の議論沸騰したがとにかくあの日本人を斬り殺して了へといふ輿論が俄に持ち揚つた、これを傳へ聞いた長谷川巡査部長は何とかして脱出急を皇軍に通ぜんと

監視兵の隙

をうかゞつてゐたが愈二日午前三時監視兵の居眠りの隙を見濟まして首尾よく塹壕を越えて脱出した

◇

監禁中の日記や皇軍に報すべき叛軍の機密を書いた書類を空氣枕に入れて腰にくゝりつけ、町の西方に行手を阻む約四十間も川幅のある渾江を泳ぎ渡つた、對岸についた頃は夏の夜明けは早く既に川霧が白雲の如く樹間を走るのが見える、疲れた身體を擬ひおこして漸く步きかけやうとした時、「誰呀！」突如眼の前に突きつけられた銃剣だ、見れば一人の將校に引率された五人の巡察隊「南無三！」と逸早く

身をかはし

て又渡つた川へどんぶり跳込んだ元の岸へ歸つだもの、長谷川巡査部長、このまゝ獄室に歸るは死を招くやうなものだ、歸れない、二度川を泳ぎ渡つた、二ケ月半の監禁中の粗食で身體は極度に衰弱してゐる、海軍出身の長谷川部長も二度の往復は無理であつた殆ど失神したまゝの軀を歸ふやうにして岸に這ひついた時、ア、何んといふことだ、誰もゐないと思つた岸にさき程の將校がたゞ一人樹陰にかくれて監視してゐたのだ、血に餓えた狼の如き敵兵の姿を見た瞬間、長谷川部長は本能的にスクツと立ち上つた、軀を拭ふひまもなくいきなり右側の山の中へ走り込んだ、無我夢中で密林の中を走つた（つゞく）

ツロリーで列車妨害

南關嶺附近で

廿六日午後七時五十分ごろ下り貨物第八三列車が、南關嶺、大房身間二三キロ三四〇米附近を進行中線路上にモーターツロリーが妨害のため置き去りにしてあつたゝめ機關車もツロリーと衝突ツロリー破損、機關車も多少破損列車は廿分間臨時停車の止むなきに至つた、なほツロリーは丁場に針金で縛りつけて保管中のものを何者かゞ切斷して同所まで運んだものでこの奇怪な犯人につき關係筋では目下極力捜査中

飛行機で高飛び

陸軍中將の息子と稱して藝妓を足拔きさす

市内逢坂町遊廓藤榮樓の抱藝妓國香こと松本マツ子（二三）が十月初旬チチハルに仕替すべく準備中永沼陸軍中將の息子と稱する永沼秀幾（三九）といふ男が現れ樓主に對し「國香の前借六百圓は自分が支拂ふから仕替させぬやう」とチ、ハル行を中止させ樓主も陸軍中將の息子とばかり信じ前借支拂期日の十月十五日の來るを待つてゐたところ、その前日の十四日朝永沼と稱する男は永沼多惠子と名乘る怪婦人を伴ひ周水子から飛行機で突如内地へ歸り福岡から數回國香に宛電報を打つて來るので藤榮樓でも不審に思ひ國香の身邊に注意中廿一日藤榮樓を拔け出し井田ヨシ子と僞名し周水子から飛行機で福岡へ高飛びしたので樓主は驚いて大連署に詐欺の告訴を提出したが同署では陸軍中將の息子と名乘る怪人永沼の正體及び國香との關係に就き取調方を福岡警察署へ移牒した

籃球大會の組合せ

十チーム參加

本社後援大連基督教青年會主催の第八回全滿籃球大會は愈々來る三十日午前八時半より大連一中體育館に於て擧行するが二十六日申込締切りの結果、初出場の長春商業以下十チームの參加あり抽籤の結果組合せ左の如く決定した

（A）黒猫對イーグル（審判千葉瀧川）
（B）長春商業對鞍山中學（審判奥田望月）
（C）工專對醫大（審判岩瀬山中）
（D）大連二中對旅順一中（審判原田瀧川）
（E）（C）の勝對ＹＭＣＡ（審判岩瀬森田）
（F）（B）の勝者對大連一中（審判原田瀧川）
（G）第二部（一）般優勝戰（審判原田瀧川）
（H）第一部中等學校優勝戰（審判千葉望月）

叛意を飜へさねば直ちに討伐を開始

戰備を固める蘇炳文に對して嚴重な警告文投下

【ハルピン特電二十六日發】蘇炳文は表面平和的解決によつて我居留民を救出するごとく見せかけ實は着々興安嶺東側の陣地を固めてゐる、二十四日江省軍王團長が捕虜にした蘇軍の一營長が自白するところによれば蘇炳文、張殿九は札蘭屯に滞在し全軍を指揮して戰鬪準備を重ねてゐること判明し非戰鬪員を囮にして支那式の驅引に沒頭する蘇に對し皇軍は極度に憤慨し二十六日松木將軍は左の如き嚴重な警告文を海拉爾上空及沿線に投下させた

速に邦人を安全地帶に移し叛意を飜へして滿洲國に忠誠を盡せ若しこれを實行せざるときは直ちに攻撃を開始する

省長からも最後の通牒投下

【チチハル特電廿七日發】廿六日寒氣身を刺す未明我が飛行機は海拉爾に向ひ午前十一時目的地海拉爾飛行場の上空より韓省長の最後の通牒を投下更に抑留されてゐる我板倉機を爆撃しその原形を止めぬまでに撃破して午後三時四十分無事歸還した

親戚を招き組閣披露

首相官邸で

【東京二十七日發】非常時内閣を背負ひ齋藤老首相が宰相の印綬を帶びて足ちてより早五ケ月となつたが、この間首相は政務に追はれ親戚の近しい人々とも落着いて語り合ふ機會もなかつたが愈々政治シーズンに入り豫算その他で多忙にならんとする折柄、遲蒔き乍ら親戚一同を招き組閣披露をする事になり二十七日午後二時官邸に親戚縁者四十數名集りお茶の會が催された、集る者は夫人の里方の仁禮子爵、養嗣子夫人里方有馬伯夫妻養嗣子齊氏の里方豐川一家の老若男女の賑はしさ、折柄の秋日和に官邸の庭先にテーブル、椅子等を持出し首相もお孫さんの間に伍し國事を忘れ打興じ犬養前首相遭難以來濕り勝ちの官邸にも久し振りに陽氣な笑ひ聲がさゞめいたが名殘を惜みつゝ午後四時頃散會した

戰傷兵救濟に職業補導教化

【東京二十七日發】滿洲上海兩事變で祖國のため名譽の戰傷を負ふた戰傷兵のため陸軍省では事變突發後救濟方法を講じてゐるが、農村不況時なれば愈々適當の施設が必要なので恩賞課、啓成社、愛國婦人會、赤十字社等の斡旋により大塚にある啓成社に戰傷兵を收容しこの職業補導教化に全力を注ぐことゝなりこの職業教育費は婦人會、赤十字社で負擔し全國各地より上京する旅費は陸軍が恤兵金を支出し戰傷兵の救濟を徹底さすことゝなつた

ハガキ一枚の投書で毛皮ショール

流行の毛皮ショール五百本贈呈の大懸賞、婦人倶樂部十一月號にあり。婦人間の大評判になつてゐる。

仙臺貯金支局長が自殺未遂

【仙臺二十七日發】仙臺貯金支局長加藤雄一氏は二十五日午後十一時頃官舍でカルモチン自殺を企てたが苦悶中を二十六日朝女中に發見されて未遂に終り秘密裡に手當て中であるが生命危篤である、氏は本年一月二十五日下關貯金支局貯金課長から榮轉現在獨身生活を營んでゐるが自殺の原因は貯金局内に於ける一身上の事件暴露せるためと云はれてゐる

京染手金詐欺

市内惠比須町智光院止宿櫛山源五郎こと早藤隆一（二）は去る八月八日市内聖徳街一丁目三〇二京染取次所戸屋キヌ方の外交員當時連鎖街日光カフエー松下光子より染物手附金として十五圓を騙取した外連鎖街方面のカフエー女給を專門に京染取次ぎの詐欺横領を働いてゐるのを沙河口署伊達刑事が二十六日朝智光院にて逮捕し取調べた結果連鎖街方面だけで餘罪十八件に及んでゐると

修理工場燒く

二十六日午後十一時奉天大東門外の野戰航空廠の修理工場より發火し二十七日午前一時半に至つて同工場一棟を全燒して漸く鎭火した原因及び損害は目下取調べ中【奉天電話】

昭和亭三人殺しの控訴棄却

大連昭和亭の三人殺し犯人藤原定吉は第一審判決にて無期懲役を言渡され控訴公判中二十六日控訴棄却となり無期懲役と確定した

殺人未遂判決

チ、ハルに於て姦夫姦婦を拳銃で射殺せんとした鞍山居住土木請負人大西喜代藤（四）にかゝる殺人未遂の公判は二十七日大連地方法院長島裁判長係開廷、懲役二年の五年間執行猶豫といふ同情ある判決を言渡された

仲町の小火 廿七日午前五時過ぎ市内仲町一一九綿打直し林德先方にて作業中古綿の中に混つてゐた支那黄燐マッチが機械に挾まれて火を發し作業中の古綿に燃燒したが急報によつて出動した消防署の活動で同家作業場の一部を燒いたのみで同六時半鎭火した、損害數百圓

炊事場發火 廿七日午前七時半市内大龍街五六綿打直し王嶽東方炊事場より發火せるが約二十分にして大事に至らず消し止めた原因は炊事夫の煙草の不始末から附近にあつた古綿に延燒したもので損害輕少

井上博士講演 日本化學工業界の元老で前東北帝國大學總長工學博士井上仁吉氏は本日初旬渡滿し新國家各地を視察講演の旅行を終て來連し二十九日午後七時より敷島町青年會館に於て時局問題及生活指導原理等の講演をするが一般の來聽を歡迎する

天氣豫報 二十八日
南の風晴後曇
滿潮（午前九時 午後九時二十五分）
干潮（午前二時 午後三時三十五分）
各地氣温 廿七日午前十一時
旅順 一九 奉天
大連 一七 長春
營口 一六 一八

家庭

歡興税とは

◆…今回東京の市會に歡興税といふものが提案されることになりました、この歡興税とは如何なるものであるか説明して見ませう。單に東京市内のみならず、全日本を通じて、また現在の大連においても殊さらにエロとかグロとかの猛烈なカフエー、バー、ダンスホール等いはゆる歡樂場が夥だしくその數を增して來ました。

◆…これ等歡樂場のもたらす結果としては、金錢によつて購ひ得たサービスなるものによつて、一部の人々は感情の滿足と、美酒の醉ひ心地とを樂しむことが出來るのです、唯それだけの樂しみの場所なのですが、反對に失はれるものは非常に多いのです、人々は怡嬉に流れ易くなり浮華文弱と共に思想穩健は如何にも危ぶまれて更に家庭の不和を釀し、やゝもすれば風紀紊亂、社會風教上の害毒となるのであります。

◆…たまく國家多端の秋に當つて、自力更生の聲は國民の覺醒を促し、協力一致が力強く叫ばれつゝある時、かゝる機關の發展跋扈は實に嘆かはしい現象である……との意見が、終に東京市會においてこれ等歡樂場に歡興税を課税すべく提案される原因となつたのであります、目下内地の各婦人團體は廓清運動の盛んな今日、この課税は妥當であると大いに力を入れて應援してゐます。

オーバー　今年のモード

健やかな肩と力強い胸と男性に望ましい腰線美を充分發揮　明治初年のモボ出現か

夜寒の街頭に滿洲風景の點睛の呼聲も嘉はしくいよく冬に入らうとしてゐます、殿方になくてはならないオーバーの今年の流行を一覽いたしませう

先づスタイルから見て、何よりもまづ今冬のモードは胴のしまつたことです。胴をしめたといふより寧ろくゝつたといひたいほどきゆつとしてゐます、反對に肩巾は充分ゆつたりと、胸はふくらみを見せて張出すやうに……近代女性の憧れの的である豐かな肩と力強い胸と、そして男性にも亦望ましい腰線美(?)を充分發揮しやうといふのです、裾丈が短くなつた結果胸の空きも少くなつてゐますがこれは背を高く見せる上に效果的でせう、袖は袖口に近づくに從つて細く、丈は膝下二三寸が標準で全體として非常にすつきりしたおとなしい感じです。土地柄ダブルが斷然優勢で、餘程背の高い方でもない限り前釦二段、袖四つが無難です、バンドが殆ど姿を消したことも頻もしい流行です。

しかし全體を眺めて見ますと今年のスタイルは昨年より一層復古的で、襟巾の廣い點を除けば十九世紀中葉あたりの英國のスタイルに酷似してゐるのも面白いのです、この分で行つたら來年あたり、明治初年頃のモダンボーイが得意然と着て歩いたオーバーを…

色合は黑に近い濃鼠が中心で、最近擡頭したのが濃からず淡からずといつた程度の茶色その他松綾模樣の出てゐるラクダ地など流行の最もシークなものでせう地質は高級品としてはラクダとパイルでメルトンがこれに次ぎます國產品も近年ぽつぽつ出てゐますが、質に於て未だく舶來品と比肩するまでに到らず、無税港である關係上大連では矢張り舶來品に壓されてゐます、値段はオーバー

昭和八年のシークボーイが大連の放射道路をこれ見よがしに着て歩き廻るやうな面白い風景が或は見られないものでもありません。

でラクダ地、パイル地は八十圓から百三十圓、メルトンは五十圓から八十圓、國產メルトンで三十圓から五十圓前後です。(勝又洋服店調べ)

大事な花卉盆栽　早く霜害や寒害を防げ

▼…朝毎に霜の白さが目立つて來ます大事な花卉盆栽を未だ屋外に出しつぱなしにてゐる方は早く適當な鉢に植換へて屋内にとり入れ霜害や寒害を防いでやらればなりません既に鉢に植はつてゐるものもなるべくなら家の中へ入れる時に他の鉢に植え替へてやつたがよいのです、冬は大ていの植物にとつて休眠の時季ですからあまり肥料を多く使はないで砂又は土に適宜堆肥か極少量の油粕を混ぜた用土に植込みます、あまり強い肥料を多く使ひすぎますと醱酵して草木をいためます

▼…植替の際には萬年青や蘭を除く外はなるだけ根の周圍の土を落さぬやうにして他の鉢にうつし充分灌水してやります、植かへて一週間位は根が安定しませんから日光の直射を避けてその後日當りに出して時々土の乾き具合を見て灌水します、蘭や萬年青は必ず春秋二回植替へればなりませんが秋に植えてありますからよく砂を叩き落し腐つた根を切去つてよい根だけ殘して清水ですつかり綺麗に洗ひます

▼…別に川砂(石河邊のが良い)を用意しこれもよく洗つて鉢の隅三ケ所か四ケ所に腐熟した油粕を丸めたものを埋めて植え込みます、上から如露で充分水氣を與へこれも十日間位日陰に置いた後窓際へ出し毎日一回か二回灌水してやります(滿洲農事協會益尾氏談)

晩秋を探る　金州にて

家庭顧問

五ケ月經つた嬰兒の頭に骨が出て來ました

【問】生後五ケ月の男兒ですが生れた當時頭の右上部に雞大のぷくくがありました。産婆の話では二ケ月も經てば治るだらうといふことでしたので放つて置きましたところ、一向なほらないばかりか今日では固くなつて骨が出て來たやうです、外科的手術か何かでとつて頂いて頭に障るやうなことはないでせうか(心配女)

産瘤てせう、時日が經れば徐々に吸收される　唐澤準吉

【答】御文面によつて見ますと産瘤(骨膜下溢血)ではないかと思ひます、それなれば一旦出た血液が凝固するために硬いかたまりになるのです。しかしこれは時日の經過と共に徐々に吸收されますから心配要りません。もう大抵吸收される時期だと思ひますが念のため一應專門醫に診てお貰ひになつたがよいでせう

滿洲婦人歌壇

戰地見學　森　筆野

美しき布貼られたる壁の面に逃げし學良の額書きてあり
○
庭園の廻りに張れる鐵條網陽にかがやきて新らしく見ゆ
○
老松の木蔭つめたく學良のほらせけむ濠も乾きて久し
○
逃げながらうたれて死にけむ支那兵の血潮のこみは塀に殘れり
○
戰に燒けし兵營のあさどころ大木片こげて黑く光れり

お野菜の少い　冬の食物

寒い風が遠慮なく訪れて來れば私どもの世界から青いものは自然に姿を消して行きます、殊に滿洲の冬は青いお野菜が不足し勝です、お野菜類が尠くなれば自然肉類よりもお野菜の方が高くなります、それに子供は菜食より肉食を好むところから冬期は肉食過剩となり、そのためにヴイタミンや鹽分の缺乏となります、冬分かうして片寄つた食事をとり、春になつて急に元の身體に取り戻さうとする時に身體に無理をしそのために故障を起す人が可成り多いのです。

◇野菜に不足する冬も努めて野菜類をとることに努力する事は必要ですが、次のやうなものはお野菜の尠い冬の食物としては好適でせう

◇蛋白質と脂肪それにヴイタミンを含有し滋養多い大豆から拵へたお豆腐は冬の食品として最もよいのです、次にゴジルといつて大豆を一晩水に浸して擂鉢で擂り、そのまゝ味噌汁に用ゐます、これに揚豆腐を使用したらお豆腐よりももつと滋養價高いものとなります、モヤシも同種で冬の食物としてすゝめたいのです、麩も蛋白質食品として適當してゐます、熱の放散が大きい冬は自然カロリーを拵へなければならないので油物がよく、その意味で油揚などはよいのです、勿論お野菜は尠くなつても人參、馬鈴薯、葱、白菜といつたものは市場から姿を消すことはありませんから出來るだけこのやうなお野菜をとられることをおすゝめします。

新刊紹介

富士(十一月號)「曉を呼ぶ旗」「文七元結」「熱帶巨獸地獄」「三平君の結婚」など面白い、連載物では「薔薇色の道」「死の密約」「伊達事變」何れも超特作

現代(十一月號)滿洲國承認記念特輯號として本庄前關東軍司令官に滿洲を訊く、並に滿洲國創建の先覺者川島浪速氏苦鬪の跡、及び「滿洲建國」の戯曲一篇がある、又「日本に新領土を與へよ」「本當の景氣が來るか」「地震が來るか?」「最近私が取扱つた事件」といふ實話集で筆者は辯護士、警視廳等の連中だ。

雄辯(十一月號)特輯「世界展望大講演會」「軍縮に關する佛蘭西」「ナチスの勢力と今後の獨逸」「ソヴエート露國の現狀」「ムッソリーニは何故政黨政治を排したか」「支那全土に張る共產軍の勢力」「米國はどう動く」「平沼騏一郎傳」「卓上演說模範例」

婦人倶樂部(十一月號)二冊の雜誌附錄の中の一つ、「和服洋服編物手藝子供もの一切の作り方」四六判二百餘頁の、これだけでも雜誌一冊分でその內容は赤ちゃんもの一切の仕立方作り方に廿一種、子供もの和服一切が六種、子供もの下着類一切が六種流行型子供服が十二種、エプロン帽子その他一切が七種がある

◇今一冊は「髮から化粧着附まで新美容法大集」讀物では「衞生特輯」で、婦人衞生に就て專門八醫博が答へてゐる

◇「昔年ばかりの座談會」「四博士から胸の病を持つ人へ」

◇「お安い材料で出來る鍋もの汁もの二十五種」「誰にも美味しく出來る和洋揚げ物のあげ方」

◇「新流行のジャージー子供婦人服」それに流行毛皮ショール五百本贈呈といふ大懸賞がある

婦人公論(十一月號)卷頭を飾る「三土鐵相にわれらの生活不安を陳情する會」歌人伯爵吉井勇氏の「妻に與へるの書」

「父は何故自殺したか?」の本居長世氏の文

「親友伊達君との戀愛關係」「天刑病者の妻の手記」

駐滿全權武藤大將の令孃まさ子さんの「結婚中止と父の愛と」

實用記事としては「家庭ですぐ出來るトンカツ料理の秘法」「七十圓までの家計公開」

「偽れる未亡人」の續篇、その他當選小說の「彼方への道」がある新鮮な讀物豐富かな實用記事がその他澤山ある(中央公論社發行、定價五十錢)

少女倶樂部(十一月號)特別附錄の「壁掛け」馬上のジャンヌ、ダルク、グラフの明治神宮畫報、少女舞踊、面白グラフ天々好い出來だ、オリンピック少女選手の座談會、「總をたづねて」「ほめられ太一」「譽れの少年騎手」「牧場の歌」「賢い機織」「引越の釘」「愛のライオン」など新揭載物が多い

少年倶樂部(十一月號)陸軍號と銘打ち特別附錄に「帝國陸軍號」「我が陸軍の大威力」「飛行機がある」「戰場物語」「萬年二等兵」「兵營訪問記」「日本軍の尊いわけ」「大東鐵人」「エミリアンの旅」「わんぱく時代」「叫える密林」「萬歲栗毛」「地底の都」其他連載物が面白い

新型機富士號全自動完全無煙燃燒機に就て

今回都市煤煙防止令の發布と同時に工業獎勵館に開かれた燃燒機の中で完全無煙と經濟的方面より無二の折紙を斯界の權威より認められるや大方の眷顧を蒙り事業の擴大を迫られ東京福岡に營業所を增設すると共に當營業所も大阪の機關の補強と…

滿日各地版

我軍の討伐奏效し 匪賊續々歸順
東邊道掃匪も一段落
遼西の大頭目三勝も歸順

【奉天】日滿兩軍の守備嚴重により東邊道一帶の掃匪は大體において一段落を告げ、續々歸順を申出て來るが、誠意をもつて滿洲國に降服するものはそれぞれ糧食を與へて歸農せしめつゝあり、商工會の保證あるものはいづれも成績良好であるから軍としては地方有力團體の保證を條件として地方の平定に匪賊の歸順を認めてゐる、滿洲軍を越す桓仁、新濱、通化に部隊を集結し皇軍との連絡を保ち山中に逃げた掃匪の降伏を勸告し冬季を越年する覺悟である

【鞍山】鞍山西方劉二堡、騰鰲堡、唐馬寨等遼西一帶に巨り蟠居して居た匪賊の大頭目三勝事吳寶豐は豫て歸順運動中であつたが二十六日午前十一時奉天省より要人數名來鞍し農商聯合會に到り同會の自動車にて劉二堡に於て三勝と會見し再び農商聯合會の自動車にて三勝と共に來鞍し休憩の後奉天に向つたが數日間奉天に滯在の上劉二堡に歸り正式に歸順式を擧げる豫定であると

【撫順】元撫順縣下東社臨時公安隊より匪賊に豹變し同地方に蟠居してゐた頭目王沼山以下百九名の歸順式は二十五日午前九時から塔連公安分局に於て川上撫順守備隊長、小川憲兵隊長以下佟縣警務局長其他臨席の下に嚴肅に執行された、歸順部隊が整列すると閱兵が行はれ劉塔連商務分會長の謝辭に次いで王頭目が謝罪と宣誓をなし川上、小川兩隊長の諭告及訓示ありかくて日滿兩國並に撫順縣の萬歲を三唱閉式したが憲兵隊では即日公安隊にこの歸順隊を加へて午後四時瀋海線撫順驛發列車で上下章黨哈達附近に蟠居せる匪首趙樂州の討伐に向つた

莊河縣下の歸順匪賊の狀況
既に三千餘る上る

【大石橋】莊河縣某方面よりの確報に依れば左記匪首は何れも歸順方申出でたるものなりと謂ふ

邱良忱以下四百名　同縣第三區を根據とし救國軍と稱し元第一旅補充營に改編されたるものなるが再び匪賊化し拳銃二〇長銃三〇〇馬匹三〇頭を有したるもの

鄧鐵梅以下六百名　鳳城縣西部を根據とし東北自衛軍と稱し大孤山東北に出沒したるものにして拳銃一〇〇長銃六〇〇機關銃三迫擊砲二馬匹四〇〇頭を有するもの

護國以下一千名　護國軍と稱し岫巖及び蓋平縣境に出沒したるものにして拳銃二〇長銃九〇〇馬匹五〇頭を有するもの

劉震淸以下千四百名　第四、五區を根據とし本年四月頃歸順し李時山軍に依り第一旅補充營に改編せられ目下第四、五區に駐屯したるも部隊の統制を缺き不良分子多きものにして武器其他不明

與長江第三區を根據とし本年四月歸順し自衛團を組織したるもの不良分子多く武器不明

老北風を警戒

【鞍山】匪賊頭目老北風は數日前部下と共に遼中縣より東方に移動し目下遼河西方に滯在中であるが歸順運動中の匪首三勝及海寬等が合議の上老北風を討伐すると決議した事を耳にした老北風は憤慨し反對に三勝海寬を討滅すべく種々畫策して居ると言ふので海寬は彼れの副頭目となつた匪首綠林好に命じ湯崗子西方新臺子方面一帶に嚴重なる警戒網を張つて居ると

通化縣長就任式

【奉天】匪首の根據地として永らく苦るしめられて來た通化では今回の討匪で暗雲一掃され全く平和となり廿五日縣長の就任式を盛大に擧行し廿六日は市民の祝賀大會を開催したと

汽船射擊さる

【安東】二十二日午前六時安東出發、鴨綠江を下航し大孤山に向つた安東怡隆洋行所有汽船は二十四日午後五時大孤山大陽河口を航行中黃土坎附近に於て匪賊の射擊を受け急遽安東に引歸したが、今や同方面一帶は匪賊の世界と化し船舶の航行は危險且つ困難となつた

新移殖民に 滿蒙風土研究所
稻葉醫大總長は語る

【奉天】滿洲への新移殖民の爲めに今度奉天に滿蒙風土研究所開設の議が起つてゐるが右につき稻葉醫大總長は右の如く語つた

そんな話も出てゐるがまだ具體的に進んでゐる譯けではない、重要なことは金の問題だが今のところさつぱり見當がつかない

しかし滿洲もかやうに狀勢がすつかり變つて今後日本內地からもどしどし移植民がやつて來ることゝ思ふが、こうした人達の爲めに是非風土研究の機關は必要だと思ふ、內地と滿洲では氣候に風俗に非常に異つたところが多いから、克くこちらの狀態を調査して、移植民に最も合理的な生活方法を考究することは植民政策からいつても大功なことだ、內地からの移民が現在兎角失敗に終るのは一つはこの風土の變つたところへポカリとやつて來て在來の內地の生活をその儘踏襲してゐるからだ、だからどうしたら此方で最も經濟的にまた苦痛なしに安易に生活出來るかといふことについて衣食住の全般に渉つて研究することは大いに必要だと思ふ

輸出入申告書
輸入三、輸出四枚

【安東】安東海關への輸出入の申告書は從來輸入二枚、輸出三枚を提出して貨物通關に備へてゐたが關東廳では過般安東海關宛これが一部の送付方を要求し來つた爲め海關當局では貨物代辨係へ右の旨通牒し實施方を求めるところあり代辨としても右要求を容れるべく目下考慮中であるが結局一枚宛增加して輸入三枚、輸出四枚の申告書提出になる模樣である

奉天驛員が進んで日滿融和の企だて
滿洲の習慣言葉研究

【奉天】滿洲及び滿洲人の風俗、習慣を研究し滿洲語の習熟に努力し進んで日滿融和を圖り一方旅客待遇の向上に資する目的で今回滿洲風習研究會が奉天驛員により組織された、これは日常多くの滿洲人に接し旅客取扱ひの第一線に立つてゐる驛員が進んで滿洲人の風俗、習慣を研究し所謂生きた滿洲語の習得によつて眞に滿洲人を理解し以て旅客サービスの向上に心掛けやうと云ふのである、右會の事業としては研究事項を各自々由に選擇し研究の成果又は家庭につき座談會又は會誌に發表し相互の研究資料とし又滿洲語習得については會員相互に協力し先學者は後進者を指導し滿洲風俗習慣その他滿洲語修得上の參考講演會などを催すと

日滿婦人交驩會 奉天で開く
二十五日盛大に擧行

【奉天】去る廿四、五の兩日大阪で日滿婦人聯合大會が盛大に開催されたがその大會を最も意義あらしめるため當日を期して奉天でも日滿婦人提携協和の交驩會を奉天聯合婦人會主催の下に開催し滿洲國側婦人を招待し廿五日午後二時から商埠地協和會中央事務局に於て盛大に開催されたが、日滿婦人百餘名出席し協和會中央事務局の會議室には立錐の餘地もない盛況を呈し定刻三谷婦人の開會の辭あり鄭督察長夫人謝辭を述べ終つて協和會中央事務局小澤氏の協和會の使命についての講演あり日滿各少女の餘興が行はれ續いて內地風景瀋陽世界の風俗その他の映畫に十二分の歡を盡し大いに日滿婦人提携の實を擧げ午後三時半散會した

鞍山防火宣傳

【鞍山】鞍山警察署並消防隊では二十六日午前八時警鐘亂打を相圖に檢閱並に一大防火宣傳を開始した、定刻泉警視は上田大隊長の臨場を得て消防隊の人員並に服裝の點檢を實施し桑原副監督の案內にて機械器具の點檢、舊式ポンプの操法及び小隊教練の査閱を行ひ上田大隊長の訓辭あり鞍警の自動車に上田大隊長、泉警視、小野寺所長、林隊長、加藤協會長等と消防隊員全部が分乘して防火宣傳の要項を大書した幕や火の用心の長旗を林の如く押し立て賑やかに北二條から南部、室町、北三條、柳町鐵西等市內一圓を遊行し午前十一時歸隊隊汁にて參會者の慰勞宴を催した

金州の部落民が擧て警備費獻金
貴重にして麗しい行爲

【金州】滿洲には暴惡なる匪賊の出沒頻々たり州內には拳銃強盜、兇暴なるギャング團の横行甚だしくして世相愈々安眠を許さず今や警備力の充實を圖るの聲は隨所に叫ばるゝに至つた、我が金州にもこれを痛感するの餘り獻金を申し出づるもの續出し中にも平素我が警察官の恩惠を心から感謝してゐる部落在住の滿洲人は擧つて我先にと獻金を申し出で、數日ならずして一萬圓の巨額に達する獻金を見た、殊に渤海に面する西海岸一帶の警戒に備へる爲め快速巡邏ボートと二隊延派出所の寄附方申し出あり今また麗しい警察機の獻金續出は共に貴重なる在住者の美擧として絕大の讚辭を呈するものである

碓井氏全快

【鞍山】過般鞍山西方劉二堡附近黃家屯の戰鬪に於て鞍山守備隊の裝甲自動車運轉手として出征し苦戰中にあつて良く其任を完ふし勇敢に軍隊の行動を援助した、鞍山製鐵所運轉手碓井政光氏は鞍山滿鐵醫院から遼陽衞戍病院に送られ後湯崗子溫泉陸軍療養所に於て加療再び遼陽衞戍病院に歸り療養中であつたが愈々全快したので二十六日退院し午前九時廿二分著列車にて歸鞍した、上田大隊長もまた其全快を衷心より喜び改めて其功を表彰したが數日間靜養の上再び製鐵所勤務に就くと

懸賞チヌ釣り
旅順の催し

【旅順】名物「チヌ」釣りも本秋は相當收獲が多いことゝ豫想されてゐたが氣候の關係上大分遲れ昨今漸く遊群の徵が現はれたので八島町井上釣具店では恒例に依り左の規定に依り懸賞チヌ釣會を開催することゝなつた

▲船一隻で（船頭を合せて三人迄）五十匹以上は船賃免除の事
▲百匹以上の際は船賃、船頭賃免除
▲二百匹以上の場合は船賃、船頭賃、エサ代免除

右は二十五日より十一月五日迄の內で三百枚以上は右の外に特に表彰する筈であると

傳染病の豫防に 安東必死の對策
取敢へず豫防注射

【安東】氣候の變化と共に又復傳染病が流行し出した爲め安東署では二十四日から滿鐵と協力腸チブス、猩紅熱防止の爲め豫防注射を施行中であるが、殊に猩紅熱の如き十月に入つて既に十名の患者を出し本年頭初からの累計百三十二名の多數に上り安東始まつて以來のレコードを作り、尙今後も相當發生するものと見られてゐる、本病患者は昭和五年に百二十八名を出して市民に脅威を與へたのに鑑み當局の措置と市民の自重に依り昭和六年には僅か十六名の患者を出したに過ぎず稍愁眉を開いたものであるが、今年に入り斯くの如き增加を示したことは市民の油斷から生じた衞生思想の不徹底であつたためで防疫に努めてゐた當局の失望もさることながら市民衞生思想の低下を物語るバロメーターであるとして豫防注射接受は今や聲を大にして叫ばれてゐる有樣である

新美容法虎の卷

●…婦人俱樂部十一月號別册大附錄「新美容法大集」は、新時代の化粧着附、結髮等一切の祕訣を公開した美容虎の卷、これ一册あれば誰でも美人になれるので大評判！

圖書館週間
撫順の催し

【撫順】全國の圖書館は日本圖書館協會及び文部省後援の下に每年秋の讀書シーズンを期して十一月一日より七日間を圖書館週間と定め、種々公開の催しをなし市民と圖書館との接觸を計り一般の讀書獎勵をするが、撫順圖書館では左の通り同週間登館者には記念栞を進呈したり書庫を公開したりする外三十日午後一時より公會堂に於て童話、音樂と映畫の會を催すと

一、十一月一日より五日迄（但し三日の祭日を除く）期間內午前九時より午後四時迄の登館者には記念栞を進呈し、書庫を公開するとともに讀者會員には三册迄の一時館外帶出をなし帶出期間も二週間に延期す

二、童話、音樂、映畫會（入場無料）

十月三十日午後一時より新公會堂に於て

プログラム

△開會の辭司會者△童話龜川先生△ハーモニカ二重奏雲雀田靜枝、竹田眞妙子△舞踊成澤久枝△童話西出先生△舞踊加賀谷君子△ハーモニカ五重奏撫順ハーモニカ、クワルテット△童話吉野正（休憩）獨唱成澤久枝△童話沼田先生△舞踊佐野榮△映畫ザンバ其他

各地片々

◇遼陽　遼陽輸入組合加盟店有志は廿五、廿六の兩日公會堂に於て廉賣市を開催したが十錢、十五錢均一品で顧客を呼び季節物も相當の賣揚げあつたと

◇撫順　撫順署では二十六日自動車運轉手試驗を行つたが受驗者十名にて午前中學科、午後實地技術試驗を施行した

◇金州　憂慮されたコレラの終熄を告げた此の頃邦人にヂフテリヤ二名、猩紅熱一名、腸チブス二名の傳染病患者が出たので金州署では目下これが豫防に努めてゐる

◇金州　金州局では城內大德豐前の郵便函を南街滿洲銀行支店向側の道側に移轉した尙將來は城內北街と新市街滿電バス待合所前にも增設する豫定である

◇金州　關東廳金州苗圃では二十四日より三週間の豫定を以て金州城北方の平山に滿洲黑松赤松アカシヤ等二十二萬本の造林を開始した

高等法院便り

【旅順】旅順高等法院上告部では二十六日強盜深川兼利事深川金利（前判決懲役二年）無線電信法違犯大原豐保同伊藤斐雄（前者は懲役七月、後者は懲役六月共に執行猶豫三年間）強盜殺人宋德魁、劉金三（兩名共死刑）強盜王延令（懲役八年）はいづれも上告棄却となり同覆審部では窃盜村松武寛、窃盜張文德事劉寬令（也）外三名に對しては結審言渡しは十一月二日

梅本氏夫人

【撫順】撫順炭礦勞務係主任梅本正倫氏令閨シズ子夫人は豫て病臥自宅療養中の處藥石甲斐なく遂に二十六日午前四時三十分永眠した、葬儀は二十八日午後四時より西本願寺に於て執行の筈

警察機獻納

【金州】金州に於ける二十六日迄の警察機獻金者は左の通りである

△六〇〇圓黃坦子廟會姚商會外七八五名△六五〇圓大魏家屯會王錫五外二三〇名△八六六圓馬家屯會楊有雲、外六一五名△七一五圓大孤山官鐵文財外六〇〇名△一、二〇〇圓董家溝會劉珊外一四六名△本日迄の合計金九千八百五十五圓

慰問袋發送

【金州】金州市民會が募集中であつた在滿將士並に警察官に贈るべき慰問袋は其の數五百七十個に上つたので此の程發送した

旅順放送

▲來る十一月三日午前十一時三十分昭和園に於て擧行される明治節祝賀式當日の式次は着席、開會の辭、君ケ代、祝辭、萬歲、閉宴
▲旅順初等教育會では來る十一月六日午前中は兒童の爲め午後は一般父兄の爲め舞踊劇合唱會を開催する由
▲工事中なる旅順驛派出所は此程美事竣工したので來る十一月二、三日頃開所式を擧行する豫定
▲乃木町旅順衞戍病院上等看護兵栗田新一（二三）は二十五日死亡
▲旅順第二小學校では來る二十九日（土曜）午後一時から敎育デー記念學藝會を開催する

會と催し

●…瓦房店署長の慰勞宴【瓦房店】大內警察署長は着任當時恰も高粱繁茂期で匪賊の跳梁と惡疫流行の折柄全署員を擧げて必死の警戒防疫に寢食を忘れ披露の機會を失うたが匪賊の巢たる高粱刈り取り後管內平穩になつたので十月廿五日午後七時より官民有志三十五名を筑紫館に招待披露の宴を張つたレザートコウスにいるや大內署長挨拶を述べ越智地方事務所長代表謝辭を述べ筑紫館の美奴酒間を斡旋一人一藝室々廻りの隱し藝で盛會裡に午後十時退散した

●…遼陽金組役員會【遼陽】遼陽金融組合では二十六日午後三時から事務所で役員會開催した

●…安東關稅研究委員會【安東】安東商議內に組織せられてゐる關稅問題研究委員會では二十六日午後二時より安東商議に於て委員會を開催、各種關稅につき各自意見を開陳し鋭意研究した

沿線往來

▲田中關東廳農林課長　產業視察の爲岩崎關東廳畜產技師と共に廿五日來金、大和田民政署長等と相携へて種馬所、農事試驗場苗圃及種馬所放牧場を視察即日歸金

この苦心、この美擧
馬占山討伐隊員手記（十一）

本稿は北滿の曠野で降雨と洪水と泥濘と蚊軍と戰ひながら文字通り惡戰苦鬪、馬占山討伐に當つた部隊將兵たちの手記である

愛馬の嘶き

時は昭和七年七月二十七日、師團我田中大隊が劉家店附近に於て馬占山軍の主力部隊を我が陣地內に誘ひ込んで之に猛射を加へ尙之を包圍攻擊し續いて猛烈なる追擊を敢行した時の事であつた、大隊が安古鐵附近の大森林の山地帶に敵に近く追擊前進中、尖兵中隊（第六中隊）の方向に方つて猛烈なる小銃、輕機關銃の音が起つた、其距離は約二、三百米、機關銃中隊（一小隊缺）は「スワ」とばかりに急進する、中隊長は小隊長を從へて陣地偵察の爲め先行した、敵は山間の大濕地內に據り込んだので之が掩護の爲め後衞部隊が稜線を占領して頑强に抵抗して居る、尖兵中隊は稜線の敵を攻擊して居るが敵は密林に遮蔽して頑張つて居る、彼我の銃彈はピュン〳〵と交錯して飛んで居る、大濕地に據り込んだ敵の大縱隊は大狼狽して居る

中隊長が下馬せんとしたその刹那、愛馬栃倉が少し狂奔するので中隊長は出征以來幾度となく戰陣を往來して實彈の洗禮を受けたが今迄にこの樣な狂奔した事が無かつたので不思議と思ひ乍ら馬取扱兵田村に渡し愛撫を加へその低い林の中に馬を入れて置けと言ひ放ちつゝ火線に出て行つた、やがて機關銃の猛烈な火蓋が切られ山は唸りを生じ實に物凄い

田村一等兵は馬を牽かんとした時、中々進まない、平常と調子が違つて居る、よく見るとこれはしたり右腰部に盲貫銃創を受けて居るではないか、一等兵は氣も狂つたかの樣に瀉息なし乍ら大聲に銃隊長殿、栃倉がやられましたと叫びつゝ布片を以てしたゝる血潮を拭き取つてやる、彼の目には淚がうるんで居た

栃倉は耳を引立てゝ嘶き乍ら中隊長の行方を見守つて居て動かうともしない、前方には我軍の突喊の聲が聞え敵の輕機の音も少くなる、機關銃も前進する乘馬前進の命令も來た、田村一等兵は馬を進め樣とするが動かない、傷口は次第々々に腫れて來る、附近には戰友一人居なくなる、田村一等兵は泣き出さんばかりである

そこへ竹中一等兵が驅つけて來た、協力して馬を脅し或はすかして前進したが遂に濕地の中に倒れて仕舞つた、健康馬でさへ困難な濕地であるから堪らう筈がない、漸くにして丘に引上げたが傷と疲勞の爲め遂に死にさうになつて仕舞つた、呼吸は切迫して來る、起き上らうとする藻搔くけれ共立てず遂には足を伸ばして仕舞ふ、遙かに距てゝ銃聲は絕えて來る

田村一等兵は水筒を栃倉の口に當てゝ水を與へる、そして人に物云ふ樣に言つた「お前も出征以來克く働いて吳れたなー、俺もお前の爲めに一生懸命飼付手入をしてやつたが今日お前に戰死されては戰友を失つた樣だ、中隊長も之を聞かれたら定めし落膽されるだらうなー、栃倉殘念だな……」と言ひ乍ら馬の頸にすがり付き啜すり泣いてゐる、栃倉は淚にうるむ目をパチクリ〳〵しつゝ鼻音ヒン〳〵とさせて居る、傍に居つた竹中一等兵も共に泣かずには居られなかつた、栃倉は何を云つて居たらうか……

馬は遂に目を閉じて仕舞つた、斯くする中に傳令が來て栃倉が戰死したつて仕方がないから急進せよとの命令だ、そこで止むなく中隊に追及することに意を決し馬體に禮拜して鬣に木の枝を掛け別れて惜みつゝ出發した、約二十米ばかり行きて後を振り返ると馬はパチクリ目を開き少し頭をもたげて微な泣き聲でヒ、ーンと嘶く、一等兵は後髮引かれる思ひして五十米行きては後を振り返り百米行きては後を振り返りつゝ別れ叢林の道路を足跡を辿りつゝ本隊へ追及した（この項つゞく）

滿洲日報

自衛權に據る我行動 不戰條約に違反せず

米國務長官の日本非難演説を わが外務當局反駁

【東京二十七日發】滿洲問題につき久しく沈默のスチムソン長官は二十六日夜ピッツバーグ教區のメソジスト、エピスコパル教會で又も日本非難の演説をなしたが、我外務當局は大統領選擧對策として關心を拂つてゐないが、不戰條約に關し獨斷的解釋を下してゐる點を左の如く反駁してゐる

ス氏は不戰條約は世界の如何なる場所における戰爭も關心事であると説き、之が各國の承認した原則であると稱して居るが、これはイギリス政府の重大留保を無視せるものである、フランスも同樣である、日本は文書の形式では行はなかつたが滿洲に對する我特殊地位に鑑み當然自衛權行使に關する留保を附せるものである、昨年來の我行動は自衛權で不戰條約違反ではない、滿洲の獨立と我自衛權とは直接の因果關係なき事々實である、ス氏が彼此混同して獨斷をなせるは不可解である

侵略による結果は 飽迄認めずと强調
認識不足の米長官

【ピッツバーグ(ペンシルバニア)二十六日發】スチムソン長官は廿六日ピッツバーグ教區メソヂストエピスコパル教會評議會席上、世界平和問題を論じ滿洲問題を中心とする國際政局に言及し侵略による結果を認めずとの所謂スチムソン原則を重ねて强調して曰く

滿洲事件に關連し示された平和維持のための國際協力は、世界が過去數世紀間に亘り他より遲れた諸原理に基いて努力した後今や國際協力の方針に基いて漸進なしつゝある證左である 滿洲で條約違犯により獲得された侵略結果を他の諸國が承認する事を拒否した事は平和への道程における一里塚となるものだ、余はこゝに戰爭に對する世界の態度の新しき動向を見、極東の戰爭阻止のために動いた世界列國が不戰條約と聯盟規約に對する努力の中に如何なる箇所における戰爭も、到る處における關心事であるとの基本的觀念の受諾された事を看取する、フーヴァ氏は就任に先立ち南米諸國を巡歷し各國間に個人的置き外交的接觸をはんと努力したが、米政府は國際條約で平和の促進を期し他方秩序整備の第一歩はビスマルクを抑へる事で、軍縮事業の目的も其處にある

とて軍縮會議や不戰條約を强調し若し滿洲國に紛擾が勃發した場合假に我々が之に顏をそむけたら單に不戰條約のみならず、世界の偉大なる諸平和條約の外の一つ一つが償ひ難い損害を受けたに違ひない

然しながらスチムソン氏も平和の到來とかゝる人類機構の發展が極めて遲々たるものなるを認めてその結論としてゐる

獨の滿洲國 承認考慮
米外交官側觀測

【ワシントン廿六日發】ドイツが滿洲國承認を考慮中との報道がワシントンに傳へられ、非常な驚きを以て迎へられたが、第三者の立場に立つてゐる外交官は

ドイツはその外交政策殊に軍備均等要求につき世界の視聽を集めてゐる折柄北米アメリカに惡感を與ふる如きことは考慮すまいと述べ單なる風評に過ぎまいと信じ

アメリカも日本の 特殊的立場を諒解
兩國間の空氣は惡化しない
きのふ來連の 出淵大使語る

日大阪發、二十七日午後三時四十分周水子飛行場に到着した、埠頭ら(?)で福祖の大使は出迎への八田滿鐵副總裁、大村關東軍交通監督部長らと久濶の握手を交し、竹中滿鐵理事その他の挨拶を受けた後、航空會社休憩室で記者團と會見左の如く語つた

歸任 する豫定でゐる、それで私は來月十一日東京發、敦賀よりシベリアを經由しジュネーヴからフランス、イギリスを通つてクリスマスまでにアメリカに歸任 でその前に一度各方面の狀況を見ておきたいと思ひ出かけて來たわけである、滿洲へ來るのはこれで三回目で全く久しぶりだが一定の使命があるわけでなく單に見聞するためである、アメリカの極東に對する態度が靜觀主義に轉して來た?それは新聞が勝手に能動的にしたり靜觀させたりするのだらう、アメリカとしては日本の滿洲の特殊の立場は十二分に諒解して居り、日本を滿洲から追ひ出さうなどとは全然考へてゐない、この點は日本人も安心して可なりだ、ただアメリカとしては不戰條約は自分が作つたといふ感じがあるので、成るべく平和的にやりたいといふ希望を持ち、その

理想 の下に日本に對して物をいふて來たことがある、しかし日本の立場もアメリカ人に段々わかつて來て居り、何か突發的な事件の起らぬ限り、兩國間の空氣は惡化することはない、不侵略條約を中心とする日蘇接近説がアメリカにどう響いてゐるといふのか?大體日本とソウエートとはそんなに接近してゐるのかね

など巧に質問の鋒先を避けながら、この位でよからう、今日はとてもよい航空でね、大孤山附近では馬賊に燒かれた村から煙が立つてゐるのがよく見えたよ

と語り終り八田副總裁と同乘星ケ浦ヤマトホテルに向つた

來連した出淵駐米大使(右、×印は大使、左は八田副總裁)

大使出淵勝次氏は歸任を控へ滿洲の現狀を視察すべく二十六日...

內田外交の實現 大公使の異動
來月中旬發令さる

【東京二十六日發】內田外相は相當廣範圍の外交官異動に依り外交刷新を圖らんとしてゐるが最近歸朝した廣田大使は本人自ら再歸任の意なきことを表明したので大使の後任に前スペイン公使太田爲吉氏を起用するに決したなほ之と同時に歸朝中の吉田駐伊大使が外務省考査部長に轉ずるので後任に松島歐米局長を拔擢しその後任には ジュネーヴ出張中のドイツ大使館參事官東郷茂德氏を推すはずで又小幡駐獨大使も近く歸朝し後任にはスエーデン公使武者小路公共子が任命される模樣で此の異動は十一月半ば發令のはずである

公使級の 異動觀測

【東京二十七日發】外務省の人事異動は大使級が一應決定したので更に公使並に參事官級に亘つて行はれる筈で、現通商局長武富敏彥氏は駐米大使館參事官に任ぜられ現參事官齋藤博氏は一應歸朝後オーストリーかスエーデン公使に任ぜられるといはれ通商局長後任はニューヨーク總領事堀內謙介氏又はフランス大使館參事官栗山茂氏が任命されると觀られ、堀內ニューヨーク領事が若し任命されゝば栗山參事官は條約局長に任命されん

滿洲國參議 廣田大使
外務省の推擧

【東京二十六日發】滿洲國參議は外務省の意向として小幡駐獨大使を推擧するが小幡大使は之を拒絶することと明白なれば廣田大使に落着くものと見られ、某方面でも廣田大使を期待してゐる

園公近く轉地

【東京二十六日發】洛外滿風莊に滯在中の西園寺公は本月末か來月早々暖かな興津へ轉地する筈で午前九時原田秘書は首相、官邸に齋藤首相を訪ひ園公の容態を報告懇談辭去した

四經濟團體の 反駁書內容

【東京廿七日發】日本工業俱樂部日本經濟聯盟日本商工會議所日華實業協會四經濟團體のリットン報告書に對する反駁意見起草委員會は廿六日丸の內工業俱樂部で開催したが、原案の決定を見るに至らず更に廿九日起草委員會を開くこととなつたのである

クロニクルの 暴論

【北平二十七日發】松岡代表の露都通過の際同國首腦部と重要協議せんとの消息並に東京における日露不可侵條約交渉進捗の報は痛く支那側の神經を刺戟し、本日の北平クロニクルの如き世界に挑戰する以外に共通性無き日露兩國の接近は奇怪千萬だが日本としては...

吉田大使
今夜東京出發

【東京二十七日發】聯盟總會臨時會議に出席の吉田大使は報告書に對する帝國政府の意見書を携帶二十八日夜九時二十五分東京發敦賀より浦鹽に赴きシベリア經由一路ジュネーヴへ向ふ事となつた

國府、內亂將領に 即時停戰打電
聯盟總會を前にして

【南京二十七日發】國民政府は四川擾亂擴大に狼狽してゐるが、汪文韓は昨夜四川各將領及び山東に對峙する韓復榘、劉珍年に對し聯盟總會近づく、速に內亂を熄め外敵を防がざらんか、支那の國際的不利愈々大ならん、支那は統一せる國家なりや否やは一に貴官等の行動に懸るを以て直ちに內爭を熄めよ

と打電した

山東省境の 動搖憂慮
蔣の武力解決に

【南京二十七日發】蔣介石は山東內紛の武力解決を決意し河南の張學良軍を歸德方面に出動せしめると共に熊斌を北上せしめ韓復榘の服從を迫らしめる事と成つた、河南山東省境に新なる動搖憂慮さる

重慶西方で 兩劉衝突

【上海廿七日發】重慶來電によれば劉文輝、劉湘兩軍は重慶の西二...

門戶開放の 原則で考慮する
滿洲國關稅問題につき
◇…阪谷希一氏語る

滿洲國關稅問題につき來連した阪谷希一氏は語る

滿洲國の財政確立といふ主觀的立場からのみこの問題は考へてはならない、新國家としては公式の交涉は日本側からまだ受けてはゐないが、全滿商議聯合會の要望は受けた然し新國家は門戶開放、機會均等の精神に基いて國際的立場から考慮せればならぬ問題である、タリフの改定の如きは何等考へてならないとの說明であるが、滿洲國としては日滿特別關稅の協定は殆ど不可能とみてゐる、尙星野財政部次長の東上は滿洲國の豫算編成も終了したので外交部其他の各部代表の東上中事務打合せ旁休暇慰勞で出張したものであると【奉天電話】

松花江航行權を 勞農側から要求
滿洲國側は內河として反對

滿洲とソウエートとの間には一九二八年一月舊東北政權時代の黑龍江道尹兼交涉員張壽增と在哈ソ聯領事ムラミートとによつて黑龍江、烏蘇里、額爾克納河の三國境河川に關する國境河川臨時航行協定が締結されてゐるが、ソ聯は事變後即ち本年一月以來該協定の範圍外にして滿洲の純然たる內河たる松花江の航行權問題を協定に包含すべく滿洲國に提議してゐるが、滿洲國側は松花江は純然たる內河でソ聯の要求不可能として應諾すべからざるものとて强硬意見であるが、他方ソ聯側...

在鄉警察團設置
內務省乘氣で計畫

蔣介石の 新聞彈壓
十六紙に發禁

幣原總長夫妻

堤次官
來月中來滿

關稅問題の 意見具申
奉天商議滿鐵に

奉天市政收支 豫算

郵軍成都占領

武藤長官巡視

特務機關
卅日より復活

ウオール街の賭
ル候補が優勢

日銀の第四次利下 來月中旬斷行か
觀測漸く有力となる

【東京二十七日發】日本銀行は...

松岡帝國代表憂國の文字

天草丸にて...

社説

南京政府の意見書
リットン報告書と相容れず

リットン報告書に對する南京政府の意見書が發表された。前後八項に渉つて其主旨を陳べてゐるが、大體に於てリットン報告書を否認するものであつて、頗る非協調的である。曩には、大體リットン報告書を是認すると傳へられたが、愈々となれば矢張り體面上、硬論に傾くのであらう。意見書の中「獨立國家としての滿洲國を取消すべし」と主張してゐるのは、報告書と主旨を同じくするが、事實上殆んど獨立國同樣な自治領と爲すには反對してゐる。卽ち支那が名義上のみの宗主權を採るに滿足せずして、實質上の主權を維持せんとするのである。故に「東三省の自治制は許す」も、それは「中央政府の管轄下におく」又この制度によりて組織さるゝ政府は「中央政府の自主的設立に係るべし」となすのは、現在の滿洲國政府を全然認めない意味である。而して「現在の他の地方政府と同格と爲す」といふのであるから、丁度從前の舊東北政權を復活せしめて、而してそれよりも自治の範圍を狹くなさんとするのである。舊東北政權の自治の範圍は頗る廣大であつた。故に或場合には獨立國の如くであつた。

◇

支那の此意見書にては、東三省に自治を許すといひながらも他の地方と同樣な地方政府を作るのだといふから、當時の張學良政府よりも、もつと權限の狹いものとなすのであつて、それでは現在の山東省や山西省と同樣である。現在の滿洲を解消して斯くの如き狀態に爲すことが出來るか否か解らずとは、認識の不足に驚かざるを得ず、萬々一それが出來るとしても、對日對蘇の外交關係は從前の如く、日蘇の滿洲に於ける權利も從前通りであるから、斯の如き地方政權が、この事情の上に立たんとすれば、舊東北政權の立場よりもつと困難な立場になる。而して中央政府は、以前よりも東北政權との關係が密接なるだけに東北の對日對蘇の關係からして累を受くることも、前よりは大ならざるを得ない。

◇

畢竟、南京政府の意見なるものは、滿洲の事情に適應しない事においてリットン報告書以上である。故に斯くの如き意見は實際には決して行はれず、若し誤まつて實行さるゝならば、東洋諸民族の平和を毒する原因となることは、リットン報告書の指示する解決方法よりも更に甚しい、と見なければならぬ。本國人が、外國人よりも認識の不足を示すといふのは、如何にも不思議ではあるが、元來南京方面には、滿洲の實情を少しも知らざる點において、歐米人と兄たり難く弟たり難き支那人が多いことは、曾て吾人の指摘した所である。又事情は解つてゐても、表面的に愛國心を示す爲めに各要人の本心とは異なる決議が出來上り、それを文章に現はすのだから、自然に斯くの如き不徹底なものになるのだ。

◇

意見書中、以上がその根本的なるもので、この點に於てリットン報告書と兩立しないものである以上、枝葉の點は問題でない。而してその枝葉の點に於ても、滿洲地方官廳に外人の顧問を雇傭するのはよいが「報告書に示すやうな廣汎な權限を與へない」といつてゐるが、外人に警察、財政、金融の全權を與ふる事が報告書の眼目であるから此點に於ても兩者相容れない。又「日本の滿洲に於ける商租權鐵道敷設權に關する日支協定は日支條約協定計畫を根據と爲しそれ以上の範圍は承認せず」といふのは日本の滿洲に於ける權益を認むるに、甚だ吝ならんとするもので、リットン報告書程の、日本の權益に對する理解もない。況んや日本の必要と爲す「權益」とは天淵の差を示すものである。

要するにこの意見書は、リットン報告書が東洋事件に干渉し歐米人が永久に東洋の支配權を握らんとするのを拒斥せんとするの意あるを看取し得るが、歐米人をして斯くの如き態度を採るに至らしめた原因が南京政府にあるから、爲めに南京政府は甚だ困惑してゐる事が歴々として窺知される。而して一方は歐米に對し、他方は日本に對して自主權の保持を主張せねばならぬ立場から割り出したのが此意見書で、實地の事は少しも顧念せず、只筆先で、其立場を糊塗し得るやうに作りあげたもので ある。故に此點から見れば、最も空論的なものであつて、日本の意見書が最も實際に適し、リットン報告書は其中間にある。而して此意見書はリットン報告書と全然抵觸するものであり、日本の意見書とは背反するものであり、結局支那は餘り多くを聯盟に期待してゐないことも察し得る。

『貴下の一票』に群り寄る逐鹿戰士
亂軍の四十一陣營

逐鹿原頭氷刃を振つて無盡に馳驅した四十一候補の勝敗を決すべき投票日はあと五日目に迫つた、戰ひはいよ〳〵深刻化し運動員を乘せた自動車は稻妻の如く閃光を曳いて暗の市中を驅けめぐり各選擧事務所の電話は引切りなしに鳴り響く「貴下の一票こそ私の當落を決するものです」等の文書も雨の如くバラ撒かれ中には實彈戰を行つてゐる等の中傷說も亂れ飛んで獅が上にも競爭心理を煽つてゐる文書戰、言論戰も切り上げて刀を鞘に納め守備に轉じた手廻しの好い候補者も居るが多くは之れからが本格的の活動だと鉈を磨して最後の決戰に臨む可く再び兵を納め三度突擊の精銳を繰出した、中にも優勢を傳へられた古泉、松浦兩候補は俄然エムデン戰法に切り崩され形勢逆轉に樂觀を許さなくなつたのでいま必死の應戰に血塗れとなり相川候補なども滿鐵用度課方面を西田候補に鐵袖一觸され二十六日夜から途をかへて日の出町方面に進出した、龜澤候補が當選から目を付けた正隆銀行は志村候補のため蹂躪され案外得票少く爭頭方面また各候補の包圍攻擊を受け苦戰をつゞけてゐる、上原候補も各戰線エムデン戰法で攪亂され毫も油斷が出來なくなり有馬候補また曙光を齎した如く傳へられてゐるが樂觀を許す程度に漕ぎ付けず、佐多、矢野、石川、林田、中川等の候補者また戰況常に轉變し一喜一憂の狀態にあり田中（守）候補も噂へらるゝが如くでなく內實は血を吐くやうな苦戰だと噂されてゐる、一方取締方面の警察では二十六日以來果然活氣を呈し特務連は八方に飛び眼を皿にして戶別訪問、買收等萬一の違反を嚴重に警戒し出した

ロと同樣、蓋を明ければ當落の運命は判らぬのだから評判が好いだけモット引締る必要はないかと云はれてゐる、同候補は今回立候補した所以に就て

私は大連在住十ケ年今日まで我等の選擧した市會議員諸氏を信賴し市會の向上發展卽ち自治制完備を期待して來たが舊態依然として改まらず市民の大多數をして市政を嫌忌するに到らしめた今や產業の不振に伴ふ生活の脅威金融財政の逼迫に藻掻く中小工業者の惱み、私は大連市民の福利增進のため默するあたはず今回の總選擧を機にこの小熱を奮ひ起たしめ市政壇上に倒れるまで戰ひ而して局面を打開しいさゝか一片赤心の迸りからである

陣營をのぞく
「赤心」を陳列する上原進候補と「意氣」を賣る恩田明君

上原候補

立候補者四十一名、その四十一箇所の事務所を廻つて最も華美に賑やかなのは何と云つても新人上原候補の選擧事務所であらう常盤橋目拔の場所、甘栗太郎の隣りが同候補の選擧事務所で辯護士渡久山寬常氏が山羊鬚をしごいて事務長の回轉椅子に据はりニコポン林田又介氏が參謀長格でその帷幄に參じてゐる、十數名の事務員は文書戰、言論戰の準備に報告やビラに達筆を走らせ紅一點も交へて頗る和氣靄々だ、同候補は連鎖街、聖德街、逢坂町各警察署、明大校友會、洋服商組合、淨信會等に根強いフン張りを見せ一面縣人會を後楯とし文書戰に言論戰に熾烈な鬪志を見せ堂々の陣營を張つてゐるが到る處評判頗る良好なので御大始め事務長、參謀長は「評判倒れになりはせぬか」と頗る頭を痛めてゐる、兎まれ選擧は水物で轉がすサイコロと地盤を述べてゐた

恩田候補

恩田明候補の選擧事務所は若狹町の滿洲鄕土協會に置いてあるが前上原候補の事務所とは雲泥の相違で靜かなこと林の如く午前九時だと云ふに恩田候補はまだ顏も見せず一人の男が頻りに事務室の掃除を行つてゐた別に一人の男記者の名刺を受け取つた儘名乘も上げず

亡父の地盤と云つて熊壽郞氏居ての地盤でしたから今となつては四分五裂です、中等教育界は相當纏まるかと思ひますが大體に於て頭數が鈍いのですから纏まつたところで大したことはありません、滿洲鄕土協會ですがコレも一回解散したものですから今僅かに同志が集まつてゐる程度です、旅順中學同窓會の人達も大いに骨折つて呉れてゐますが何の位集まるか見當がつかないし鳥取縣人會も何れ位後援して呉れますかハツキリ解りません

と心配氣に話してゐた。話の模樣では世間で評判する程でなく矢張り相當苦戰であるらしい。當の恩田候補は立候補の挨拶に

私は名もない「一青年に過ぎない、所謂社會の實務經驗に乏しく無計算無分別である、固より權力なければ金力もない、唯之れに代ふるに困憊や情實に囚はれない熱意と純情とを持つてゐると自負してゐる。意氣と熱と至誠純情とを把持して理想に邁進する……

『滿洲はいらぬ』といふ『藍衣社』の正體解剖 (3)

上海特派員 日森虎雄

中國のファッショの藍衣社が、民主主義の外觀を脫ぎ捨て、獨裁主義の新形式を以てすることはいふまでもないが、その目的を遂行する爲めに藍衣社は「三健主義」なるスローガンを揭げてゐる、三健主義とは、健軍、健黨、健財の三主義であるがその內容はかうだ

健軍主義 藍衣社の黃埔同學全國の各軍隊中に散入せしめ、漸次その指揮權を奪取することの方法は

(1)該軍中の將領の行動を監視する

(2)兵士のファッショ組織を實行する

(3)ファッショ組織を以て隊內の中堅となす

(4)機に乘じ兵變を起し實權を奪ふ

なほ中央軍官學校の軍官研究班軍事委員會訓練處の政治研究班等は均しく健軍運動の組織である

健黨主義 このスローガンは已に公然と國民黨內に提出されてゐるがその計畫は

(1)國民黨の黨務整理に名を藉り各級黨部を藍衣社員にて奪ふ

(2)國民黨の總理制を恢復して黨の獨裁を實現する

此外尙秘密班はあるやうだが未だ外部には絕對に洩されてゐない

健在運動 之は某國軍閥と一樣に軍隊により尨大なる土地を占領するに在りその方案は

(1)平均地權に名を藉り尨大なる土地を占領し藍衣社の所有とす

(2)國營工業の發展に名を藉り對外大借款を起し藍衣社永久經濟的基礎を建立する

之は宋子文によつて立案計畫されてゐるが、之を要するに三健主義は黨權、軍權、財政權を蔣介石一身に集中し以てその獨裁を永的に打ち立てるに在る、元來中民衆の心理中には獨裁とか專制かいふのは極めて嚴い印象を與へるやうだが、それにしても三健主義とは隨分考へた名稱らしい

思想取締りの設備充實が緊要
井關檢察官歸任談

十月十日から五日間東京に於て開かれた全國思想係判檢事會議に出席した大連地方法院檢察局檢察官井關安治氏は二十五日午後八時特急「はと」で歸任、會議の經過及び現下の思想問題につき左の如く語つた

思想國難を 叫ばれてゐる秋に當り、今回の會議が開かれたことは誠に時宜に適した有意義なものであつた、出席者は全國の思想係判檢事、植民地からは臺灣二名、朝鮮關東州各一名で第一日は司法大臣の訓辭があつたが、その要點は右傾、左傾を問はず非合法的なものは嚴重に取締れといふにあつた、協議事項は「思想犯の豫防、防遏に關する對策如何」であつて、苟くも國家意識に目覺めざる非合法的な思想犯に對しては假借なく

嚴罰主義を 以て臨む一方思想犯の動向に注意を拂ひ、……

豫算を提出 することになつてをり、又文部、內務、司法各省に於ても緊縮時代に拘らず莫大な豫算を計上し思想取締の設備充實に努めてゐる、然るに關東州に於てはその設備の何者もなく、今や滿洲を中心に思想問題が渦卷かんとしてゐる際、甚だその貧弱さを遺憾に思ふものので、思想取締設備充實が關東州に於て緊急事であると痛感する

……て貰ひたいと希望を述べて置いた、要するに現下の思想問題は遊戯的觀念から一部インテリ階級で研究されてゐたといふ時代を過ぎて深刻な恐るべき底力を持つて國家の根幹をおびやかしつゝあると見るも過言でなく之が取締設備の完璧は緊急事である、故に司法省の如きは近くハルビン、上海に思想係檢事を常駐させ支那から來るものロシヤから來るもの思想狀態を調査し國內の思想取締徹底を期することゝなり議會に

南洋へ移民
拓務省の方針決定

八相 滿洲國への歸化

（投書歡迎 五十行以內 匿名はさしつかへなし）

◇日本人にして新興滿洲國に歸化出來るでせうか。◇若し出來るならばその手續き方法を敎へて下さい　長春在住者

お答へ 日本國臣民の滿洲國歸化は滿洲國建國の精神及其聲明に徵するも何等差支ある筈はありません。◇但し其目的が土地租用その他事業關係からならば特に歸化せずとも滿洲國人同樣の權利が附與されてゐますから其必要はない譯です。◇然し是非歸國せねばならぬと言ふ特種の事情があれば滿洲國には未だ國籍法の制定なき爲め其手續方法等は定つて居ません。◇右に就き念のため關東廳經由滿洲國司法部へ照會しましたがヤハリ同樣の意味の回答に接しました【係記者】

不正行商と取締
大連署保安主任

◇廿五日附本欄の「不正行商品」の投書に對し大連署保安主任は左の如く語つた ◇不正行商人の許可に關しては當局で之が身元調査を嚴に勵行し締上注意して居りますから斯る不正行商人のある筈はないと思ひます。◇從つて無許可でやつて居るのではないかと思ひます、左樣な者が有りました時は成可く警察に御知らせを願ひたい。◇だが納豆については臭くない納豆が有るとは思はれません、納豆を始めての御方で其の臭みと粘りで腐つたと間違へて居るのではないでせうか。

大奉天都市計畫內容

……【奉天電話】

中央銀行漸次充實
山城副總裁談

大村監督部長

萩野少佐赴津

日本燐寸投賣防止要求

第三師團參謀長

天崎啓昇師來連

陸軍辭令【東京廿七日發】

關東廳辭令（廿六日）

市況（廿七日）

株式
當市強調
內地株小腿り

特產
大豆弱含
仕手一巡に

錢鈔
當市續騰
日米引軟弱

商品
綿糸腿り
麻袋變らず

奧地市況

榮え行く大同の御世 執政と晴の面會

舊清朝の毓家を再興

淪落した舊清朝皇族が滿洲國獨立のために幸福なる昔に還つた話――清朝時代の皇族として一日四百五十兩、一年加俸一千兩、米三百二十石その他一年四百萬兩といふその莫大なる收入を得て北京において飛ぶ鳥を落す勢ひにあつた現滿洲國執政溥儀氏の實父の令兄に當る毓公府毓詳氏も一朝にして淪落し行く大勢を如何とも出來ず所有地は殆ど沒收せられ僅に殘つた家財を賣拂つて露命をつないでゐたが民國十五年遂に北京において妻子を殘し毓詳氏は逝しく他界したとり殘された未亡人孟武氏は愈々生活に窮した揚句奉天に出て松島町十六番地に居を構へ、その後不圖したことより御用商人となつてゐる十間房百廿番地中谷セイ子の世話を受けるやうになり細々と生活をしてゐたが、計らずも清朝發祥の地として懷しい滿洲國の獨立となり然も義理の令甥に當る溥儀氏が執政に就任したのを見て夢かとばかり打喜び晴れの面會の日を待ちあぐんでゐたが去る十八日實子恒義、恒良の兩氏と共に新京に現はれ事情を語つて執政に面會を願ひ出でた、新京市長金璧東氏、鄭國務總理秘書官、陸軍中佐祝錦瀛氏等は偶然にも新京において二十年振りに舊知の三名に面會出來たことを喜び清朝淪落後消息不明になつてゐた毓公府一家族が再び榮え行く大同の世に再會せることの出來たのは全く神の知せとばかり喜んだが三名は二十四日になり執政溥儀氏と晴の面會をすることが出來た、双方久方振りの會見に並居る人も顏をそむけて全くの劇的シーンを演じた、その結果執政は孟武氏の生活に窮してゐることを知り從兄弟に當る毓公府の子恒義、恒良の兩氏は今後執政が面倒を見られることを言明し兩氏共中學校を卒業した許りなので高等學府にも入學せしめ將來は滿洲國の官吏として採用することを約束し孟武氏には昔の私領中河北省熱河省及び滿洲内に在る四十萬天地一年收益四萬兩の地を與へ既に調査も濟み來年早々下賜されることになつた、また北平に居る長子恒福氏は滿洲に呼びよせ滿洲國軍人として採用することゝなり執政府は時ならぬ喜びに春の樣なのどかさである、なほ孟武氏の舊私領は清朝淪落後張家に沒收せられて他人に貸し付けてゐること判明し之を取り上げ現在使用してゐるものには謝罪文を書かせてけりがついたが當の孟武氏は大變な喜びで之も偏に日本の好意からであるからとし舊私領の中三十萬天地を日本のために無償提供することを申し出でた、又永い間孟武氏の面倒を見て呉れた奉天の中谷せい子には執政府より應分の謝禮をすることになつて總ての不幸と窮乏とが一時に幸福な世界と化し木枯の吹く寒い滿洲の初冬もめつきり暖かく舊清朝皇族一門の幸福を祝福してゐる樣である【新京電話】

食糧不足を告げて防寒用意なし

憂慮さる滿洲里邦人

【東京二十七日發】軍部側の情報によれば二十七日まで滿洲里の邦人婦女子並に蘇炳文の同意した男子の釋放は實現せず監禁邦人の食糧は不足を告げて來たのでソウエート領事から現金を借受け支那兵から買受けて用を辨じてゐるといふことだが最も懸念されるのは極寒に向つて防寒の用意なく關係當局は之が手配につき焦慮してゐる監禁邦人全部の釋放に就いては關東軍もあらゆる手段を講じてゐるが蘇炳文にして態度を改めず荏苒解決を延引するにあつては愈々最後の重大手段に出づべしとし之が對策が考慮されてゐる

通化在留邦人全部を救出

興津領事の歸奉談

東邊道一帶における關東軍の匪賊討伐が開始せらるゝや高波○部隊と共に去る十五日通化に入城した興津領事は二十六日午後三時半飛行機にて來奉し左の如く語つた

軍の徹底的討匪により避難鮮農も安心して續々現地に歸還しつゝある、奧地における農作物は本年は豐作で昨年に比し二割方增收の見込みである、先般來避難せる鮮農は殆んど瀋海沿線の者のみで奧地在住者は居殘つて耕作に從事してゐたのである、又本年四月以來生死不明と傳へられてゐた長谷川巡査部長以下四名のものは唐聚五のため四月二十日より七月上旬まで桓仁で監禁せられ七月上旬唐が通化に移轉すると同時に右五名の者も通化にうつされて投獄され四人扱ひにされてゐたが唐は十四日夜五名を投獄のまゝ滑田一家六名を人質として拉致したので長谷川部長一行は十五日軍の入城と共に脱出することを得たのである、尚人質として拉致された滑田一家六名は途中より脱出し十八日無事通化に歸來したので通化在留邦人はこれで全部救出されたわけである

なほ同氏は通化領事分館を再開するや否やの問題につき本省と打合せ決定の後歸任すると【奉天電話】

安東の近郊に匪賊團出沒

五龍背附近では人質 鳳凰城方面にも逼入

鴨綠江上流地方の匪賊は日滿軍討伐により殆ど潰走したが敗殘兵匪は安奉線を横斷して鄧鐵梅、李子榮等の東邊道西部地方の匪賊團と合流せんとし續々安東、鳳凰城方面に逼入し來り二十六日の如き安東六道溝桃源の滿洲人部落(ゴルフリンクの附近)へ二十名の匪賊團が發砲しつゝ襲擊し來り安東警察隊に擊退された、又安東七道溝にも二十六日に强盜事件あり、五龍背附近の部落では匪賊のため十六名人質となりたる等安東、鳳凰城附近の物情漸く騷然たるものあり、安東附近二、三里位のところに匪賊團各所に出沒し附近部落で掠奪しつゝあり、日滿軍警は嚴警中【安東電話】

郵便局を開く

東邊道各地の郵便局は匪賊の跳梁により久しく閉鎖されてゐたが日滿兩國軍の討伐により漸次平靜に歸しつゝあるので奉天郵政管理局は十一月早々東邊道各地の郵便局を回復することゝなり郵務員三十名集配人六、七十名を募集し各地に配屬するべく準備中である【奉天電話】

拉去邦人救出 正義團の手に

過日天下好の一味に出漁中を拉致された幸神丸乘組員はその後盤山の奧深く拉致されてゐたが盤山附近において荒川喜太、天財德の兩人は滿洲正義團の手によつて救出された、尚殘るは船長荒木外日本人一名、鮮人一名である

瀋海警備擴充

瀋海鐵路局は同線の全通を機會に今後の匪賊襲擊に備ふるため新たに護路警察二百名を增加して警備を擴充することゝなつた【奉天電話】

逃げ足の早い兵匪を騎兵で掃討

到る處壯烈な白兵戰

【藤井特派員發】今回の東邊道討伐は匪賊が皇軍來ると聞くや直に風の如く山中に逃げ去るのでわが歩兵の足では逃足早い彼等に追つ付かず、今次の各戰鬪は殆ど騎兵の獨り舞臺であつた

◇

十三日午前十時わが服部部隊の尖兵が愈々

新濱 に入らんとした時であつた、先頭が縣城内に迫つた時突如右手約三百米の山腹より潜伏せる敵の猛烈なる一齊射擊を浴せられた、わが部隊の附近には掩護物もない危險!直に傳騎は後方本部に飛ばされた、間もなく高橋隊長の率ゐる騎兵隊は砂塵を蹴立て、疾驅、敵を追ふて山中に入り野砲の掩護射擊の下に新濱東方山中關家堡子に敵約六百の大刀會匪紅槍會匪を追詰め蹴散らし追ひ散らして軍刀を振り翳して斬りまくつた、遂に夕暗にまぎれ敗兵は四散、山中に逃亡したが附近は累々たる敵屍三十、青龍刀

紅房 のついた槍が無數に散亂してゐた、この敵匪は當日朝九時半まで新濱にゐた遼寧民衆自衛軍第六路司令李春潤が指揮してゐたものであつた、この戰鬪においてわが騎兵大畑軍曹、高橋上等兵は戰死、大桃中尉は左腕貫通、島田一等兵は兩腕、腹部その他に七彈を受け負傷した

◇

十五日服部部隊が頭道溝を出發行軍を續け午前十一時密林の山路に差つた時であつた、右方密林中に敵ありと傳騎の連絡により直に騎兵部隊

突擊 山中羅子溝といふ小地點に松村少尉の率ゐる十三騎は敵正規兵三十か匪三十を發見した、良き敵ござんなれと、十三勇士は乘馬追擊、逃げる敵を斬りまくつた、松村少尉敵三人を斬り武勇を示せば從ふ部下もこれに負けず遂に軍刀にて斬り殺したゞけでも八人を數へた、この時逃げる敵は刀を抱へてたゞ夢中に首を伸ばして後も見ず一目散に走つてゐるので實に斬り良かつたとは松村部隊十三勇士の思ひ出談だ、山中に馬を走らして斬り結ぶなど匪賊相手の戰鬪は相當時代がかつてゐる

◇

○○を出發し海龍より通化に向つた高波騎兵部隊は十五日通化に

入城 したが、この部隊が十日朝十時海龍南方八里の地點にて架橋工事中突然現場に敵匪四十餘名が襲つて來た、餘り間近に現はれたので兵隊は物の蔭に立たず現場に監視してゐた後見隊長以下軍刀で渡り合つての白兵戰だ、司令部も間近で高波將軍の身邊にも敵彈雨霰の如く飛來する、山田參謀は拳銃を以て應戰するといふ有樣、間もなく敵は潰滅し味方は損傷を受けなかつたが今回の東邊道討伐は從來の平野戰と異なり山中の戰鬪だけに到る處白兵戰が現出した(寫眞は掃匪中の騎兵隊廿一日通化にて)

軍司令部の新京移轉

悲壯な決意で待機の姿勢

阪谷廳長慌しく 軍司令部と交渉戰展開

二十五日の先發隊をトップに關東軍司令部と全權府の移轉は愈々開始された、さすが奉天第一の大世帶だけになみ大ていなことではない、これがため奉天での

軍部を 取まく最後の慌しさがこゝ數日異常な高度の緊張味に張り切る、早くも軍司令部、全權事務所ではお引越の整理と荷作りでテンテコ舞の忙しさだタイピスト嬢がたつた一臺のタイプライターのかた付けにオドオドしてゐたり、大切な書類のしまひ所で判らなくて頭もフラフラに一枚の書類を探し求めてゐる屋員の姿など引越ナンセンス劇がそこここに展開される、奉天事務所の鐵道課では既に何時なりと軍部から

指令の あり次第、一せいに荷物の搬出が出來るやう萬端の準備を整へ待機の姿勢でその日にかまへてゐる、御本尊の移轉本部にも劣らぬテンテコ舞ひの忙しさに追はれる驛の貨物係と小荷物係である一晩二晩は寢ない覺悟ですと皆んな悲壯な決意を示してゐる、軍司令部前のヤマトホテルは司令部移轉を前にこゝもまたそぞろ秋のいそがしさに

大混雜 だ、二十五日の各部屋は何れも滿員、八十四名でビッシリだ、後から後からとひつきりなしの申込みにその斷りだけでも氣ぜはしい、奉天での最後の司令部を訪れる人達がドッとこゝへなだれ込んで來るのだ、二十五日朝は新京からわざわざ阪谷總務廳長が何事かあわたゞしく來奉これもヤマトホテルに消える、そしてホテルを根城に軍司令部と盛に交渉戰を展開してゐる金璧東氏もヒョッコリヤマト

ホテル に姿を現はす、その他大學教授、滿洲國要人、政治家、滿鐵社員、官吏、會社員、事業家、建築師、外人等々が何れも慌たゞしく司令部とヤマトホテルの最短距離を輻湊してゐる、昨日も今日もこの慌しさのうちに諸機關は日一日と移轉して行く、かくて約一年餘に亘つて全滿、いや全世界の政治的

動向の (ヘゲモニー)を握つてゐた奉天も今やこゝ數日を以てその重大な使命を終らうとしてゐるのだ

滿洲航空會社の定期航空路

十一月三日より開業

【東京二十六日發】日滿の空を結ぶ滿洲航空會社は愈々十一月三日から開業、日本空輸會社定期旅客機と新義州で連絡し奉天、新京、ハルビン、チチハル間に處女定期航空路を實施する事となつたが一週六往復とし日曜は休み一日一往復であるが右實施の曉は東京、チチハル間を僅二十一時間に短縮される、尚滿洲國は未だ匪賊の跳梁絶へぬ爲め各旅客機は旋回式機關銃で武裝し萬一の場合に備へる事になつたが旅客機の武裝は世界に類のない事である

すばらしい! 日本の『モミヂ』

旅大見物に來た ムツソリーニ首相令孃

世界を風靡せんとするファシズム"の潮流は日毎にさかんになりムツソリニ氏の名は世界人の常識的な存在となつたが同氏の愛孃で一九三〇年新婚と共に夫君の勸め先たる上海に渡つたエダ・チアノ夫人は、秋の日本を探るべく全く觀光を目的に去る十四日上海を出帆、東京、京都と紅葉の日本を隈なく見物し上海への歸路、汽船カルデラナ號で來連した、沖迄出迎へるゲエリ孃等が小蒸汽に向つて「バンザイ」と覺へたての日本語で朗かに叫びかける、船中刺を通じると廣いひたい、澄んだ大きなひとみイエスノウをはつきりした態度何處やらに父君ムツソリニ氏の面影が宿されてゐる「簡單にお話しませう」とやさしく前提し乍ら語る

◇…目的は觀光ですわ二年前に夫が上海に公使として駐在してゐるのではるばる極東に渡つたんです、日本には二度目、昨年雲仙に行きました、その懷しい思出が忘れられないので又秋のモミヂを見に行つたんです、大連は初めてゞすが旅大を見物して二十七日の夜出帆歸滬の豫定になつてます、私の日本女性觀をですつて?よくまだおつき合ひはしませんが東洋的な深い女性美を愛します、餘りよく知らないが好い印象を殘してゐます、上海事件の時に上海に居りましたが仲々大變でしたわ、滿洲事件?私に政治は解らない全然違ふ仕事をしてゐるのだからこの點についてはお答へは出來ない何と云つてもお國は伊太利によく似たところを多分に持つてますわ、父からは最近非常に健康だといふ好いニウスを得ました【寫眞はエダ、チアノ夫人】

目標は十四の娘

旅順の慘劇

旅順乃木町植松方の慘劇は世間は二女ヤス子が同町カフエーミハラシに女給を勤めてゐる關係から同女と犯人との痴情關係に絡まつて兇行が演ぜられたものと想像してゐたがこの想像は見事根底から覆されて意外にもヤス子との關係でなく三女サダ子(一四)のふしだらな行爲からこの兇行をみるに至つたものである

犯人は三等兵曹

慘虐極まる犯人は本年八月佐世保より來旅せる三等兵曹須堯廣志(二七)と呼ぶ者で兇行に使用した拳銃は旅順無線電信所警備室より午前三時頃窃取せる南部式八連發である

小谷、吉田兩氏歡迎會

廿六日食堂で

滿鐵運動會並に滿洲柔道有段者會主催の滿鐵小谷澄之早苗高等小學校吉田四一兩氏の歸連歡迎會は二十六日午後六時より滿鐵社員倶樂部食堂に於て有賀學務課長武田地方部人事係主任、由良運動會幹事高野範士、伊佐錦氏、滿洲體協主事林田學氏大連實業團安藤忍氏その他在連著名柔劍道家及び各校武道教師運動關係者三十餘名出席の上開催吉原有段者會幹事歡迎の辭を述べこれに對し小谷澄之氏謝辭を述べ小谷澄之吉田四一兩氏の大會出場の苦心談あり武者修行談に花を咲かせて午後八時和氣藹々裡に閉會した

大磯心中を眞似て

毒死女の身許

二十六日星ケ浦黑石礁半島にて服毒自殺を企てた女の身許についてはその後沙河口署にて調査の結果、沙河口仲町六四岡時雄(二七)=假名=東京市小石川區生れ妻しづ子(二四)と判明直に夫を呼出し引渡したが午後二時半沙河口分院より同譽醫院に移し手當を續けてゐるが同女は東京某高等女學校出身文學に秀でゝ居り昭和三年時雄と結婚して以來夫婦仲も良く暮らしてゐたが最近ヒステリー氣味となり殊に大磯心中には相當刺戟を受けてゐた上に他方家庭にも複雜な事情もあるらしく遂に厭世の結果この擧に出でたものである

慶應勝つ

【東京二十七日發】慶明第二回戰は本日午後二時慶應先攻にて開始されたが明治振はず遂に得點なく二對零で慶應勝つ閉戰午後四時、スコアー左の如し

回	一二三	四五六	七八九	
慶	010	000	010	2
明	000	000	000	0

市電調停委員會

【東京二十七日發】東京市電爭議强制調停委員會の從業員側調停委員は廿六日井口清之、加納平治、山下卯三郎三名に決定した、廿七日第三者たる委員の選定終了を俟つて直に調停委員會の開催となる豫定である

大連醫學會

二十八日午後三時より大連醫院において例會を催し左の報告あるはず

一、無腦兒の分娩實驗三例に就て 齋藤賢吉君

二、核酸代謝の實驗的研究 第一報告 牧野堅君

三、單純性子宮腟部糜爛症に及ぼす「ラヂウム」線の影響に就て 佐々木守夫君

安樂椅子

目下來連中のムツソリニ令孃エダ・チアノ夫人は「父は世界から嚴めしい老人のやうに思はれてゐますが家庭的にはそれは優しいお父さんです」と語つてゐるが令孃は目の中に入れる程の可愛がり方だつたそうである

◇

それは四人姉弟のうち女は令孃一人であつたせいもあるが令孃がムツソリニの亡き母の面影に生うつしといふので一入愛が深かつたと言はれてゐる。

◇

ムツソリニが慈母を失つたのは彼の嵐のやうな受難時代、瑞西の浮浪生活から追放されて歸國した二十一歳の時であるがその時の彼の落膽振りはひどいもので自らもまた病床に倒れたくらゐだつたさうだ

◇

鐵のやうな意志と燃えるやうな鬪爭力を持つてゐる彼が一面沈默と思はれる程思索的な性質があるのは母の悲しい死がさうさせたとさへも言はれてゐる――悲しい契機の反面である。

海と空と (10)

高杉晋一郎作　橋本清史畫

歸郷（十）

背後から呼ばれたので暢が顔を振向けると、少し高くなつた砂丘の上に翁山が立つてゐた。

「あゝ光彌さん……一人で？」

「もち」

その「もち」を皮肉に云つて、翁山はにやにや笑ひながら降りて來た。「お揃ひの所をお邪魔しますかね」ぐらゐの露骨な揶揄を云ひ兼ねない光彌なので、暢はどぎまぎしてゐた。

翁山は無遠慮に瑞枝の方をじろじろ見ながら

「いい景色だね」

と云つた。此の位で濟んだのを暢はほつと思つた。

「美ちやんは？」

新客を無邪氣に喜んだ百合が横から訊ねた。

「美坊は家で寢てるよ、風邪をひいて」

さう云つて翁山は、指で一寸大きな眼鏡の位置を直してから「どうだい？ン」と、百合のお河童を上からくしやくしやと小突廻した。

「うん、相變らずさ」

「いゝ景色だね」

百合が飄輕に肩を怒らせて、見得を切つたので、瑞枝が眞先にぷつと笑つた。その笑ひの中で、瑞枝と翁山は顔を合して、一寸目禮した。初對面だつた。

暢はそれに氣附いて紹介した。

「これ從兄の翁山です……こちらは杉田君の妹さん、杉田君知つてたでせう、家で二三度逢つた……」

「あゝ」

それが癖の、光彌は右手の兩指で一寸眼鏡を揺上げて、又位置を直しながら肯いた。茶の背廣に派手な縞のネクタイ、額の廣い、色の極めて白い、面長な、誰が見ても好男子だつた。

「暫く御無沙汰。伯母さん相變らず？」

「あゝ、有難う。ところで義石はもう歸つたのだらう？挨拶にも來ないつて親父些か不機嫌だよ」

「あゝ彼れ、家でも敬遠してるんですよ」

瑞枝はじつと二人の話を聞いてゐたが、不意に立上つて百合の手を取つた。

「彼方へ行つて蟹を漁りませう」

「まあいいぢやないですか、僕が來たつて遠慮しなくともいいんですよ」

と光彌は瑞枝に聲をかけた。

「いえ、さうぢやないんですの、百合さんが退屈さうだから」

「さう、それぢや僕も一緒に遊ぼう」

さう云つて、光彌は立上ると、瑞枝の脇について、のうのうと右手の岩陰へ行つて了つた。

暢は獨り取殘されて、無意味に砂をまさぐつた。光彌は暢の母方の親戚の總領だが、學生のころから放蕩を續けて家に歸らず、伯父が内地を引拂つて、四五年前大連へ移住して來た時、やつと逃げ廻つてゐた先から連れ戻して、學校も休學同樣になつてゐたのを止めさせ、暢の父の世話で當市の或商事會社に現在勤めてゐるのだつた。年は暢より二つ上の二十九だつたが、まだ妻も定まつてゐなかつた。暢は、三人の行つた岩陰の方を見た。

百合が何か甲高い叫びをあげたと思ふと、岩の陰から光彌の上半身が起上つてその手に大きな蟹が高く持ち上げられてゐた。瑞枝は晴れやかに笑つてゐた。

百合は大聲で暢を呼んで、光彌の持つてゐる蟹の方を指さして見せた。暢は默つて肯いてやつた。すると三人は再び腰を屈めて、岩の陰で見えなくなつて了つた。

時々、百合の大聲にまじつて、瑞枝と光彌の笑聲が聞えて來た。

暢は、立上つて洋服の汚れをはたくと、焦々して洋杖でゴルフの眞似をして、小石を一つ一つ海へ打ち込み始めた。

満壘へ力まかせのホームラン　山海關　佐野　天橋
子供等の綱引へ來て親力み　同　吉田　甲子
力瘤見せて當時を物語り
トツカピンやり場に困る五十坂
病上り風呂で擦つてる力瘤　大連　三谷　一伸
後押しをさせて我子の力を見　大連　藤富　淀月
丸帯へ女意外な力あり
應援の力優勝じて泣かれ
歡留多會指頭に目覺しい力　旅順　生野　扇風
腕相撲二人の力顔に見せ　大連　松川　金枝
廊下だけ歩く力の恢復期　大連　津山貴美子
母親も力を入れる應援歌　大連　大野　正二
銀高は支那ルンペンは力づけ
柔道の猛者も妻には力なし　大連　越智　嵐舟
喧嘩だけいつも勝つてる馬鹿力
力餅先づ男の子に喰べさせる　大連　渡邊　雨明
人力車情けが欲しい汗を出し
日曜の雨を寄宿舍腕相撲
引越して力自慢が居て毀し
未亡人力になるを聞き倦きる
後押へ女房の力ありつたけ　大連　森田　峰男
腕相撲おかしい顔が勝になり　大連　稻岡　雨蚊
金力は善人ばかり押へつけ
金力も腕力もあるたのもしさ
學力がなまさか阻むパンの道
腕角力青筋へ浮く脂汗　小倉　中村士太郎
横綱は力あまつて前へのめ
親善に學童使節の魅力なり　大連　桐生　孔二
兄さんの力に帶の締り過ぎ
女房の力で釘は横に立ち
學力も用をなさない就職難　大連　高橋　竹雪
腕力が時に邪魔する喧嘩なり
瀬戸際になつて全力かけつける

柳壇

『力』　高橋月南選

同　長谷川壽々子
拗ねた子に力負けする弱い母

けふの放送

大連 JQAK　十月二十八日

▲午前六時　ラヂオ體操
▲午後七時　ニュース
▲講話「立正勅額拜戴に就て」日蓮宗管長特派布教師僧正柴田顕秀
▲筑前琵琶「濡衣塚」法位山服部旭舵
▲清元「青海波」淨瑠璃松本市造、三味線清元榮造、上調子淡月幸松
▲俗謠　數曲大槻お葉
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

東京 JOAK　十月廿八日午後六時卅分

▲講演「兵役義務者と經濟的負擔」海軍中將男爵坂本俊篤
▲新内（七時）（名古屋より）「金村屋おさん」疊屋伊八二重帶名古屋結金村屋の段」富士松春太夫
▲ラヂオ風景（七時三十分）「音に聞く美術の秋」無名氏作、演出土岐善麿、演出指揮者眞垣柳永二郎、俳優A村田みれ子、同B西條靜子、同C伊志井寛、放送局員大町山田巳之助、美術批評家坂本村田正雄、美術消息通三田菊波正之助、音樂指揮者福井宮島啓夫、外に小唄、琴、尺八俚謠鳴物等、音樂指揮福田宗吉

第十回 滿日特選碁戰

互先　先番　初段　宮下秀下
初段　坂口常治郎

—【14】—

●二六一ホ五　○二六二チ四　●二六三ト七　○二六四チ十九　●二六五ル十二　○二六六チ九　●二六七ヘ十九　○二六八ツ十一　●二六九ホ十九　黒二目勝

滿洲國日本人官吏が自發的に減俸申出
國家非常時の匡救に努力の意向
關東軍少壯將校も聲援

【新京】門戸開放機會均等を目標に世界の平和樂を目差して一意邁進、三千萬民衆の待望を擔つて東洋の一角に新獨立國家滿洲國が成立するや、世界各國の目は一齊に新國家滿洲の上にそゝがれ、是々非々輿論は喧々囂々として喧しく評壇子は競つて滿洲問題を撰げ、眠りかけんとした世界に一大センセイションをまき起すに至つた、爾來二百三十有餘日、滿洲國に於ては執政溥儀氏を始め鄭國務總理駒井總務長官其の他官民等の必死的、獻身的努力に依り歩一歩其の基礎を確立し、東北三千萬民衆の後援の下に郵政及關稅の接收、航空路の開設と其の業績見るべきものあり、善隣日本の

獨立承認 を得て、今や滿洲國は世界各國に堂々と肩を伍して歩を共にし、人類平和の爲に一意樂土建設にいそしむに至つた、昨秋九月十八日奉天柳條溝の鐵道爆破に端を發し、急遽自衞權の發動となり、暴逆舊軍閥を滿蒙の天地より驅逐し、東北行政委員會を擘援、遂に新國家成立に至るまで友邦として多大の援助をなしまなかつた我日本は、新國家獨立後も門戸開放機會均等の見地より生ぶ聲をあげた新興國に幾多の優良官吏を送り、又財政的に莫大なる援助をなし善隣としての美を發揮する所あり、世界各國の驚々たる非難と又一方嘗議の中に日滿官民の完全なる提攜の下に滿洲國は遂に今日の隆盛を見るに至つたのである現在日本人にして滿洲國官吏となつてゐるものは中央地方を合して相當の數に上り、その明確なる數字を期し得ないが

日本人官吏 の大部分は建國當初より滿洲國の爲に獻身的奉仕的努力に依り、その大多數は高額なる俸給を支給され、加ふるに最近の銀高の影響を受けて喜々として其の業にいそしむを得る狀態になつてをり、民衆の生活は舊政權時代とは比較にならぬ程の裕福さを示してゐるが、一歩目を國外に轉ずれば十二月十四日ジユネーヴに於て決議され、リツトン卿を始め五ケ國代表に依つて組織された聯盟調査委員の最終報告は遂に十月早々世界の檜舞臺に發表され、其の認識不足を遺憾なく暴露したとは云へ、中華民國を始めとして誤れる同情をよせた小國側の策動は樂觀すべからざる狀態を示し、世界各國は再び日滿兩國の行動を極度に制限し、今回の聯盟會議の決議の如何に依つては日滿兩國の前途に

幾多の艱難 なきさえ想像さるゝに難くない形勢にあり、擧國一致この國難に當らざるべからざる時期に到達するに至つた、我が日本に於ては擧國一致齋藤內閣に對する國民の支援はその當初に於ては極度に達し全國民を揚げてこの艱難に當らんとした意氣も、長日月の間にはやゝともすれば龍頭蛇尾に終らんとする氣配が見えるに至つた爲め、關東軍將校有志の中には率先して支給さるゝ俸給の一部を割いて國庫收入の一部となし、國防費として獻金せんとする議も起きて居るが、滿洲國日本人官吏として第一線に立つて健鬪しつゝある滿洲國少壯官吏の中にも之と同樣なる叫びが持上るに至つた、卽ち「現在では徒らに高額なる俸給を支給されて安閑としてゐる季節にあらず、よろしく內地に於ける官吏同樣額まで俸給の切り下げを敢行し、國家の

負擔を輕減 し以て難局にあたるべきである、殊に滿洲國家が行政的財政的に共にその基礎を確立しつゝあるとは云へ地方には未だ匪賊橫行し良民を殺害する等の野蠻なる行爲を敢てなしなるので、之が徹底的討伐にも又滿洲國諸施設にも莫大なる資金を必要としてゐる事は勿論である、然るに我々の俸給制定當時金銀の相場を七十圓臺見當とし俸給額を決定されたもので其の後日本の金輸出再禁止等の材料に依り金は下落につぐ下落を以てし、最近は九十五圓臺を上下するに至つたのであるが、反對に銀を以て俸給を支給せられてゐる者は一躍百圓につき二十餘圓の昇給をなしたも同然である、然るに世界的にまで擴大されたる不景氣は所きらはずその勢ひをのばし來り內地に於ても

中小資本家 は完全に之が波紋の中にまきこまれ悲鳴を揚げるに至つたが、彼等以上にドン底にまでもおしやられ生活苦に喘いでゐる勤勞階級の數は物凄い數に上り、內閣に於ては打開策としてあらゆる方法を講じてゐるが何等その曙光を見るに至らず、頑强なる不景氣の嵐は何時消ゆるべくも計り知れず日本は經濟的に破綻するに非ずやとの危惧の念を抱かしむるに至つた、又一方滿洲國政府日本人官吏の俸給高額なる爲め一般民の中には羨望の餘り政府當局者の人事行政に非難をあびせかけ、或は官吏無能の叫びをあげる等之等は單に減俸實施によつて幾分かんわされるわけで、我等は到底現狀にあまんじて便々としてゐるにしのびず、俸給制定當時の換算金額を支給すれば現在の如き多數官吏からの

減俸に依て 得られる餘財だけでも相當の額に上り、幾分なりとも財政的に餘裕を生じ諸事業經費の一部ともなり得べく小の虫を殺して大の虫を生かすの擧に出でざるべからず、と唱えるものが生ずるに至り、相當の反響を捲き起し漸次一般日本人官吏にも波及せんとする形勢を示して居り、一般からは好感をもたれてゐるがはたして政府當局が如何なる處置に出るかゞ非常に注目されるに至つた

遼陽競馬 廿八日から

【遼陽】遼陽競馬大會は天候に災されて開催日を延期して居たが愈々秋晴れの好天氣となり準備も進んだので二十八日から向ふ六日間忠魂碑南飛行場東側に於て毎日午前十時から開催のことに決定し馬匹も鞍山奉天市中からと出場決定せる爲めフアンは本年掉尾の競馬會と云ふ事で少からず期待して居ると

金州保險勸誘

【金州】金州郵便局では本月九日より局長以下總動員を以て簡易保險加入の勸誘に大童となつてゐたが其の結果成人百十五件一ケ月保險料八十五圓六十錢保險契約高一萬七千四百八十六圓三十圓小人四十五件一ケ月保險料三十四圓保險契約高七千三十九圓と言ふ素晴らしい好成績を收めた

各皇族よりの御下賜品 將兵一同感激

【吉林】畏れ多くも我が聖上陛下には今回の滿洲事變に對し各方面に亙る有難き御思召より數度となく御下賜金及び御下賜品を賜りて一般臣民は此の陛下の御仁慈に感泣しつゝ有る事は一般周知の如くであるが今回皇族各殿下には在滿將士の勞苦を御察し遊ばされ關東軍宛御下賜品の御沙汰があり二十四日當地駐在軍及び憲兵隊一同にも各々分配され上下一同齊く感激してゐる

列車顚覆事件連累者を逮捕 吉林徘徊中の滿洲人三名

【吉林】九月初旬吉長線哈達灣附近に於て列車襲擊顚覆をなせし犯人一味は過日我が吉林憲兵分隊の手に檢擧、取調べも終了し一部記事解禁揭載したが吉林領事警察署の一署員は最近右犯人の連累者潛伏あるを探知し、去る二十二日午前十時頃吉林棋盤街附近徘徊中擧動不審の滿洲國人を認め直に誰何本署に連行取調べの結果、右は李世英、灌福、郭墨臣と名乘る三名にて右事件に關係あるものゝ如く二十四日參考書類と共に身柄は三名共憲兵隊に引渡し目下嚴重取調中である

新京警察署 一大改增築 來春解氷期を待つて

【新京】新京警察署では事變前も既に廳舍の狹隘を感じ執務上少からぬ不便を見てゐたが、全權府及軍司令部の新京移駐に伴つて警察も當然擴張の急務に迫られることゝなり、益々警察機能の發揮に支障を來するわけだから、來春解氷期を待つて一大改增築を行ふことゝなつた、新廳舍は首都新京にふさはしい堂々たるものを設計される模樣である、尙關東廳新京出張所長日下內務局長も改增築に關する下檢分をなすところがあつた

寒と飢とで田霖一味の窮迫 犬を殺し、小豚を狩る慘狀

【吉林】吉敦沿線に其の暴威を逞しうしつゝある田霖一味の匪賊は過般歸順條件の不服より今だ以前に變らず、過日我が皇軍松平部隊の急激なる討伐を受けて負傷せるものゝ如くであるが、各所に四散する匪賊の群は追迫る嚴寒と降雪になやまされて食糧の缺乏、武器の不足、衣服の皆無に未だ夏衣服のまゝ降雪の期に入る今日冬服もなく喰ふに食なく寢るに家なく附近の農家を占領して一枚のせんべいぶとんに五、六名づゝ雜魚寢して、犬を殺し豚の肉をあさりて漸く露命をつなぎ、甚だしい時は二尺位の小豚を捕へて餌にするが如き慘憺を示し、さしもの匪賊達も寒と飢とに意氣悄沈し狼狽の模樣であるが、各所に歸順匪賊の續出せる今日彼れらも遠からず降伏か潰滅の外ないものと觀られてゐる

幽靈郵便物 奉天一日五百餘通

【奉天】奉天郵便局にては八、九月の二ケ月中に取扱つた配達又は送付不能の幽靈郵便が五百三十二通の多數に上りその取扱ひには非常に手古摺らされてゐる、右は何れも差出人の不注意による住所氏名の記載不完全からでこれがため折角差出した郵便物は先方に屆かず送り返さうには返されずこの取扱ひには郵便局でも非常な迷惑を蒙つてゐる、又料金未納の郵便物も一日平均二百六十三通、一ケ月約八千通の多きに達し局側に少からぬ手數を掛けてゐる、これは重量の超過による不足と關東州外相互間及び滿洲、支那內地宛の書狀四錢に對し普通內地料金の三錢を貼付するからである、又低料郵便物例へば無封書狀及び第四種の如き開封郵便物の通信文を加筆し料金不足となり或は新聞、雜誌等に外の印刷物を合送し料金の超過を受けたり無効切手貼付又は全然切手の貼付のないものもあると

本溪協和會 目覺ましい活躍 到る處に宣傳の効果

【本溪湖】常に協和運動のトツプに立つて活躍を續けて來た本溪協和會は、今回の東邊道大討伐を機として縣下の工作を行ふべく神、小原、桐田、張、傅の五宣撫員を遠く城廠、蔡馬集方面の奧地へ特派したが、旬日に亙る難行にもめげず一行は大元氣でこのほど歸溪した

右の宣撫班は終始小島本溪縣參事一行と行を共にして縣政府側と協力し、到る處に宣撫の効果を十分に收めて住民を安堵せしめ、就中草河城、双岔子、賽馬集、城廠の五箇所には分會を設ける等、第一線に立つ平和の使者としての使命を遺憾なく發揮した

一方本溪湖に留まつた野原宣撫員は連日の如く溪城鐵路沿線及び牛心臺炭坑奧地方面へ出張して工作に從事し、守備隊の好意による施療班を組織しては鮮民の施療に盡し、遂に十月廿五日正午より牛心臺驛頭に於て盛大なる分會發會式を擧げるに至つたが、當日は在溪日滿各方面からの參列者多數で實に有意義な會合であつた

更に廿五日早朝本溪湖を出發して小市方面に進擊せる日滿聯合討匪軍にも從軍して今日まで匪賊の巢窟たりし同方面の工作に從事すべく五名の工作員が勇躍して出發したが、いづれ多大の收穫を得て歸來するものと期待されてゐる

斯くて皇軍の活躍によつて匪賊の縣が薄くなるにつれて、協和會の運動も一段と目覺ましくなり、縣下到る處に新國家謳歌の聲の溢るる日の來るのも近いことであらう

四平街に朝强盜 現金を奪つて逃走後 一味五名逮捕さる

【四平街】秋寒の朝まだき靜かな帷を破つて强盜騷ぎがあつた――二十五日午前六時三十分頃當地鐵道東東雲街三丁目三番地糧棧並に宿屋營業天興榮事劉品三方に三人連れで滿洲人客を裝ふて入り來り折柄店頭に居合せた店員劉拜東、萬助の兩名が應待すると其の內の一名は矢庭にポケツトから小型な拳銃を取り出して兩名の面前に擬し蹲坐臥地を命ずると共に素早く電話線を切斷し他の二名が入口土間に於て外部見張の位置に就くや拳銃所持の怪漢は劉に對し金庫の鍵の提出を求め劉が恐る〳〵机上に夫を渡すとせゝら笑つて金庫を開扉し現大洋票二〇〇元、奉天票百圓札百枚、十圓札二百枚、大洋票一圓札六十枚、十錢札百枚合計金五百十圓也を强奪し悠々東雲街より滿鐵街を東方に向け逃走した屆出に接した警察署では直ちに滿洲國官憲に手配して完全なる非常線を構成し外部への遁走を防ぐと共に吉田司法主任以下六名の刑事團並に共榮大街派出所員が急遽被害場所に出動し犯人の人相等を訊問し逃走せる方向を追跡搜査したが同日午前十時頃南市場附近に五人連れで潛伏してゐるのを發見、格鬪の末一網打盡に逮捕し目下本署に於て取調中であるが

此奴等は山東省廣樂縣杜家疃生れ高見山(二四)河北省武邑縣駱泊店生れ駱海峰(二三)山東省印墨縣本街生れ袁志三(二七)河北省昌黎縣莊頭生れ都從發(二九)河北省獻津縣大袁家生れ劉慶祿(二七)にて高見山が頭目として萬事采配を振り駱海峰、都從發、袁志三の三名が劉慶祿の手引で兇行を演じたものであると

不幸な女の法要を執行

【奉天】國際結婚なるが故の世間の不人情に泣く外人の人妻として當時紙上に報道された市內八幡町五番地ポーランド人ベツケルの妻鈴木愛子は夫君の死後一週間を經ずして夫の後を追ふた、殘された三歲になるメリーは、ハルビンの某外人の手によつて育てられることになつたところ今回元聯合會長老根岸卯太郎氏はベツケル夫婦及び子供三人の遺骨を奉天西共同墓地に埋葬し記念碑を建立したので來る十一月一日午後三時から法要を營む由

筑前琵琶 潰滅
關東軍參謀 臼田少佐作

歌詞(つゞき)

跡くとも敵はしらま弓
引く力さへ衰へて
八百餘りおろかにも
吾が陣地の眞正面に
近づき來る笑止さよ
七百、五百はや二百
時こそ來れと打ち放つ
富澤大尉の機關銃
アツト驚く暇もなく
敵兵は地にのた打ちて
阿鼻叫喚の其狀は
手にとる如く見えにけり
殘餘の敵は周章て
殿營を後に立て直し
己れ先にと逃げ急ぐ

敵の縱隊の橫合ひより
ドツト叫んで射ち出す
江澤大尉の伏兵に
敵勢全く潰亂し、
たゞ蜘蛛の子を散らすごと
右往左往に逃げ惑ふ
やらじと放つ步兵砲
機關銃の疾風射
退路は茲に谷まりて
銃火の中に泥に染み
敵なく潰えし醜草の
枯れ行く樣ぞ果敢なけれ
あゝ此の戰の戰ひに
吾は一兵も傷かず
敵兵死するもの三百人
馬を遺棄する二百餘騎
我が騎兵の士氣益々揚る

息つくひまもあらばこそ
再びうつる追擊戰
安古鎭の大濕地
抵抗ふ敵を蹴散らして
追ひ擊て地の極みまで
河を涉れば又濕地
濕地越ゆれば又や河
馬仆るれば抱き上げ
人疲るれば馬勇み
轍の跡にたまりたる
水を含みて追跡す
三日二夜を食もなく
雨降り叩く鐵兜
進めば暗き密林や
群がり襲ふ蚋よ蚊よ
巨木は路に橫はり
兵馬幾度顚きて
木下の闇は死魔の巢
呪ひの鬼火消え果て
夜更けに迷ふ路もなし
三更、四更、夜沈々
白露靜さて焚く篝火

將士の面を照せども
たのむ煙草も濡れ果てゝ
飢え迫る夜の寒さかな
隊長心に思ふ樣
日夜を追ひ追擊に
兵馬は既に病み疲れ
飢寒交々迫れども
勝利の決は此處にあり
吾飢ゆる時敵も飢ゆ
此の機に迫り擊たずむば
長蛇を逸する悔ひあらむ
鬪し心を鬼にして
命の限り追擊せむ
「劍太刀いよゝ硏ぐへし古ゆ
清けく負ひて來にし其名ぞ」
果せる哉や連日の
疲れと雨に日軍も
よもやと想ふ油斷こそ
敵の運命の極みなれ
鬱蒼の夢の圓かなる
此處山中の一軒家
東の空白む時

狐火はそゝぐ敵の陣
驚き狂ふひまもなく
伏屍累々鮮血は
草生を染めて腥さし
家屋に據りし敵兵は
尙も頑强に抵抗し
味方の兵の傷付くを
見るより富岡上等兵
何を小癪と叫ぶ間も
遲しと手にとる手榴彈
敵の前面に躍り出で
まづ一彈を擲てば
爆音高くこだまして
機關銃も敵兵も
木ツ端微塵と碎け飛ぶ
續いて一彈又一彈
三彈池は擲けうちて
一彈敵を斃せども
鐵石ならぬ現し身は
脚に胸部に又腕に
四彈は腹を貫きて
勇猛無双の富岡も

已に最後と見えけるが
死すとも死せぬ魂は
いまはの際に日の本の
益荒猛夫は流石にも
無意識の裡第四彈
投げむとしつゝ息絶えぬ
實にや肉彈の一勇士
昇萬歲の聲高く
死して譽を興安の
嶺永へに留めけり
嗚呼きのふ花ば
北滿の野に出沒し
吾皇軍を惱ませし
彼れ草澤の兵匪輩
山の峽間に草偃ふ
秋の野鞍と消えにけり
一死君國に報いんと
吾丈夫の行くところ
黑龍の水、興安の峰
千草高木鳴りふるひ
靡かぬものこそ無かりけり
靡かぬものこそ無かりけり

祝大滿洲國承認

1.000瓩 アスファルト プラント

アサヒビール

本社 東京
大日本ビール株式會社
支店所在地 大阪、名古屋、札幌、福岡
工場所在地 札幌、目黒、吾妻橋、名古屋
吹田、博多、青島

サッポロビール

國難日本刀（137）

高桑義生作　京極佳夕畫

浪士團と彼（七）

珊吉が捕へたのは、案外乳くさい小娘だつた。

小娘は、その時大げさな悲鳴をあげたのだ。そして小鳥のやうに身をもがいて、

「あれ、嫌だよ、何をするんだよ」

「なんだ、何處へ行くのだ？」

珊吉は妙な當惑を感じながらいつた。

「おほきにお世話ぢやないか。お放しつたら、お放しよ」

氣強く反抗する。

よく見ると、眼のすゞしい、鼻のたかい、とゝのつた顔立で、氣性の强さうな、美しい娘だつた。年のわりに發達した肉體、新鮮な魚のやうに潑剌とした感じがあつた。

珊吉は、解すべからざる氣おくれを感じた。が、

「いけれえ。むやみに入つて來てはなたす、

「とにかく歸かう。何處へ行く」

「いやだれえ。間宮さんの處へさ」

早口に、口をまげて、ひどく色ツぽい仕草だつた。

珊吉は苦虫をかんで、

「フム、だが、今はいけれえ。歸んな……」

その時、屋内から當の間宮一が出て來た。

「あツ、間宮さん……」

と小娘は飛び立つばかりだつた。

「お梅坊か」

「ほんたうに、いけ好かないつたら、ありやあしない」

小娘は、珊吉を尻目にかけて、間宮の方に近づいた。勝誇つた態度だつた。珊吉は、小憎らしいませた樣子だつた。

「困るな、こんな處へやつて來ては」

と間宮はいつた。

「怒つたの」

珊吉はさつさと退場した。

間宮はお梅を抱きしめた。

珊吉は興味もなささうに、ぶらぶら歩きながら、

（ちツ、いたづら娘、何てえませた小娘だ）

彼はふとお加代を思ひ合せた。娘も（昔はかうぢやなかつたな。……女の氣持も、時世時節で變つたものだ。何てあつかましい、いけ圖々しい、十六や七の小娘のする事か。この頃の娘は向うから押しかけて來る。多分不動前の茶屋の娘といふのが、あれだらう）

間宮とお梅は、抱き合ふやうにもつれながら、杉の木立の闇にかくれた。

珊吉はわびしい氣持で、空の星を仰いでゐると、黒船滯次が呼んでゐた。

ば——こゝはお詣りに來る人の入る處ぢやれえ。第一、今時分こんな處をうろつき歩くなんて——いつたいお前は何處の者だ？」

「をかしな人だよ。あたしは何もお詣りに來たんぢやないんだからこゝへ用があつて來たのだよ。お前こそ何だい？

あれ、放しておくれよ。何をするのさ。氣味が惡いつたらありやしない」

高慢な口、生意氣な物言ひ、そして挑發的な身體。

珊吉は負けた。苦笑ひをして、はなしたが、しかし、警戒の眼をはなさなかつた。

「だつて……」

お梅は體をくねらして、袂をかんだ。

「あれほど固くいつたぢやないか」

「でも、逢ひたくつて……」

「困るなあ」

「いいでせう」

お梅は寄り添つて、間宮の體に手をかけて、

「あたし、意地にも我慢にもじつとしてゐられなかつたんですもの御免なさい。堪忍してれ」

「……」

バラ〳〵事件 忽ち三社競映

前代未聞の怪犯罪として世人の視聽を集めた寺島バラ〳〵事件の全貌は單に慘虐グロテスクのみならず美しい人間愛と、愛慾變轉の呪はしい關係等、立派に一篇の大衆小說的要素を有してゐるところから、忽ち日活、松竹、河合の三社で映畫化され同事件の豫審前後を機とし競映される事に決定した。即ち

▲松竹 奇しき人間愛「殘されたお菊ちやん」（脚色、伊藤冴、野村浩將監督、澤蘭子、岩田祐吉、結城一郎、齋藤達雄、小林十九二、市村美津子、新井淳、二葉かほる共演）

▲日活 宿命哀話「涙の一擊」（熊谷久虎監督、沖悅二、高津愛子主演）

▲河合 人生悲劇「呪ひの鋸」（小澤得二監督、松村光夫、琴糸路片桐敏朗、飯田英二主演）

噂話

「プレジヤンの船唄」は洒落た面白いフランス映畫の味が果然ファンの興味をそゝり▲それに協和會館で上映されぬといふので俄然インテリ・ファンを吸集して華やかに賑はつてゐるが▲その影響が忽ち明菓の喫茶店に現はれ、明菓が帝國館のお客のバロメーターになつてゐるのは面白い▲バラ〳〵事件が三社競映となつたトタンにけふ新興から涙の一擊「人を殺したが」のスチールが到着

『プレジヤンの船唄』觀賞 本紙讀者優待映畫會

二十五日から帝國館で上映中

後援　滿洲日報社

「プレジヤンの船唄」讀者優待割引券

この券持參者に限り　階上五十錢階下四十錢

後援　滿洲日報社

「プレジヤンの船唄」讀者優待割引券

この券持參者に限り　階上五十錢階下四十錢

後援　滿洲日報社

撫順炭のハルビン卸値 金安で約一割値上げ
運賃高で矢張り赤字

撫順炭のハルビン販賣は銀高に伴ふ東支運賃の實質的値上げにより著るしく不利となつてゐたので、滿鐵商事部では賣價改正につき調査中であつたが、十月二十三日以來左のごとく卸値の値上げを行つた

	新單價	値上額
	圓	圓
塊炭	一四、〇〇	一、六〇
中塊	一四、〇〇	一、八〇
切込	一二、〇〇	〇、六〇

これに基いてハルビン市中賣りは塊炭十五圓三十錢、中塊同上、切込十三圓卅二錢と夫々値上げされたが、嚴冬の需要期を控へてゐるので市中より相當非難の聲が揚げられてゐる、しかしこれに對し滿鐵商事部當局は左のごとく説明してゐる

元來、撫順炭を北滿まで持つて行つて賣つては赤字を出すのだが、金圓下落の結果、東支運賃は從來の五圓から丁度倍の十圓となつた、故に今後の程度の値上げでは依然たる赤字である、今少し早く發表したいと思つてゐたが、爲替の安定したところを大體見當つければならぬので遲れただけで、決して獨占した力らさて値上げしたわけではない

今年の需要 十八萬噸

ハルビン管區における昨年度の石炭販賣高は

鶴立崗	一五萬噸
穆陵	一二萬噸
撫順	一一萬噸
計	三八萬噸

で撫順炭は最下位にあつたが今年は穆陵炭は東部線の匪害で殆ど入らず、鶴立崗炭はストック七・八萬噸があるのみで工場方面の需要減を見越すも、撫順炭は七年度中に十八萬噸を賣るものと豫想されてゐる、しかして四月より九月末に至る上半期において約五萬噸送つてゐるから下半期には十三萬噸入れる豫定を立てゝゐる、しかしてハルビンは油房および製粉工場の不振の結果、主として家事用塊炭について需要してゐるが、滿鐵は南支向粉炭の不振のため粉炭のストックは多いが塊炭は品がすれの狀態で、目下ハルビンより販賣人の代表が來連して本社商事部と協議中だが、十分需要に應ずる能はず切込炭をもつて代用するものと見られてゐる

南滿各地は値上すまい

支那向けは排日と輸入税賦課を喰ひ、内地向けは制限された撫順炭は、地賣においては競爭炭の減少および銀高により著るしく有利な地位に立つたので、地賣炭價を如何にするかゞ各方面より注目されてゐたが、いよ〳〵ハルビンにおいて六十錢乃至一圓八十錢の値上げをなすことゝなつた、この北滿地賣の値上げは別項のごとく北滿獨特の原因より來たもので、從つて南滿各地においては目下のところ値上げの計畫はないものゝごとくであるが、撫順炭は事變前と異なり獨占的地位にあるので却て炭價決定に困難なる事情にあり、今需要期は結局現在の單價をそのまゝ据置くものと見られてゐる

報復禁止關税で 特産の影響甚大
支那向輸出殆ど停止

南京政府が去る九月廿五日より滿洲國の海關を封鎖すると同時に、大連よりの輸入貨物には輸入税を賦課することになつた結果、滿洲貨物の大連經由支那向輸出は殆ど停止の姿に陷つてゐる、これを滿洲特産物についてみるに主要取引品たる大豆は全輸出額の二割三分、豆粕は二割七分、豆油に至りては七割の大量輸出をみてゐるのであるが、今回の報復的課税によつて大豆は輸入地に於ける從價の一割、豆粕七分五厘、豆油一割二分五厘と殆ど禁止的の高率關税を徴収される結果、當業者は殆ど手も足も出ぬ有樣である右關税改正後の十月二十四日現在の調査による十圓の支那向大連輸出貨物の實情をみるに、豆粕は僅かに一噸に過ぎず、豆油も天津向である、次に最大の取引品として喜ばるべき豆油の如きも二百二十七噸あり、大豆にあつては香港向約定品が千六百六十噸あつたのみである、即ち支那の報復的禁止關税實施による支那向大連輸出に及ぼす影響は右の如きもので、輸入地從價税の賦課が愈々明瞭となるに從ひ、益々輸出の減退をみるに非ずやと豫期されてゐる、今前年十月の支那向大連輸出數量を各品別に示せば左の如し（單位噸）

	本年十月	昨年十月
大豆	一、六六〇	一六、二〇四
豆粕	一	三、六八三
豆油	二二七	五、二七一

滿洲側豆粕の檢査方を依頼
遼陽特産組合から

混保粕の斤量不足問題發生により當地の油房側並に輸出商側では大連粕の信用保持の上から今後混保粕の斤量檢査を嚴重ならしめ含有水分檢査の結果、不足を來す懸念あるものは之れを不合格品とすべし等の議が纏まりつゝあるが、遼陽特産物商組合は同地滿洲國側油坊の生産にかゝる豆粕が斤量不足のため大連に於て不合格品となるが如きことあつては取引の支障を來す故、遼陽縣長にこれが檢査を致すべきよう滿鐵遼陽驛長に依頼されたしと滿洲重要物産組合に照會してきた、就て同組合では全滿に統一された組合ならばいざ知らず、遼陽特産物商組合とは何等關係がなく地元の事故直接交渉すべき筋合のものであるとしてその旨回答する模樣である

低資融通は多分實現しやう
西山財務部長離京談

【東京特電二十六日發】西山財務部長、田村前大連商議副會頭は二十六日夜九時二十五分發急行で西下歸任の途についたが左の如く語る

在滿中小商工業者に對する低利資金融通問題については上京以來大いに努力し、最近に至りようやく見込みがついたので取りあへず歸任することになつた、差し當り金融組合、輸入組合の五百萬圓については此の次の委員會にかけて決定することになり遲くも年内に定まることゝ考へて居る、又不動産の一千五百萬圓の方は融資保證に關する規定を造りその上で政府の豫算外國庫の負擔さする契約について議會の承認を經て資金の融通を實行する段取りとなることになつた、田村君は庵谷君の歸つた後、非常に熱心に大藏省や拓務省に意見を陳情し在滿同志のために活躍された、自分はこれから歸任の上來年度の豫算を纏めて武部長官の決裁を仰ぎ再び上京することにならう

和蘭で關税に三割の附加税
大豆輸出に影響せん

和蘭政府では歳入不足補塡のため一般關税に對し三割の附加税法案を議會に提出、九月二十九日に遡及し同日以後の輸入品に對して三割の附加税徴収の旨、在蘭松永公使より拓務省に入電あり、關東廳ではこの旨廿二日附を以て各民政署、商工會議所宛移牒するところあつたが、滿洲大豆の對蘭輸出逐年増加の情勢にあり、滿洲大豆の對蘭輸出に多大の影響を及ぼすのではないかと見られてゐる

七年度、南行増加 東行は激減
東支線北滿貨物の動き

北滿貨物の東支線東南行數量を昭和六年（自一九三〇年十月至一九三一年）七年（自一九三一年十月至一九三二年九月）の兩年度について比較すれば左表の如くであるが、東行激減に比し南行貨物が七年度において相當に増加してゐるのは去る四月廿五日以降東部線が全然不通（五月廿六日に一時全通したが僅か四日間開通したのみで直に再不通となる）となり、その後打つゞく匪害と水害により未だに開通を見ない狀態に立至つたゝめであり、全體的に七年度の輸送數量が激減したことは總體的な匪害および水害に困ると見るべきである（單位噸）

	東行	南行
六年度		
大豆	八〇三、五〇三	七六、九六
豆粕	四七一、四四八	四〇、三夫
豆油	六、九四三	三三、六三
其他	二四、一六八	二一、〇七
計	一、三三六、三五二	九九、九六四
七年度		
大豆	三五五、二四四	九六八、九六
豆粕	二三九、一二三	六〇、四三
豆油	六、五二九	一九、六三
其他	六〇、八五	一三、九七
計	六四一、七三一	一、一六八、〇八〇

特産外商連が南部線に出動
東部線不通で困る

東支東部線は目下のところ容易に開通の見込み立たず、さきにエキスポートフレーブでは手持大豆を賣急ぐ狀態でエ・フはじめワッサルド等の外商筋には特産出廻りを前にして相當の打撃を與へてゐるが、ワッサルドではいよ〳〵南部線に進出し、双城堡では十九日新豆四十車東車（水分十五％）を布度一圓四錢（哈大洋）で買付け、廿三日三岔河にて十七車東車を買付けた、値段は双城堡程度にて石五三乃至五七吊、何れも水分十四乃至十五％以上である、兩驛共未發送であるが多分南行物と思はれる次いでエキスポート・フレーブでも廿三日三岔河に買付のため事務員を特派したが今後の活躍を注目されてゐる、なほ三岔河における目下の出廻數量は一日平均約十二社車で等級は何れも一等品であり乾燥程度は十三％以内のもの三割十三乃至十四％のもの四割乃至五割十四乃至十六％のもの二割見當である

東支鐵道運賃の銀建を提議
東支賃率委員會滿洲國委員が

【ハルビン特電二十六日發】東支鐵道賃率委員會滿洲國委員は現在の財政難を打開し、豫算の實行を確實ならしめるには金留を廢止すべきだとの理由で、次回の理事會に銀建に變更すべく提議するに決した

米日續落【ニューヨーク】

南支向貿易激減 日本向輸出增加
廣東省政府の貿易統計

【廣東二十六日發】省政府統計に依れば過去八ケ月間の日本よりの南支向輸出總額は前年に比し七割三分減少、反對に支那貨物の日本向輸出は四割七分方増加した

滿洲國の煙草專賣は未決定
松尾東亞煙草專務の離連談

さきに來滿營口、大連、天津等各地工場の視察中であつた東亞煙草專務取締役松尾晴見氏は二十七日午前十一時出帆大連丸にて上海を經て内地に向つた、出帆に際して語る

會社工場の定期視察も終へたので事變後の上海を見に行くが次の便船で内地へ歸へる、滿洲國の煙草專賣制も未だ確定した譯でもなく、何も今云ふ事もないが、若し專賣制さなれば私の方の工場も依託を受けるか又は買收して貰ふか何さか好轉するかも知れぬ、然し取らぬ狸の皮算用で全くお話しにならぬ

間島への麥粉將來は有望
宮崎日清製粉支店長離連談

日清製粉神戸支店長宮崎與八氏は豫て來滿、間島琿春及び局子街等を視察し滿洲市場の擴張に努力中であつたが、二十七日午前十一時出帆大連丸にて青島に向ひ出發した氏は語る

滿洲に年々輸入せられる麥粉は相當多いが、私の擔當區域である間島琿春方面は今年は四、五萬袋位であつたが、大體の事ではあり餘り期待出來なかつたものでこの匪賊の脅威さへなければ、漸次治安の回復するにつれて前途は次第に好望に赴くものと期待してゐる、機會に最近發展しつゝある國の豫定である

置籍船の巣 山下汽船

◇…大汽の跡へ二十四日から引越してきた山下汽船、装ひも新に南の陽を受けて清々しく、滿洲大豆の歐洲向輸出に劃期的の飛躍を試みようとして居るニュースは不況の折柄だけに賑かさがある。

◇…だが表の看板はどうだ、汽船、龍王汽船、山本汽船、姫宮汽船、成宮汽船、川崎汽船等名がづらりと行儀よく並ぶ、合宿世帶かと言へば、す、山下汽船株式會社で關東州置籍船事務を執つてゐるんださうな、一言にして置籍船の巣だといふこと

關税權實施による影響調査

滿洲國關税權の行使が直に關東州輸入貿易に大影響したことは本紙既報の通りであるが、九月の貿易により明かにされる通り、輸入上甚だ有害であつた日本物が如何なる程度にて支那輸入品に取つて代るかを調査することは極めて有益なことである、そこで滿洲係や大阪市役所大連駐在所でこの困難なる調査に着手

日本燐寸、魚類 米國で騷がる

【ワシントン二十五日發】日外務省關税局は日本品の増に關する當業者の聽取に業者代表の陳情を聽取し表者は日本マッチ業界がスヰーデンマッチトラストの羈絆を脱し爲替安に乘じ盛んに米國市場に出現をみつゝあり、これは米國が當業者の到底競爭出來ない安値で、尚日本及びノールウエーの魚類罐詰輸入激增に感じ漁業家代表かの措置を講じなくば輸入詰業は全滅と陳情した

資本金五十萬圓で新會社設立
五品市場關係者の取引信託會社計畫

大連五品取引所市場では從來同市場取引助成機關としては株式信託と商品信託の二社があつたが、双方共に先年來その機能を失し整理の餘儀なきに至つたが、株式部は今春大連五品代行會社が創立せられ、株式商品兩市場の助成機關として、既に堅實なる地歩を堅めつゝある、然るに代行會社は有價證券市場の繁榮から業務の大部分を株式部關係の豫想外の要望に迎へられ、商品市場の助成機關として充分手に廻り兼れる狀態となつたそこで商品市場關係者は、更にその完璧を期する爲め、新に資本金五十萬圓第一回拂込四分の一の

滿洲米値下げ
新穀出廻りで

特産
奥地高と買氣で大豆昂騰

市況（廿七）

公設市場業績
九月中增加

南滿瓦斯の上半期業績

市場電報（廿七日）

大阪株式

東京株式

神戸日米

大阪期米

東京期米

神戸期米

棉花

大阪綿糸

横濱生糸

大阪棉花

印度麻袋

銀、及爲替

豆

糸

株

銀

錢鈔
日米爲替安で鈔票續騰

株式
内地株强調 當市も續騰

上海爲替情報

商品
麻袋もジリ高 綿糸昂騰

手形交換高（二十七日）

爲替相場

奥地市況

錢鈔

大連埠頭到着高